

2015-業績一覧-臨床系講座

著者	日本歯科大学
雑誌名	日本歯科大学生命歯学部研究年報
巻	2015
ページ	52-129
発行年	2016
URL	http://id.nii.ac.jp/1102/00000779/

● 歯科保存学講座 Department of Endodontics

1. 所属構成員等

教 授 勝海 一郎
准 教 授 前田 宗宏
講 師 小倉 陽子
助 教 西田 太郎
客員教授等 興地 隆史 (併任)
非常勤講師 船木 毅, 内山 誠也, 後藤 浩, 石塚 克巳, 箕浦 孝昭
高橋 千明, 長谷川和貴, 関口 晃弘, 久保田智也, 石川 泰
依田 陽子, 立浪 秀幸, 小澤 稔史, 内山 浩平, 小林 千尋
天野 亮子
大 学 院 生 永島万理子, 関谷 美貴, 吉田 和貴, 小玉 裕樹

2. 研究テーマ

- 1) 歯内療法用器材の開発 Development of endodontic instruments and materials.
- 2) 根管の拡大形成法に関する研究 Investigation of root canal preparation method.
- 3) 根管充填法に関する研究 Investigation of root canal obturation method.
- 4) 歯内療法用薬剤に関する研究 Investigation of endodontic agents.
- 5) 根管充填用セメント, 仮封材に関する研究 Investigation of root canal cement and hydraulic temporary sealing materials.
- 6) 歯髄炎症に関する研究 Investigation of pulp inflammation.
- 7) 歯内療法における創傷治癒に関する研究 Investigation of wound healing in endodontics.
- 8) 感染根管臭に関する研究 Investigation of malodorant in infected root canal.
- 9) Er:YAG レーザーの歯内療法分野への応用に関する研究 Application of Er:YAG laser for endodontics.
- 10) 歯内療法における予後に関する研究 Investigation of endodontic prognosis.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本歯科医学会会長賞, 勝海一郎, 平成 28 年 2 月 24 日, 日本歯科医学会第 94 回評議員会.

4. 学位取得者

- 1) 永島万理子:「上顎側切歯におけるエンジン用器具による根管拡大形成の研究」, 平成 28 年 2 月 8 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 前田宗宏 (分担執筆) : 第 13 章 根管貼薬・仮封, 143-149, エンドドンティクス第 4 版, 興地隆史, 須田英明, 中村 洋, 阿南 壽, 五十嵐勝, 石井信之, 勝海一郎, 林美加子, 松島 潔 編集, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1289-1.
2. 勝海一郎 (分担執筆) : 第 14 章 根管充填, 150-167, エンドドンティクス第 4 版, 興地隆史, 須田英明, 中村 洋, 阿南 壽, 五十嵐勝, 石井信之, 勝海一郎, 林美加子, 松島 潔 編集, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1289-1.
3. 勝海一郎 : 第 3 章 エンドの流儀—エンドドンティストの“私の臨床”—側方加圧充填法をマスターする, 138-143, 日本歯科評論別冊 2015 最新歯内療法の器具・器材と臨床活用テクニック, 北村和夫, 木ノ本喜文, 佐藤暢也, 澤田則宏 編, ヒョーロン・パブリッシング, 東京, 2015.
4. 前田宗宏 (分担執筆) : 2 章 1 治療の安全性、予後を左右する無菌的処置, 26-27, 日常臨床のレベルアップ&ヒント 72, 北村和夫, 岩渕博史, 飯野文彦, 田中晃伸, 坪田有史 編, デンタルダイヤモンド, 東京, 2015, ISBN : 978-4-88510-340-7.
5. 勝海一郎 (分担執筆) : 2 章 8 垂直性歯根破折の診査・診断・処置, 44-45, 日常臨床のレベルアップ&ヒント 72, 北村和夫, 岩渕博史, 飯野文彦, 田中晃伸, 坪田有史 編, デンタルダイヤモンド, 東京, 2015, ISBN : 978-4-88510-340-7.

B. 原著

1. 天野亮子, 勝海一郎 : マイクロ CT による上顎側切歯根尖孔, 根尖形態の分析, ○日歯保存誌, 2015 ; 58 (2) : 117-123, doi : 10.11471/shikahozon.58.117.
Amano R, Katsuumi I. Analysis of apical foramen and root canal morphology in maxillary lateral incisor using micro-CT, ○Jpn. J. Conserv. Dent, 2015 ; 58 (2) : 117-123, doi : 10.11471/shikahozon.58.117.
2. *永島万理子, 天野亮子, 勝海一郎 : 上顎側切歯におけるエンジン用器具による根管拡大形成の研究, ○日歯保存誌, 2016 ; 59 (1) : 74-84, doi : 10.11471/shikahozon.59.74. (学位論文)
*Nagashima M, Amano R, Katsuumi I. A study of root canal preparation using engine-driven root canal instruments in maxillary lateral incisor, ○Jpn. J. Conserve. Dent, 2016 ; 59 (1) : 74-84, doi : 10.11471/shikahozon.59.74. (学位論文)
3. 前田宗宏, 勝海一郎 : 根管洗浄剤がステンレススチール製エンジン用根管拡大形成器具の切削動態に及ぼす影響, ○日歯保存誌, 2016 ; 59 (1) : 85-92, doi : 10.11471/shikahozon.59.85.
Maeda M, Katsuumi I. Influence of irrigants on cutting aspect of root canal with stainless steel rotary instruments, ○Jpn. J. Conserve. Dent, 2016 ; 59 (1) : 85-92, doi : 10.11471/shikahozon.59.85.

C. 総説・解説

1. 北村和夫, 勝海一郎 : 根管充填, 日歯内療誌, 36 (3) : 109-120, 2015.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Nagashima M, Katsuumi I. A comparison of preparation time using engine-driven rotary instruments, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 21, 2015.
2. 西田太郎, 勝海一郎: マイクロ CT を用いた下顎切歯の根側面陥凹部の検討, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 22, 2015.
3. Maeda M, Hashimoto S, Ishitsuka K, Katsuumi I. A study on radiopacity of new root canal sealer containing mainly oleic acid, eugenol and zinc oxide, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 22-23, 2015.
4. 北村和夫, 石井隆資, 山崎孝子, 磯田浩太, 四方田拓, 勝海一郎: 過剰歯根を有する上顎中切歯に対する外科的歯内療法的アプローチ, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 23-24, 2015.
5. 永島万理子, 勝海一郎: エンジン用根管拡大形成器具による拡大形成時間の比較, 日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集 (Web 版), 149, 2015.
6. 前田宗宏, 橋本修一, 石塚克巳, 勝海一郎: ユージノール濃度を低減させた酸化亜鉛ユージノールセメントに関する基礎的検討, 日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集 (Web 版), 160, 2015.
7. 磯田浩太, 北村和夫, 石井隆資, 山崎孝子, 木幡 雅, 四方田拓, 勝海一郎: MTA による広範囲歯根外部吸収歯穿孔部閉鎖の一症例, 日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集 (Web 版), 162, 2015.
8. 西田太郎, 勝海一郎: マイクロ CT を用いた下顎切歯根管湾曲の三次元的観察, 日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集 (Web 版), 168, 2015.
9. 西田太郎, 勝海一郎: マイクロ CT による下顎切歯根管形態の観察 (第 2 報), 第 36 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 79, 2015.
10. 永島万理子, 勝海一郎: エンジン用根管拡大形成器具による拡大形成時間の比較, 第 36 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 81, 2015.
11. 関谷美貴, 北村和夫, 吉田和貴, 西田太郎, 勝海一郎: HyFlex™CM で根管形成した湾曲根管における根管壁変位量の評価, 第 36 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 82, 2015.
12. 吉田和貴, 北村和夫, 関谷美貴, 西田太郎, 勝海一郎: ファイルのらせん角を用いた形状記憶性の評価, 第 36 回日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集, 84, 2015.
13. 永島万理子, 勝海一郎: エンジン用根管拡大形成器具により拡大されたヒト抜去上顎側切歯根管壁面の観察, 日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会 (第 143 回) プログラムおよび講演抄録集, 158, 2015.

14. 前田宗宏, 橋本修一, 石塚克巳, 勝海一郎: オレイン酸, ユージノールおよび酸化亜鉛を主剤とした新規根管充填用シーラーがレジジン材料に及ぼす影響, 日本歯科保存学会 2015年度秋季学術大会 (第 143 回) プログラムおよび講演抄録集, 160, 2015.
15. 西田太郎, 勝海一郎: マイクロ CT を用いた下顎切歯根管形態の三次元的評価法, 日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会 (第 143 回) プログラムおよび講演抄録集, 166, 2015.
16. 関谷美貴, 前田宗宏, 勝海一郎: 3D プリンタによる槌状根管模型の作製 (第一報), 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 18, 2015.
17. 関谷美貴, 小玉裕樹, 北村和夫, 吉田和貴, 西田太郎, 前田宗宏, 勝海一郎: HyFlex™CM による湾曲根管形成後の根管壁変位量の評価: 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 18, 2015.
18. 永島万理子, 勝海一郎: エンジン用根管拡大形成器具により拡大形成されたヒト抜去上顎側切歯根管壁面の観察: 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 18-19, 2015.
19. 前田宗宏, 橋本修一, 勝海一郎: ユージノール濃度を低減させた試作酸化亜鉛ユージノールセメントの物性に関する研究, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 20, 2015.
20. 吉田和貴, 北村和夫, 関谷美貴, 西田太郎, 前田宗宏, 勝海一郎: らせん角を用いたニッケルチタンロータリーファイルの形状記憶性の評価, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 20-21, 2015.
21. 西田太郎, 勝海一郎: マイクロ CT を用いた下顎切歯根管の三次元的検討, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 28, 2015.
22. Maeda M, Hashimoto S, Katsuumi I. Effect of the new root canal sealer containing oleic acid, eugenol and zinc oxide on the polymerization of resin composite materials, *J. Endod*, 42 (3), e47, 2016.
23. Sekiya M, Katsuumi I. Manufacture of C-shaped root canal model with 3-D printer, part 1, *J. Endod*, 42 (3), e48, 2016.
24. Nagashima M, Katsuumi I. Morphological situation of cross-sectional surface in the root canal model after preparation with Ni-Ti rotary files, *J. Dent Res*, 95 (SI-A) : 1087, 2016.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし
- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
 1. 前田宗宏: 歯内療法用薬剤の考え方—根管洗浄と根管貼薬を中心に—, 平成 27 年度千葉県日本歯科大学校友会学術講演会, 京成ホテルミラマーレ (千葉市), 2016 年 1 月 31 日.

● 接着歯科学講座 Department of Adhesive Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 奈良陽一郎
准 教 授 柵木 寿男
助 教 小川信太郎, 前野 雅彦
非常勤講師 杉山 征三, 貴美島 哲, 吉村 英則, 中村 昇司, 長倉 弥生
江黒 徹, 原 学, 山田 正, 丸山沙絵子
大学院生 河合 貴俊, 石井 詔子, 村田 卓也, 林 孝太郎

2. 研究テーマ

- 1) 次世代低侵襲性接着修復法の確立に向けた基礎的臨床的評価検討 Basic and clinical examination for the establishment of next generation MI adhesive restoration.
- 2) 革新的デジタルレストレーションシステムの構築を見据えた総合的評価検討 Comprehensive investigation of the innovative digital restoration system.
- 3) メタルフリー接着修復による高品位審美性の具現化 Realization of the high-definition aesthetic treatment with metal-free adhesive restoration.
- 4) 審美的修復材料の in vivo / in vitro 接着評価 In vivo / in vitro bonding examination of aesthetic restorative materials.
- 5) 口腔内環境想定複合ストレス条件下における接着挙動の究明 Investigation of bonding behaviors under combination stress simulating intra-oral environment.
- 6) 新規修復用器材の開発と評価検討 Development and investigation of new restorative materials.
- 7) 非破壊接着評価法の探究 Investigation of non-destructive evaluation.
- 8) 非回転切削法による新規修復法の考究 Development of new restorative technique without rotating preparation.
- 9) 歯質との親和・一体化を図ったバイオアドヒージョンの創生 Revitalization of bio-adhesion for the affinity of tooth substance.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 学校法人日本歯科大学, 株式会社ジーシー: 奈良陽一郎, 松本尚史, 平成 27 年 9 月 14 日, 140987JP, 三次元形状データ作成方法, 歯科補綴物の作製方法, 歯科補綴物作製用組成物.
- 2) 平成 27 年度日本接着歯学会論文賞, 前野雅彦, 山田 正, 奈良陽一郎, 平成 27 年 12 月 19 日, CAD / CAM セラミックアンレー修復の接着—象牙質レジンコーティングが窩洞内接着強さに及ぼす効果—.

4. 学位取得者

- 1) 河合貴俊, 繰り返し荷重ストレス有無条件下における 1 級咬合面窩洞に対するフロアブルコンポジットレジン修復の接着状態, 平成 28 年 2 月 25 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

- 1) 平成 27 年度 (公社) 東京都歯科医師会卒後研修, 東京, 平成 27 年 9 月 3 日, 奈良陽一郎.

6. 国際交流状況

- 1) 共同研究：奈良陽一郎，柵木寿男，小川信太郎，前野雅彦，河合貴俊，石井詔子，村田卓也，林 孝太郎とハーバード大学歯学部 I.L. Dogon 教授（アメリカ合衆国）との共同研究，「次世代修復に関する基礎的臨床的研究」，1985 年より継続中。
- 2) Dental Consultant in Dental Education for Project HOPE 委任：奈良陽一郎，Dental Education for Project HOPE（アメリカ合衆国，米国保健政策機関 Project HOPE）としての委任，2000 年より継続中。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（継続），平成 26～28 年度，CAD/CAM 修復を含めた審美性接着修復の臨床的条件下における評価検討，奈良陽一郎（代表），柵木寿男（分担），小川信太郎（分担），前野雅彦（分担），新田俊彦（分担），山瀬 勝（分担），1,560,000 円。
- 2) 企業委託研究費・スリーエムジャパン株式会社（新規），平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日，スリーエム新規歯科用器材諸性質評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，小川信太郎，前野雅彦，河合貴俊，石井詔子，村田卓也，林 孝太郎，山瀬 勝（分担），1,000,000 円。
- 3) 企業委託研究費・クラレノリタケデンタル株式会社（新規），平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日，試作品の評価およびボンディング，CR，セメント分野における製品の評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，小川信太郎，前野雅彦，河合貴俊，石井詔子，村田卓也，林 孝太郎，新田俊彦（分担），1,000,000 円。
- 4) 日本学術振興会科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（新規），平成 27～29 年度，蛍光色素を用いた非侵襲的色素浸透試験法による接着性修復の辺縁封鎖性検討，柵木寿男（代表），山瀬 勝，新田俊彦，代田あづさ，小川信太郎，前野雅彦（分担），2,730,000 円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 奈良陽一郎（分担執筆），柵木寿男（分担執筆）：第 7 章 信頼性に長けた確実な接着操作，64-70，コンポジットレジン修復のベーシック&トレンド，宮崎真至 編集，株式会社デンタルダイヤモンド社，東京，2015，ISBN：978-4-88510-330-8。
2. 柵木寿男（分担執筆），前野雅彦（分担執筆）：第 2 章 インレー修復 1 歯髄保護，26-40，修復と補綴の Longevity，坪田有史，柵木寿男 編集，株式会社デンタルダイヤモンド社，東京，2015，ISBN：978-4-88510-336-0。
3. 1) 奈良陽一郎（分担執筆）：第 1 章 接着システム性能の活かし方と引き出し方，12-13，日常臨床のレベルアップ&ヒント，北村和夫，岩淵博史，飯野文彦，田中晃伸，坪田有史 編集，株式会社デンタルダイヤモンド社，東京，2015，ISBN：978-4-88510-340-7。
2) 柵木寿男（分担執筆）：第 1 章 バルクフィルレジンの使い方，14-15，日常臨床のレベルアップ&ヒント，北村和夫，岩淵博史，飯野文彦，田中晃伸，坪田有史 編集，株式会社デンタルダイヤモンド社，東京，2015，ISBN：978-4-88510-340-7。
4. 奈良陽一郎（分担執筆）：多機能化するレジン接着システム，141，鈴木哲也，中嶋 裕，

二階堂 徹, 西山典宏, 日野浦 光, 福島正義 監修, 接着歯学 第2版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-263-44459-7.

5. 1) 奈良陽一郎 (分担執筆) : 第6章 1 臨床実習の目標, 66-67, 桑田文幸, 葛西一貴, 佐藤裕二, 田口則宏, 田中昭男, 沼部幸博 委員, 歯科医学教育白書 2014年版 (2012~2014年), 日本歯科医学教育学会, 東京, 2015, ISBN : 978-4-89605-315-9.
2) 奈良陽一郎 (分担執筆) : 第6章 2 診療参加型臨床実習の実施状況, 68-70, 桑田文幸, 葛西一貴, 佐藤裕二, 田口則宏, 田中昭男, 沼部幸博 委員, 歯科医学教育白書 2014年版 (2012~2014年), 日本歯科医学教育学会, 東京, 2015, ISBN : 978-4-89605-315-9.
6. 奈良陽一郎 (分担執筆), 柵木寿男 (分担執筆) : B コンポジットレジン修復, 72-79, 保存修復クリニカルガイド, 千田 彰, 寺下正道, 田上順次, 奈良陽一郎, 宮崎真至, 片山 直 編集, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45633-0.

B. 原著

1. *Kawai T, Maseki T, Nara Y : Bonding of flowable resin composite restorations to class 1 occlusal cavities with and without cyclic load stress, ©☆Dent Mater J, 2016 ; 35 (3) : 408-417, doi : 10.4012/dmj.2015-325. (学位論文)

C. 総説・解説

1. 柵木寿男 : 私たちが創り出す歯科医療の未来 メタルフリー・デジタル・レストレーション~歯科におけるメタルフリーとデジタルの融合~, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 40 : 3-8, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 奈良陽一郎 : 会則検討委員会報告, 日本歯科審美学会ニュースレター, 31 : 18, 2015.
2. 奈良陽一郎 : 平成 26 年度卒前教育委員会報告, 日本歯科医学教育学会雑誌, 31 : 91, 2015.
3. 奈良陽一郎 : 会則検討委員会報告, 日本歯科審美学会ニュースレター, 32 : 22-23, 2015.
4. 奈良陽一郎 : “接着”によって結ばれる縁, 接着歯学, 33 : 巻頭言, 2015.
5. 柵木寿男 : 編集後記, 歯科審美, 28 : 45, 2015.
6. 奈良陽一郎 (文責) : 日本接着歯学会, 日本歯科医学会誌, 35 : 93, 2016.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 村田卓也, 前野雅彦, 小川信太郎, 柵木寿男, 奈良陽一郎, I.L. Dogon : 最近のレジンセメントシステムによる各種被着体に対する接着特性, 2015 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集, 福岡, 2015 年 6 月 25 日, http://www.hozon.or.jp/member/pdf/abstract142/B1-19_C1-6.pdf. (参照 5 月 12 日)
2. 河合貴俊, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : フロアブルレジンによる大白歯咬合面 1 級修復の接着実態, 2015 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集, 福岡, 2015 年 6 月 25 日, <http://www.hozon.or.jp/member/pdf/abstract142/P1-50.pdf>. (参

照 5月12日)

3. 小川信太郎, 石井詔子, 村田卓也, 前野雅彦, 柵木寿男, 奈良陽一郎, I.L. Dogon : メタルフリー間接修復材料を介した透過光による接着性レジンセメントの硬化性, 2015 年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第 142 回) プログラムおよび講演抄録集, 福岡, 2015 年 6 月 26 日, <http://www.hozon.or.jp/member/pdf/abstract142/P1-50.pdf>. (参照 5月12日)
4. 河合貴俊, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : フロアブルレジンによる大臼歯咬合面 1 級修復の接着信頼性 -咀嚼想定の動的荷重ストレスによる影響-, 2015 年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第 143 回) プログラムおよび講演抄録集, 東京, 2015 年 11 月 13 日, <http://www.hozon.or.jp/member/pdf/abstract143/A1-B19.pdf>. (参照 5月12日)
5. 林 孝太郎, 小川信太郎, 前野雅彦, I.L. Dogon, 奈良陽一郎 : スキャナーの違いとレジンコーティングの有無が CAD / CAM セラミックアンレー修復の窩洞適合性に及ぼす影響, 2015 年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第 143 回) プログラムおよび講演抄録集, 東京, 2015 年 11 月 13 日, <http://www.hozon.or.jp/member/pdf/abstract143/P51-100.pdf>. (参照 5月12日)
6. 小川信太郎, 林 孝太郎, 奈良陽一郎 : CAD / CAM 修復ブロックの表面光沢度に及ぼす研磨システムによる影響, 第 26 回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集, 92, 2015.
7. 小川信太郎, 林 孝太郎, 村田卓也, 石井詔子, 河合貴俊, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : 最近の研磨システムによるユニバーサルレジンとフロアブルレジンの表面光沢度, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 17, 2015.
8. 村田卓也, 前野雅彦, 小川信太郎, 長倉弥生, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : レジンコーティングの応用が CAD/CAM セラミックアンレー修復の接着に及ぼす影響, 接着歯学, 33 : 132, 2015.
9. 石井詔子, 前野雅彦, 小川信太郎, 河合貴俊, 長倉弥生, 柵木寿男, 奈良陽一郎 : レジンコーティングの応用がメタルフリーCAD / CAM アンレー修復の接着に及ぼす影響, 接着歯学, 33 : 139, 2015.
10. Maseki T, Maeno M, Ogawa S, Nara Y. Influence of light-irradiation on polymerization shrinkage of recent bulk-fill composites, Abstract of the Academy of Dental Materials Annual Meeting at Maui, Dent Mater, e20 : 315, 2015.
11. Kawai T, Maseki T, Nara Y. Bonding of flowable-resin-composite restoration to class 1 occlusal cavity , J Dent Res , 95 (SI-A) , Los Angeles , March 17 , 2016 , <https://aad2016.zerista.com/poster/member/55683>. (May 12)
12. Ishii N, Maeno M, Ogawa S, Kawai T, Maseki T, DOGON I.L., Nara Y. Effect of immediate dentin sealing application on bonding of metal-free CAD/CAM onlay restoration, J Dent Res, 95 (SI-A), Los Angeles, March 17, 2016, <https://aad2016.zerista.com/poster/member/55644>. (May 12)
13. Murata T, Maeno M, Ogawa S, Maseki T, Dogon I.L., Nara Y. Bonding of recent adhesive resin cement to metal-free CAD/CAM milling-blocks, J Dent Res, 95 (SI-A), Los Angeles, March 17, 2016, <https://aad2016.zerista.com/poster/member/55645>. (May 12)
14. Nara Y, Ishii N, Maeno M, Ogawa S, Kawai T, DOGON I.L.. Bonding reliability of CAD/CAM onlay restoration using hybrid-resin-composite milling block, J Dent Res, 95 (SI-A), Los Angeles, March 17, 2016, <https://aad2016.zerista.com/poster/member/55659>. (May 12)

15. Ogawa S, Hayashi K, Murata T, Ishii N, Maseki T, DOGON I.L., Nara Y. Effect of polishing systems on surface gloss of metal-free CAD/CAM restorative block, J Dent Res, 95 (SI-A), Los Angeles, March 17, 2016, <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/55827>. (May 12)
16. Hayashi K, Kawai T, Ogawa S, Maeno M, Maseki T, DOGON I.L., Nara Y. Effect of optical scanner and immediate dentin sealing application on cavity adaptation of CAD / CAM restoration, J Dent Res, 95 (SI-A), Los Angeles, March 18, 2016, <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/55806>. (May 12)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 柵木寿男：CAD/CAM 修復の接着，CAD / CAM クラウンの臨床を考える，日本接着歯学会，2015 年度 日本接着歯学会シンポジウム・認定医研修会，新潟県新潟市，2015 年 7 月 5 日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 奈良陽一郎：メタルフリー間接修復の留意点，平成 27 年度（公社）東京都歯科医師会卒後研修，東京，2015 年 9 月 3 日。
2. 柵木寿男：審美的 MI を叶えるコンポジットレジン直接修復，平成 27 年度（公社）東京都歯科医師会卒後研修，東京，2015 年 9 月 3 日。
3. 小川信太郎：レジンコア築盛テクニックと研磨器材の最新情報，平成 27 年度（公社）東京都歯科医師会卒後研修，東京，2015 年 9 月 3 日。
4. 奈良陽一郎：今こそ接着修復を活かして！—最新情報と勘所—，第 105 回山形県日本歯科大学校友会 総会・学術講演会，山形県南陽市，2015 年 10 月 3 日。

● 歯周病学講座 Department of Periodontology

1. 所属構成員等

教	授	沼部	幸博
准	教	授	伊藤 弘, 関野 愉
講	師	村檜	悦子
助	教	石黒	一美
非常勤歯科医師		五十嵐 (武内) 寛子, 今井 奨, 大崎 忠夫, 加治 彰彦, 加藤 智崇 清信 浩一, 佐藤 宏和, 鈴木 設矢, 玉澤 修, 藤田 佑三 帆足 公人, 吉永 英司, 若尾 徳男	
聴	講	生	加治 彰彦, 佐野 哲也, 鈴木香奈子, 横田 秀一, 榎本 秀太 大森 由佳, 笠井 雄太, 川村 弘, 福田 晃士, 矢吹 一峰 小倉 直子, 福田 知樹, 堀越 康介 (~3月), 相羽 寿史 (~3月) 蔵元 庸之 (4月~)
客員教授等		花田 信弘 (4月~3月), 久世 香澄 (4月~3月)	
大学院生		大久保美佐, 倉治竜太郎, 石井マイケル大宜, 上原 直, 藤田美也子 呉 亞欣	

2. 研究テーマ

- 1) 喫煙が歯周組織免疫応答に及ぼす影響—特に好中球の機能に及ぼす影響について—
Smoking effects on human PMN in periodontal tissue.
- 2) 歯肉溝滲出液 (GCF) における酵素活性について Investigation of periodontal status using
gingival crevicular fluid (GCF).
- 3) 禁煙が歯周組織へ及ぼす影響 Effect of smoking cessation on human periodontal tissue.
- 4) 歯肉溝滲出液 (GCF) 成分解析を応用した新規歯周病診断キットの開発 Development of
the new periodontal diagnostic kit by GCF contents analysis.
- 5) エアフローによる歯肉縁下デブリッドメントの効果 The effect of subgingival
debridement of air-flow.
- 6) 要介護高齢者の歯周疾患の実態について Periodontal disease in elderly in need of care.
- 7) 音波式電動歯ブラシのインプラント周囲粘膜炎に対する効果 The effect of sonic toothbrush
on peri-implant mucositis.
- 8) 高萩市における歯周疾患の疫学調査 Epidemiology of periodontal disease in Takahagi City.
- 9) Nd:YAG レーザーを用いた細胞活性の検索 Cell (HGF, PDL) activity using Nd:YAG Laser.
- 10) LED を用いた新たな歯周病予防法と治療法の開発に向けた基礎的研究 Basic research for
new prevention and treatment of periodontal disease by LED (light-emitting diode) irradiation.
- 11) 喫煙による歯肉の線維化について Effects of smoking to human gingival fibrosis.
- 12) ヒト歯根膜由来血管内皮細胞に対する結合組織増殖因子 (CCN2/CTGF) の血管形成に関
する研究 The effect of CCN2 / CTGF on human endothelial cells to tube formation.
- 13) Nd:YAG レーザーを用いたヒト歯肉線維芽細胞に対する創傷治癒効果の探索 Effect of
Nd:YAG laser irradiation on human gingival fibroblast.
- 14) 歯周疾患と非アルコール性脂肪性肝炎との関係について Relationship between periodontal

disease and Non-alcoholic steatohepatitis.

- 15) ラット・マウス口腔内実験に用いる開口器の開発 Development of mouth gag to be used in the rat and mouse oral experiments.
- 16) LPS 刺激下ヒト歯肉線維芽細胞に対する α -リポ酸の抗炎症効果の検討 Anti-inflammatory effects of alpha-lipoic acids on LPS stimulated human gingival fibroblasts.
- 17) 口腔由来 LPS が歯周組織及び全身に及ぼす影響 Effects of oral-cavity-derived LPS is on periodontal tissue and systemic.
- 18) 歯肉溝滲出液中における歯周病早期診断マーカーの有用性 Usefulness as periodontal disease early diagnostic marker in gingival crevicular fluids.
- 19) 歯周病における組織炎症および骨欠損に対するテアフラビンの効果 Effects of Theaflavins on inflammation and bone resorption in periodontal disease.
- 20) 効果的な歯肉縁下デブリドメントに対する有効な補助剤の開発に向けて The development of effective auxiliary material for subgingival debridement.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 第8回日本口腔検査学会学術大会 優秀ポスター賞, 沼部幸博, 平成27年11月4日, 「歯肉溝滲出液 (GCF) 中 Hemoglobin (Hb) 検出を応用した歯周病迅速診断キットの開発」.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 平成27年度 第58回春季日本歯周病学会学術大会 有病率8割に対する挑戦, 幕張メッセ 国際会議場・国際展示場 ホール7, 平成27年5月14日~16日, 大会長: 沼部幸博, 準備委員長: 伊藤 弘, 主催: 日本歯周病学会 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座, 協力: 日本歯科大学附属病院総合診療科.
- 2) ブタ下顎骨を用いた歯周外科手術の実習 (日本歯科大学公開実習) フラップ手術, 歯周組織根尖側移動術, 平成27年7月7日, 日本歯科大学生命歯学部.
- 3) 日本歯科大学校友会 平成27年度 ポストグラデュエートコース Bコース, 歯周治療における歯科医師と歯科衛生士の連携, 日本歯科大学生命歯学部, 平成27年8月6日, 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座・日本歯科大学東京短期大学 合同開催.
- 4) 日本歯科保存学会 市民公開講座, 健康に感謝! それはお口から, 講演者: 星 且二, 羽村 章, 沼部幸博, 日本歯科大学生命歯学部, 平成27年11月1日, 大会長: 沼部幸博, 準備委員長: 伊藤 弘, 主催: 日本歯科保存学会, 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座.
- 5) 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座ゲストセミナー, 日本歯科大学生命歯学部, 平成27年11月10日, 講演: 重度歯周炎に罹患した歯列を守る, 講演者: 二階堂雅彦 (東京都開業), 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座.
- 6) 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座ゲストセミナー, 日本歯科大学生命歯学部, 平成28年2月9日, 講演: 垂直性歯根破折への接着治療, 講演者: 菅谷 勉 (北海道大学大学院歯学研究科 口腔医学専攻 口腔健康科学講座), 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座.
- 7) 第5回関東9大学歯周病学講座・日本臨床歯周病学会関東支部合同研修会 第73回関東

支部教育研修会，日本歯科大学生命歯学部，平成 28 年 2 月 21 日，関東 9 大学歯周病学講座・日本臨床歯周病学会関東支部。

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費補助金，基盤研究 (C) (継続)，平成 26～28 年度，歯肉溝滲出液中の潜血を探知する歯周病迅速診断キット開発と応用，沼部幸博 (代表)，伊藤 弘 (分担)，1,300,000 円。
- 2) 科学研究費補助金，基盤研究 (C) (2) (継続・3 年目)，平成 25～27 年度，喫煙は歯周治療の超過医療費因子となりうる一禁煙治療の歯科健康保険導入を目指して一，伊藤 弘 (代表)，沼部幸博，森田 学，稲垣幸司，埴岡 隆，王 宝禮，藤井健男，山本龍生，両角俊哉 (分担)，1,000,000 円。
- 3) 平成 27 年度日本歯科大学公募研究 (4) (新規)，平成 27 年度，グリシンパウダーを用いたエアーパーッシングによる歯肉縁下デブライドメントの臨床的および細菌学的効果，関野 愉 (代表)，沼部幸博，伊藤 弘，村檉悦子，石黒一美 (分担)，2,640,000 円。
- 4) 平成 27 年度日本歯科大学公募研究 (8) (新規)，平成 27 年度，LED を用いた新たな歯周病予防法と治療法の開発に向けた基礎的研究，石黒一美 (代表)，1,520,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

1. 沼部幸博 (分担執筆) : 5) その他の歯周療療法薬 塩化リゾチーム，日本歯科薬物療法学会編，69-70，新版 日本歯科用医薬品集，永末書店，京都，2015 年，ISBN : 978-4-8160-1280-8。
2. 1) 沼部幸博 (分担執筆) : Chapter 02 根分岐部病変の分類と処置法，30-37，歯界展望別冊 根分岐部病変～臨床対応とエビデンス～，鷹岡竜一，牧野 明 編集，医歯薬出版，東京，2015 年。
2) 関野 愉 (分担執筆) : Chapter 03 根分岐部病変の治療についての EBM・文献的考察，8-47，歯界展望別冊 根分岐部病変～臨床対応とエビデンス～，鷹岡竜一，牧野 明 編集 医歯薬出版，2015 年。
3. 沼部幸博 (監修) : 歯周病検診で健康づくり，東京法規出版，東京，2015 年。
4. 沼部幸博 (監修) : 歯と口からはじめる健康づくり，ライフステージ別歯と口のヘルスケアガイドブック，東京法規出版，東京，2015 年。
5. 1) 沼部幸博 (分担執筆) : 7 これ以上，むし歯や歯周病を進行させない！ 歯科医師が教えるセルフケア，92-95，朝日新聞出版編集，週刊朝日 MOOK，いい歯医者 2015 朝日新聞出版，東京，2015 年，ISBN : 978-4-02-277502-3。
2) 沼部幸博 (分担執筆) : 適切な治療で歯の喪失を防ぐ 歯周病治療，26-27，朝日新聞出版編集，週刊朝日 MOOK いい歯医者 2015，朝日新聞出版，東京，2015 年，ISBN : 978-4-02-277502-3。
6. 沼部幸博 (分担執筆) : 第 2 章 「歯みがき」で守る，お口と全身の健康，38-39，中日新

聞社編集，在宅介護&高齢者ホームのすべて，中日新聞社，名古屋，2015年，ISBN：978-4-8062-0687-3.

7. 1) 沼部幸博 (分担執筆)：基礎編 第1章 我が国の歯周病の現状，2-4，沼部幸博，齋藤淳，梅田 誠 編集，歯科衛生士講座 歯周病学第3版，永末書店，東京，2016年，ISBN：978-8160-1300-3.
2) 沼部幸博 (分担執筆)：臨床編 第15章 ペリオドンタルメディスン，⑥歯周病と誤嚥性肺炎，⑦歯周病と関節リウマチ，199-201，沼部幸博，齋藤 淳，梅田 誠 編集，歯科衛生士講座 歯周病学第3版，永末書店，東京，2016年，ISBN：978-8160-1300-3.
8. 沼部幸博，石黒一美，関野 愉，村樫悦子 (分担執筆)：臨床編 第4章 歯周病の分類と臨床の特徴ならびに対応，63-81，沼部幸博，齋藤 淳，梅田 誠 編集，歯科衛生士講座 歯周病学第3版，永末書店，東京，2016年，ISBN：978-8160-1300-3.
9. 関野 愉 (分担執筆)：N 歯・口腔疾患，一般問題 N1-N9，看護師・看護学生のためのレビューブック 2017，岡庭 豊 編集，メディックメディア，東京，2016年，ISBN：978-4-89632-600-0.
10. 関野 愉 (分担執筆)：N 歯・口腔疾患，一般問題 N1-N4，クエスチョン・バンク 看護師国家試験問題解説 2016，医療情報科学研究所 編集，メディックメディア，東京，2015年，ISBN：978-4-89632-547-8.
11. 関野 愉 (分担執筆)：IV 看護技術の基本的理解を問う，223 口腔ケア p196，クエスチョン・バンク Select 必修 2016，看護師国家試験問題集医療情報科学研究所 編集，メディックメディア，東京，2015年，ISBN：978-4-89632-579-9.

B. 原 著

1. Morozumi T, Nakagawa T, Nomura Y, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobayashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K, Sekino S (20th) , Numabe Y (21th) (37 authors) . Salivary pathogen and serum antibody to assess the progression of chronic periodontitis : a 24-mo prospective multicenter cohort study, ◎☆J Periodontol. Res, 2016 ; doi : 10.1111/jre.12353. [Epub ahead of print]
2. Igarashi T H, Kubota S, Tachibana T, Murakashi E, Takigawa M, Okabe M, Numabe Y. Matrix remodeling response of human periodontal tissue cells toward fibrosis upon nicotine exposure, ◎☆Odontology, 2016 ; 104 : 35-43, doi : 10.1007/s10266-014-0177-y.
3. 沼部幸博：超音波スケーラーの現在，○日歯周誌，2015；57（1）：49-52，doi：10.2329/perio.57.49.
Numabe Y. Current concepts of ultrasonic scalers, ○J Jpn. Soc. Periodontol, 2015 ; 57 (1) : 49-52, doi : 10.2329/perio.57.49.
4. 村樫悦子，石黒一美，沼部幸博：ヒト歯周組織由来培養細胞へのフラバンジェノール®の効果について，○日歯保存誌，2015；58（5）：416-423，doi：10.11471/shikahozon.58.416.
Murakashi E, Ishiguro H, Numabe Y. Effects of FLAVANGENOL® on human periodontal cultured cells, ○The Japanese journal of conservative dentistry, 2015 ; 58 (5) : 416-423, doi : 10.11471/shikahozon.58.416.
5. 栗原英見，和泉雄一，村上伸也，沼部幸博，高柴正悟：歯周組織再生治療の評価に向けた

CBCT の活用, ○日歯医学会誌, 2015 ; 34 : 89-93.

Kurihara H, Izumi Y, Murakami S, Numabe Y, Takashiba S. Advanced application of CBCT for evaluation of periodontal regenerative therapy, ○Journal of the Japanese Association for Dental Science, 2015 ; 34 : 89-93.

6. 内山恵理, 伊藤 弘, 岩田 洋, 小川智久: 歯科大学附属病院教職員における禁煙指導状況とニコチン依存度との関係, ○日歯ドック誌, 2015 ; (10) : 34-40.

Uchiyama E, Ito H, Iwata H, Ogawa T. The relationship between smoking cessation guidance and nicotine dependence among dental university hospital staff and faculty, ○Journal of the Japan Academy of Dental Human Dock, 2015 ; (10) : 34-40.

C. 総説・解説

1. 関野 愉: インプラントにおけるアバットメント連結と初期の骨吸収, 咬み合わせの科学, 35 (1.2 合併号) : 13-19, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 沼部幸博: 「本学で学ぶこと」, MilchZahn, 平成 27 年版, 5, 2015.
2. 沼部幸博: 歯科教育に対する意識を高める 子どもの歯周病について考える今から始める大切なこと, 赤ちゃん和妈妈, 50 (2) : 14-19, 2015.
3. 沼部幸博: 歯周治療と保険請求を考える, 富士見, 173 (5 月 15 日発行) : 2-3, 2015.
4. 沼部幸博: 家族の健康ファイル 健康寿命を縮める歯周病 ー自分に合わせた歯みがきで予防しようー, 心とからだの健康, 19 (6) : 30, 2015.
5. 沼部幸博: 子どもの将来の歯を守るために, 健康不思議発見ニュース / 解説, からだの不思議, 11 : 1-6, 2015.
6. 沼部幸博: 歯がなくなる 1 番の原因って何なに, 健康不思議発見ニュース, 11 (771) : 1, 2015.
7. 沼部幸博: 本当は怖い 歯周病!, 健康不思議発見ニュース, 11 (772) : 1, 2015.
8. 沼部幸博: 歯周病にならないために 健康不思議発見ニュース, 11 (773) : 1, 2015.
9. 沼部幸博: 全身疾患から攻める! 成人患者さんへの歯周病予防のコツ 第 1 回歯周病と糖尿病はどう関係するの?, デンタルハイジーン, 35 (11) : 1217-1221, 2015.
10. 沼部幸博: Book Review, 歯周治療の疑問に答えます Q&A 47, 歯周組織の仕組みと働きから最新の治療法まで, 歯界展望, 127 (2) : 41, 2016.
11. 沼部幸博: 早期発見・早期治療がキーワード! 今こそ始めよう! 歯周病予防, 赤ちゃん和妈妈 冬の特別号 予防と健康ニュース, 50 (12) (別冊付録) : 1-3, 2016.
12. 沼部幸博: 現代歯科医師国家試験事情, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 41 (3) : 1, 2016.
13. 沼部幸博: 第 8 回日本口腔検査学会学術大会にて優秀ポスター賞を受賞して, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 41 (3) : 63, 2016.
14. 関野 愉: 「簡単に」も「詳しく」も! 患者さんにこう伝えよう! 歯周病はどう治すのか, 歯科衛生士, 39 (5) : 17-23, 2015.
15. 米田はる, 加治彰彦: 10 のシチュエーションで学ぶ未就学児・小学生の歯並び相談ここがポイント, 歯科衛生士, 39 (12) : 15-28, 2015.

16. 関野 愉：歯周治療における咬合性外傷の考え方とは？～“力のコントロール”なる言葉について検討する，デンタルハイジーン，35（6）：632-636，2015.
17. 加治彰彦：矯正治療の恩恵とは何か？，ザ・クインテッセンス，34（10）：53-54，2015.
18. 関野 愉：Quint Short Library，「ペリオのための重要16キーワードベスト320論文 臨床編」，ザ・クインテッセンス，34（11）：143，2015.
19. 関野 愉：From International Journal 完全無歯顎患者におけるインプラント周囲粘膜炎とインプラント周囲炎の罹患率，ザ・クインテッセンス，34（7）：174-175，2015.
20. 関野 愉：From International Journal 歯周治療を受けた患者が歯を喪失する理由は？，ザ・クインテッセンス，34（12）：206-207，2015.
21. 関野 愉：“症状と原因”“正しい予防法”“治療方法”“失敗しない歯科選び”，歯周病なるほど.net，<http://perio-naruhodo.net>（参照 2015年12月28日）.
22. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 2型糖尿病患者の非外科的治療への反応には何が影響するのか？，DHstyle，9（108）：76-77，2015.
23. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 歯の欠損がメタボリックシンドロームを誘発する？，DHstyle，9（109）：88-89，2015.
24. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル Flossか死か？，DHstyle，9（110）：74-75，2015.
25. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 最もよいシャープニング法は？，DHstyle，9（110）：84-85，2015.
26. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 高齢者の歯周治療において何を配慮すべきか？，DHstyle，9（112）：78-79，2015.
27. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 付着歯肉，角化歯肉，歯肉歯槽粘膜の臨床的意義を考えるーアメリカ歯周病学会（AAP）100年を省みた論評，DHstyle，9（113）：74-75，2015.
28. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル ブラキシズムは歯周組織へのダメージの原因にならない？，DHstyle，9（115）：82-83，2015.
29. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 「食後30分は歯を磨かないほうがよい」を検証する，DHstyle，9（116）：78-79，2015.
30. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル グリシンパウダーを用いたエアポリッシングの臨床的，細菌学的効果は？，DHstyle，9（117）：80-81，2015.
31. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル 歯の喪失は死に繋がる？，DHstyle，10（118）：78-79，2016.
32. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル インプラント周囲炎を予防するためには，DHstyle，10（119）：74-75，2016.
33. 関野 愉：Let's Study！海外ジャーナル アルコールの摂取は歯周炎のリスクか？，DHstyle，10（120）：78-79，2016.
34. 佐野哲也：実践歯学ライブラリー 歯周治療がうまくいかないのはなぜか？，Dental Diamond，40（15）：31-55，2015.
35. 佐野哲也：インプラント周囲炎が起きたらどうする！？，DENTISTRY INFORMATION MAGAZINE，No.12：6，2015.
36. 佐野哲也：インプラント周囲炎を予防するにはどうしたらいいのか？，DENTISTRY INFORMATION MAGAZINE，No.13：6，2016.

37. 倉治竜太郎：書評 姑獲鳥の夏，歯学，102（春季特集号）：94，2015.
38. 倉治竜太郎：生命歯学部解剖学研究会創設三十五周年記念祝賀会，日本歯科大学校友会・歯学会 会報，Vol.40（No.4）：56，2015.

E. 翻 訳

1. Edward Gottesman, 沼部幸博, 鈴木麻美（翻訳・監訳）：Celebrating 100 Years of the American Academy of Periodontology : Tunneling options and alternatives : From Materials to Methods Part エドワード・ゴッテスマン, アメリカ歯周病学会第100周年記念大会, トンネル法のオプションと選択肢：マテリアルから方法まで, トンネルテクニック 第1巻（38分）, ジャパンライムオリジナル DVD シリーズ, ジャパンライム株式会社, 東京, 2015年.（原本DVD）
2. Giovanni Zucchelli, 沼部幸博, 鈴木麻美（翻訳・監訳）：Celebrating 100 Years of the American Academy of Periodontology : Tunneling options and alternatives : From Materials to Methods Part ジョバンニ・ズッケーリ, アメリカ歯周病学会第100周年記念大会, トンネル法のオプションと選択肢：マテリアルから方法まで, トンネルテクニック代替法 第2巻（38分）, ジャパンライムオリジナル DVD シリーズ, ジャパンライム株式会社, 東京, 2015年.（原本DVD）

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Sekino S, Hisano A, Kikutani T, Tamura F, Numabe Y. Periodontal status in Japanese institutionalized elderly, covering 7 years, J Clin Periodontol, 42 (Special Issue) (Issue Supplement S17) : Abstract of EuroPerio8, London, UK, 3-6 June, 153, 2015.
2. Kuraji R, Ito H, Ishiguro H, Fujita M, Hashimoto S, Numabe Y. Development of a systemic inflammation model of *Porphyromonas gingivalis*-infected periodontitis in high-fat diet fed rats, J Clin Periodontol, 42 (Special Issue) (Issue Supplement S17) : Abstract of EuroPerio8, London, UK, 3-6 June, 189, 2015.
3. 上原 直, 伊藤 弘, 沼部幸博, 関野 愉, 村樫悦子, 石黒一美, 小川智久, 久野彰子, 橋本修一, 永田達也, 濱田 亮: 歯肉溝滲出液における hemoglobin 定量の意義, 日歯周誌, 57 (春季特別号) : 34, 2015.
4. 川村 弘, 沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 石黒一美: 効果的な歯肉縁下でブライドメントに対する有効な補助剤の開発に向けて - 第一報 -, 日歯周誌, 57 (春季特別号) : 34, 2015.
5. 佐藤宏和, 加治彰彦, 沼部幸博: 矯正治療希望の広汎型重度慢性歯周炎患者に対し包括的治療を行った一症例, 日歯周誌, 57 (春季特別号) : 53, 2015.
6. 佐野哲也, 平松小百合, 沼部幸博: 病的歯牙移動を有する広汎型重度慢性歯周炎患者の一症例, 日歯周誌, 57 (春季特別号) : 54, 2015.
7. 横田秀一, 丸山理香, 沼部幸博: 広汎型重度慢性歯周炎患者に対する包括的治療, 日歯周誌, 57 (春季特別号) : 55, 2015.
8. 倉治竜太郎, 橋本修一, 伊藤 弘, 安田佑理, 沼部幸博: ラット口腔内実験に用いる開口器の開発 - 実験的歯周炎モデルへの応用 -, 日歯周誌, 57 (秋季特別号) : 42, 2015.
9. 伊藤 弘, 沼部幸博, 橋本修一, 佐々木大輔, 八重樫隆, 高井英樹, 小方頼昌: 歯肉溝滲

- 出液における hemoglobin 検査と BOP 検査との比較, 日歯周誌, 57 (秋季特別号): 43, 2015.
10. 五十嵐 (武内) 寛子, 村檉悦子, 立花利公, 岡部正隆, 沼部幸博: ヒト歯根膜由来血管内皮細胞に対する CCN2/CTGF の血管形成に関する研究, 日歯周誌, 57 (秋季特別号): 120, 2015.
 11. 関野 愉, 久野彰子, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博: 介護高齢者における歯周炎と全身疾患との関連, 日歯周誌, 57 (秋季特別号): 131, 2015.
 12. 石黒一美, 大久保美佐, 倉治竜太郎, 藤田美也子, 沼部幸博: 青色 LED 光が歯周病原細菌と歯肉繊維芽細胞に与える影響, 日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会プログラムおよび講演抄録集, 195, 2015.
 13. 関野 愉, 久野彰子, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博: 介護高齢者における現在歯数と全身状態との関連, 老年歯学, 30 (2): 240-241, 2015.
 14. 沼部幸博, 伊藤 弘, 上原 直, 橋本修一: 歯肉溝滲出液 (GCF) 中 Hemoglobin (Hb) 検出を応用した歯周病迅速診断キットの開発, 第 8 回日本口腔検査学会, 35, 2015.
 15. 伊藤 弘, 沼部幸博, 橋本修一: 歯周病検査における歯肉溝滲出液・唾液成分解析の有用性の比較, 第 8 回日本口腔検査学会, 36, 2015.
 16. 村檉悦子, 五十嵐 (武内) 寛子, 大久保美佐, 石黒一美, 沼部幸博: レーザー照射は歯周治療後の治癒促進に寄与するか?—臨床的・生化学的見地から—, 第 27 回日本レーザー歯学会・学術大会プログラム・講演抄録集, 52, 2015.
 17. 上原 直: 歯周炎部位と歯肉溝滲液中の骨型 alkaline phosphatase との関連について, 第 2 回研究中間発表会 プログラム・抄録集, 13, 2016.
 18. 藤田美也子: *Porphyromonas gingivalis* 由来 lipopolysaccharide のラット歯周組織および肝臓に及ぼす影響とその動態, 第 2 回研究中間発表会 プログラム・抄録集, 15, 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 沼部幸博: 命をねらう歯周病—歯周病と全身疾患のかかわり—, 全身の健康はお口の中から, 平成 27 年度臨床歯周病学会北海道支部秋季支部例会, 特別講演, 北海道歯科医師会館視聴覚室, 札幌, 平成 27 年 4 月 18 日.
2. 伊藤 弘: 新規 GCF 検査は BOP 検査を凌駕できるか—簡便かつ正確な歯周病検査を目指して—, 第 58 回春季日本歯周病学会学術大会, シンポジウム, 幕張, 平成 27 年 5 月 16 日.
3. 関野 愉: 歯周外科の現存のコンセプト, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会・総会, シンポジウム, 東京, 平成 27 年 6 月 28 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 関野 愉: エビデンスに基づいた歯周治療, CDRI 例会, 東京都台東区, 平成 27 年 4 月 17 日.
2. 沼部幸博: 「歯周病予防で健康寿命アップ!」～全身の健康はお口の中から～, 医療法人遮断 泉晶会 無料患者セミナー, 飯田橋内科歯科クリニック, 東京, 平成 27 年 5 月 9 日.
3. 佐野哲也: 歯周基本治療でどこまで歯周病は治せるのか?～エビデンスに基づいた歯周治

療における非外科・外科の境界線～, K.O.Dental フェア 2015, 東京国際フォーラム, 東京, 平成 27 年 4 月 5 日.

4. 加治彰彦: スカンジナビアン矯正学コース第 I 期 第 4 回 歯牙移動のメカニクス, 矯正装置の種類, 東京, 平成 27 年 5 月 17 日.
5. 沼部幸博: CBT タイプ W とタイプ Q の作問法, 松本歯科大学 2015 年共用試験歯学系 CBT 問題作成ワークショップ, 松本歯科大学会議室, 長野, 平成 27 年 5 月 23 日.
6. 沼部幸博: 免疫応答と組織変化, 日本歯科大学新潟生命歯学部第 3 学年交換講義, 日本歯科大学新潟生命歯学部講堂, 新潟, 平成 27 年 5 月 26 日.
7. 沼部幸博: SRP の威力を検証する, 南カリフォルニア大学歯学部ジャパン・プログラム 2015 第 1 回 ハイジニストコース, 日本歯科大学生命歯学部 富士見ホール, 東京, 平成 27 年 6 月 7 日.
8. 沼部幸博: 「命をねらう歯周病」—歯周病と全身疾患との関わり, 全身の健康は口の中から—, 三重県日本歯科大学校友会学術講演会, 三重県歯科医師会館, 和歌山, 平成 27 年 6 月 28 日.
9. 関野 愉: 歯周治療のための最新のエビデンス, 宮城県保険医協会第 228 回歯科学術研究会, 宮城県仙台市, 平成 27 年 7 月 11 日.
10. 加治彰彦: スカンジナビアン矯正学コース第 I 期 第 5 回 他科との関係 (小児, 補綴 & インプラント, 歯周, 歯内), 東京, 平成 27 年 7 月 19 日.
11. 関野 愉: 高齢者の歯周治療, 日本歯科大学東京短期大学同窓会, 東京都千代田区, 平成 27 年 7 月 26 日.
12. 伊藤 弘, 沼部幸博, 関野 愉, 村檉悦子, 石黒一美, 今井一志, 小川智久, 久野彰子: 歯肉溝滲出液 (GCF) を用いた新規歯周病迅速診断キットの開発—実用化に向けた戦略—, 平成 26 年度日本歯科大学研究プロジェクト公表会, 日本歯科大学生命歯学部 100 周年記念館 4 階 141 講堂, 平成 27 年 8 月 4 日.
13. 関野 愉: ケースディスカッション, 日本歯科大学校友会平成 27 年度ポストグラデュエートコース B コース 歯周治療における歯科医師と歯科衛生士の連携, 日本歯科大学生命歯学部臨床講義室, 平成 27 年 8 月 6 日.
14. 沼部幸博: 認定歯科衛生士になろう, 日本歯科大学校友会平成 27 年度ポストグラデュエートコース B コース 歯周治療における歯科医師と歯科衛生士の連携, 日本歯科大学生命歯学部臨床講義室, 平成 27 年 8 月 6 日.
15. 伊藤 弘: 歯周治療の流れと歯科医師と歯科衛生士との連携, 日本歯科大学校友会平成 27 年度ポストグラデュエートコース B コース 歯周治療における歯科医師と歯科衛生士の連携, 日本歯科大学生命歯学部臨床講義室, 平成 27 年 8 月 6 日.
16. 沼部幸博: 「歯周病予防で健康寿命アップ!」—全身の健康はお口の中から—, 平成 27 年度学校歯科保健研修会, 茨城県立県民文化センター小ホール, 水戸, 平成 27 年 8 月 6 日.
17. 関野 愉: 口腔微生物の基礎知識を感染防御について考える, 東京都日野市, 平成 27 年 8 月 11 日.
18. 関野 愉: 歯周炎とインプラント周囲炎, FMS インプラント・ペリオ研究会, 東京都中央区, 平成 27 年 8 月 31 日.
19. 沼部幸博: 国家試験問題について, 平成 27 年度第 5 学年臨実強化ゼミナール, 日本歯科大学生命歯学部 151 講堂, 東京, 平成 27 年 9 月 16 日.

20. 関野 愉：エビデンスに基づいた歯周治療の流れ，歯想会，東京都中央区，平成 27 年 9 月 27 日．
21. 沼部幸博：新しい歯科医師像とは？，平成 27 年度第 3 学年日本歯科大学ワークショップ講演，日本歯科大学生命歯学部富士見ホール，東京，平成 27 年 9 月 30 日．
22. 関野 愉：歯科衛生士が歯周病に関わるために，ADRG 特別講演会，北海道旭川市，平成 27 年 10 月 3 日．
23. 関野 愉：エビデンスを生かす歯周治療，ADRG 特別講演会，北海道旭川市，平成 27 年 10 月 4 日．
24. 関野 愉：歯周基本治療を効果的に行うための戦略，日本歯科大学校友会東北地区第会，福島県福島市，平成 27 年 10 月 24 日．
25. 沼部幸博：「歯周病予防で健康寿命アップ！」～全身の健康はお口の中から～，日本歯科保存学会市民公開講座，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，平成 27 年 11 月 1 日．
26. 関野 愉：知識と臨床のリンク，第 32 回日本臨床歯周療法集談会学術大会，東京都文京区，平成 27 年 11 月 8 日．
27. 関野 愉：歯周病学の迷信と真実，川越市歯科医師会平成 27 年度第 2 回学術研修会，埼玉県川越市，平成 27 年 11 月 11 日．
28. 沼部幸博：「歯周予防で健康寿命アップ！」全身の健康はお口の中から，第 9 回区民歯科健康講座，練馬区役所多目的ホール，東京，平成 27 年 11 月 14 日．
29. 関野 愉：抗菌療法の科学的根拠とは？，CRC アカデミー，東京都中央区，平成 27 年 12 月 1 日．
30. 関野 愉：歯周病と全身疾患—エビデンスと論争—，第 2 回歯学会ウィンターミーティング，東京都千代田区，平成 27 年 12 月 5 日．
31. 加治彰彦：スカンジナビアン矯正学コース第 I 期 第 6 回 矯正治療中の衛生管理，保定，矯正医との連携，東京，平成 27 年 12 月 6 日．
32. 関野 愉：エビデンスに基づいた歯周治療，浦安歯科医師会学術講演，千葉県浦安市，平成 27 年 12 月 16 日．
33. 加治彰彦：スカンジナビアン矯正学コース第 II 期 第 1 回 セファロ分析，東京，平成 28 年 1 月 31 日．
34. 沼部幸博：歯周病プロフェッショナルケアの最前線～ペリオドンタルメディシンと歯科衛生士～，UP2016 EXTREME MEETING TOKYO，EBIS303，東京，平成 28 年 2 月 14 日．
35. 村樫悦子：歯科用 Nd：YAG レーザーを日常の歯周治療に応用するために，テーブルクリニック，学術フォーラム 2016，東京，平成 28 年 2 月 14 日．
36. 沼部幸博：歯周治療と保険請求を考える～歯科医学的根拠に持ち付いた保険請求をするためには～歯周病の診断と治療に関する指針にそった臨床医のための歯周病について，東京都日本歯科大学校友会目黒支部学術講演会，目黒区日歯会館，東京，平成 28 年 2 月 19 日．
37. 関野 愉：歯周治療のゴールとは，東京都日本歯科大学校友会北多摩支部学術講演会，東京都多摩市，平成 28 年 2 月 20 日．
38. 関野 愉：歯周病と虫歯の予防，高萩市健康運動教室，茨城県高萩市，平成 28 年 2 月 26 日．
39. 関野 愉：くさび状骨欠損への対応，第 12 回 小嶋会，東京都千代田区，平成 28 年 2 月 28 日．

40. 沼部幸博：CBT タイプ W とタイプ Q の作問法，長崎大学歯学部 2016 年共用試験歯学系 CBT 問題作成ワークショップ，長崎大学歯学部，長崎，平成 28 年 2 月 29 日。
41. 伊藤 弘：児童生徒と歯周疾患—学童期からの健康寿命延命に向けて—，東京都杉並区歯科医師会，平成 28 年 3 月 11 日。
42. 沼部幸博：歯科医師と喫煙，平成 27 年度第 4 学年臨床実習オリエンテーション，日本歯科大学附属病院牛込ホール，東京，平成 28 年 3 月 16 日。
43. 加治彰彦：スキャンナビアン矯正学コース第 II 期 第 2 回 ブラケットプレースメント・アンカースクリュー，東京，平成 28 年 3 月 20 日。
44. 沼部幸博：歯周病検診マニュアル 2015 について，変更点とその目的，練馬区歯科医師会保険講習会，練馬区歯科医師会館，東京，平成 28 年 3 月 23 日。
45. 沼部幸博：健やかな人生は歯と口の健康から～いつまでも魅力的であるために～，墨田区歯科講演会・健康講演会，すみだリバーサイドホールイベントホール，東京，平成 28 年 3 月 24 日。
46. 関野 愉：歯科衛生士のための臨床歯周病学＝Perio の疑問に答える，中央医療専門学区同窓会，群馬県太田市，平成 28 年 3 月 27 日。
47. 沼部幸博：日本歯科大学の授業とカリキュラム，第 135 回日本歯科大学ワークショップ講演，日本歯科大学生命歯学部第一会議室，東京，平成 28 年 3 月 30 日。

● 歯科補綴学第1講座 Department of Partial and Complete Denture

1. 所属構成員等

教 授 志賀 博
准 教 授 横山 正起
短 大 教 授 小池 麻里 (併任)
非 常 勤 講 師 渡邊 誠, 赤川 安正, 佐藤 泰彦, 田中 武, 沖 淳
中野 幸夫, 藤井 重壽, 菊地 康記, 難波 鍊久, 小松 義典
王 孝, 林 清平, 内藤 順, 稲富 健祐, 寺辺やよひ
武田 悦孝, 村上 義和, 石川 忠, 萩原 彰, 岩波 行紀
高草木 章, 石原 裕之, 仁村秀由喜, 芳賀 景嗣, 中島 邦久
田中 彰, 萩沢 宏美, 荒川 一郎, 松尾 卓, 千綿 一郎
田口 智久, 千切 一恵, 石川 礼乃, 橋本 真, 渡邊 篤士
大 学 院 生 上杉 華子, 岡田 大和, 小見野真梨恵, 田中 優香, 山本 早織
倉持 淳子

2. 研究テーマ

- 1) ヒトの睡眠中のBruxismに関する臨床的研究 Clinical study on bruxism in human during sleep.
- 2) 咀嚼運動の機能的分析 The analysis of masticatory movements.
- 3) 血糖測定機器による簡便な咀嚼能率の評価法 A simplified method of evaluation for masticatory efficiency by glucose meter.
- 4) 側頭下顎障害患者の精神内分泌反応 The psychoendocrine responses of the patients with temporomandibular disorders.
- 5) 人工歯咬合面形態と下顎運動機能 Occlusal morphology of artificial teeth and mandibular movement.
- 6) 顎関節音に関する臨床的研究 Clinical study on TMJ sound.
- 7) EMG パワースペクトルの分析による咀嚼筋機能の定量的評価 Quantitative evaluation of masticatory muscle function using EMG power spectral.
- 8) 近赤外分光装置による脳内血流の変化 Change in brain blood flow using near-infrared spectroscopy.
- 9) 咀嚼運動経路のパターンと側方咬合位の咬合接触状態との関係 Relationship between masticatory path patterns and occlusal contacts at lateral position.
- 10) 小型の下顎運動記録装置の開発 Developing a compact device for measuring mandibular movement.
- 11) 側頭下顎障害患者の咀嚼機能と咀嚼能力 Masticatory function and masticatory performance in TMD patients.
- 12) 味の違いが脳波に及ぼす影響 The effect of taste of food on brain wave.
- 13) 有床義歯装着者の咀嚼能力 Masticatory performance in removable denture wearers.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 志賀 博, 山村晴雄: 発明者 志賀 博, 2016年2月, 国際特許分類: A61B 5/11, 出願

番号：2016-54778号，下顎運動測定装置およびその測定方法。【特許出願】

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修，東京都千代田区，日本歯科大学附属病院，2015 年 9 月 6 日，志賀 博，原 節宏。
- 2) 平成 27 年度日本歯科大学学内校友会主催シンポジウム，東京都千代田区，日本歯科大学九段ホール，2016 年 1 月 25 日，志賀 博。

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金，基盤研究 (C) (継続)，平成 25～27 年度，課題番号 25463032，小型軽量の無線 LAN 応用装置による夜間睡眠中の生体现象分析システムの開発，横山正起 (代表)，志賀 博，渡邊篤士 (分担)，4,810,000 円。
- 2) 日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金，基盤研究 (C) (継続)，平成 25～27 年度，課題番号 25463034，歯科用金属アレルギー患者の口腔内金属修復物の簡易かつ確実な成分分析方法の開発，小池麻里 (代表)，志賀 博 (分担)，4,420,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

- 1) 志賀 博 (分担執筆)：第 2 章 咀嚼機能の検査，74-75，市川哲雄，大川周治，平井敏博，細井紀雄 編，無歯顎補綴治療学 第 3 版，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-45792-4。
- 2) 志賀 博 (分担執筆)：第 6 章 下顎運動記録装置と咬合器装着，165-170，市川哲雄，大川周治，平井敏博，細井紀雄 編，無歯顎補綴治療学 第 3 版，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-45792-4。
- 2) 1) 志賀 博 (分担執筆)：第 1 章 顎口腔系の形態，1-12，全国歯科技工士教育協議会 編，最新歯科技工士教本，顎口腔機能学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-43163-4。
- 2) 志賀 博 (分担執筆)：第 2 章 顎口腔系の機能，13-19，全国歯科技工士教育協議会 編，最新歯科技工士教本，顎口腔機能学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-43163-4。
- 3) 志賀 博，小泉順一 (分担執筆)：第 4 章 下顎運動，23-34，全国歯科技工士教育協議会 編，最新歯科技工士教本，顎口腔機能学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-43163-4。
- 4) 志賀 博，小泉順一 (分担執筆)：第 5 章 歯の接触様式，35-46，全国歯科技工士教育協議会 編，最新歯科技工士教本，顎口腔機能学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-43163-4。

5) 志賀 博, 竹井利香 (分担執筆) : 第 6 章 咬合器, 47-64, 全国歯科技工士教育協議会編, 最新歯科技工士教本, 顎口腔機能学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-43163-4.

6) 志賀 博, 竹井利香 (分担執筆) : 第 7 章 咬合検査と顎機能障害, 65-69, 全国歯科技工士教育協議会編, 最新歯科技工士教本, 顎口腔機能学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-43163-4.

B. 原 著

1. 志賀 博, 中島邦久, 横山正起, 小池麻里 : MKG による下顎運動検査法, ○日本歯科理工学会誌, 2015 ; 34 (3) : 183-186.

Shiga H, Nakajima K, Yokoyama M, Koike M. Examination method of mandibular movement using MKG, The journal of the Japanese Society for Dental Materials and Devices, 2015 ; 34 (3) : 183-186.

2. 村田比呂司, 志賀 博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井 薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西 恭宏, 越野 寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷 武, 吉田光由, 古谷野潔 : 高齢者の栄養障害に対する歯科的アプローチに関するプロジェクト研究, 高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日本歯科医学会誌, 2015 ; 34 : 54-58.

Murata H, Shiga H, Ohkubo C, Shibuya T, Kondo H, Sakurai K, Tanaka J, Matsuka Y, Minakuchi S, Masumi S, Ohkawa S, Nishi Y, Koshino H, Sasaki K, Akagawa Y, Kawara M, Kikutani T, Yoshida M, Koyano K. Effect of denture wearing on nutrient intake and guidelines for feeding and nutrition guidance in elderly denture wearers, Journal of the Japanese Association for Dental Science, 2015 ; 34 : 54-58.

3. 志賀 博, 横山正起, 横山敦郎, 坂口 究, 服部佳功, 依田信裕, 赤川安正, 川良美佐雄, 大川周治, 祇園自信仁, 小野高裕, 前田芳信, 皆木省吾, 津賀一弘, 鱒見進一, 佐々木啓一 : 口腔疾患の治療や口腔機能の維持・回復が全身の健康に与える影響に関するプロジェクト研究, 歯科治療による口腔機能の改善が健康に及ぼす影響に関する臨床データベースの構築, 日本歯科医学会誌, 2015 ; 34 : 69-73.

Shiga H, Yokoyama M, Yokoyama A, Sakaguchi K, Hattori Y, Yoda N, Akagawa Y, Kawara M, Ohkawa S, Gionhaku N, Ono T, Maeda Y, Minagi S, Tsuga K, Masumi S, Sasaki K. Constructing a clinical database on the impact of improving the oral function by dental treatment on health, Journal of the Japanese Association for Dental Science, 2015 ; 34 : 69-73.

4. 志賀 博, 高森 等 : インプラント治療患者の咀嚼機能, ○日本顎顔面インプラント学会雑誌, 2015 ; 14 (2) : 65-70.

Shiga H, Takamori H. Masticatory function in patients undergoing implant treatment, Journal of Japanese Society of Oral Implantology, 2015 ; 14 (2) : 65-70.

5. 志賀 博, 中島邦久, 田中 彰, 荒川一郎, 横山正起 : 有床義歯装着者の咀嚼時の下顎運動と咀嚼能力, ○日本全身咬合学会雑誌, 2015 ; 21 (2) : 33-38.

Shiga H, Nakajima K, Tanaka A, Arakawa I, Yokoyama M. Masticatory movement and Masticatory performance of patients wearing removable dentures, The Journal of the Japanese Academy of

Occlusion and Health, 2015 ; 21 (2) : 33-38.

6. 志賀 博：口腔機能と全身の健康との関係，○日本全身咬合学会雑誌，2015 ; 21 (2) : 44-51.

Shiga H. Relationship between oral function and general health, The Journal of the Japanese Academy of Occlusion and Health, 2015 ; 21 (2) : 33-38.

C. 総説・解説

1. 志賀 博：夜間睡眠時ブラキシズムと顎関節症，東京都歯科医師会雑誌，2016 ; 64 (2) : 3-7.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 田上直美，志賀 博：歯科治療における金属アレルギー，金属アレルギーの疫学的実態，歯界展望，2015 ; 126 (5) : 902-911.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Yokoyama M, Shiga H, Koike M. Analyzing System in Biological Phenomena using a Portable Amplifier, 2015 Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP, Program and Abstracts of Papers, 29, 2015.
2. 上杉華子，志賀 博，小見野真梨恵，中島邦久，田中 彰，横山正起：咀嚼能力と咀嚼運動との関係，日本顎口腔機能学会雑誌，22 (1) : 24-25, 2015.
3. 田中優香，志賀 博，中島邦久，小見野真梨恵，横山正起，高草木章：高齢者における義歯の装着状態でみた咀嚼能力，日本補綴歯科学会誌，7 (124 回特別号) : 144, 2015.
4. 山本早織，志賀 博，田中 彰，上杉華子，岡田大和，小池麻里：食品摂取アンケートによる咀嚼能力の評価，日本補綴歯科学会誌，7 (124 回特別号) : 145, 2015.
5. 岡田大和，田中 武，志賀 博：復位性顎関節円板前方転位患者の下顎頭位，日本顎関節学会雑誌，27 (第 28 回大会特別号) : 163, 2015.
6. 山本早織，志賀 博，岡田大和，中島邦久，小見野真梨恵，田中優香：2 次元と 3 次元の装置で記録した咀嚼運動の比較，日本咀嚼学会雑誌，25 (2) : 76-77, 2015.
7. 平元 泉，大高麻衣子，薄田悦子，畠山飛鳥，志賀 博：幼児・児童・生徒の咀嚼機能，日本咀嚼学会雑誌，25 (2) : 88-89, 2015.
8. 小見野真梨恵，志賀 博，中島邦久，岡田大和，横山正起，倉持淳子：咀嚼運動の指標における食品硬さの影響，日本咀嚼学会雑誌，25 (2) : 98-99, 2015.
9. 山本早織，志賀 博，中島邦久，小見野真梨恵，岡田大和：2 次元下顎運動記録装置による咀嚼運動の分析，日本顎口腔機能学会第 55 回学術大会プログラム・抄録集，32-33, 2015.
10. 岡田大和，小見野真梨恵，志賀 博，中島邦久，倉持淳子，石川 忠：咀嚼運動と身体重心動揺との関係，第 25 回日本全身咬合学会学術大会プログラム・抄録集，39, 2015.
11. 田中優香，志賀 博，上杉華子，田中 彰，山本早織，横山正起：高齢者における咬合支持と咀嚼能力との関係，第 25 回日本全身咬合学会学術大会プログラム・抄録集，40, 2015.

12. 上杉華子, 志賀 博, 倉持淳子, 田中 武, 藤井重壽, 子上俊夫, 仁村秀由喜: 高齢者における機能歯数でみた咀嚼能力, 平成 27 年度 (公社) 日本補綴歯科学会関東支部総会・第 19 回学術大会プログラム・抄録集, 23, 2016.
13. 平賀 泰, 志賀 博, 小倉 晋, 横山正起, 高森 等: インプラント応用患者の咀嚼能力と咬合力における性差, (公社) 日本口腔インプラント学会 第 35 回関東・甲信越支部学術大会プログラム・抄録集, 35, 2016.
14. Koike M, Hummel S K., Mitchell R J., Okabe T. Adhesive devices deemed suitable for sampling metallic restoration in 10 of 15 vivo, Journal of Dental Research, 95 (Special issue A) : 1872, 2016.
15. 田中優香: 高齢者における咬合状態でみた年齢と咀嚼能力との関係, 日本歯科大学大学院生命歯学研究科第 2 回研究中間発表会中間発表会プログラム・抄録集, 14, 2016.
16. 山本早織: 高齢有歯顎者における咀嚼能力, 日本歯科大学大学院生命歯学研究科第 2 回研究中間発表会中間発表会プログラム・抄録集, 17, 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 志賀 博: 高齢者の咀嚼機能, 平成 27 年度第 2 回健康咀嚼指導士フォローアップセミナー, 東京都文京区・東京医科歯科大学, 2015 年 8 月 22 日.
2. 志賀 博: 咀嚼の評価, 検査法と評価法, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会第 16 回健康咀嚼指導士認定教育研修講演, 東京都文京区・東京医科歯科大学, 2015 年 8 月 23 日.
3. 志賀 博: 咀嚼機能の評価, 日本顎口腔機能学会第 9 回顎口腔機能セミナー, 広島県広島市・学校法人 YMCA 学園, 平成 27 年 8 月 30 日.
4. 志賀 博, 加藤 均: 重心動揺, 主機能部位と咀嚼運動, 日本顎口腔機能学会第 9 回顎口腔機能セミナー, 広島県広島市・学校法人 YMCA 学園, 平成 27 年 8 月 30 日.
5. 志賀 博: 顎関節症とブラキシズムの最前線, 平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修, 東京都千代田区・日本歯科大学附属病院, 平成 27 年 9 月 6 日.
6. 志賀 博: 顎関節症とブラキシズムにスプリントを使うなら, 平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修, 東京都千代田区・日本歯科大学附属病院, 平成 27 年 9 月 6 日.
7. 小池麻里: ARCAM と EOS のチタン材の比較, 金属光造形複合加工医療機器フォーラム第 9 回シンポジウム, 東京都大田区・松浦機械製作所東京フォーラムセンター, 平成 27 年 12 月 5 日.
8. 小池麻里, 小口春久: 口腔内にある修復物の成分元素を分析する方法の紹介, 第 3 回貴金シンポジウム, 東京都目黒区・東京大学生産技術研究所, 平成 28 年 1 月 8 日.

● 歯科補綴学第2講座 Department of Crown and Bridge

1. 所属構成員等

教 授 五味 治徳
准 教 授 波多野泰夫, 新谷 明一
助 教 黒田 聡一
客員教授等 James E. Parker
非常勤講師 鈴木 康仁, 大滝 正行, 千葉 栄一, 倉治 康男, 松田 哲治
山本 尚靖, 片桐 慎吾, 加賀山文雄, 近藤 隆一, 用丸 英則
横山大一郎, 山田 眞理, 林 捷, 原田 光佑, 米澤 弥生
大 学 院 生 清水沙久良, 新妻 瑛紀

2. 研究テーマ

- 1) 口腔内スキャナーの精度向上と臨床応用に関する研究 Evaluation of accuracy intraoral scanner.
- 2) CT 画像からの 3D FEM モデル製作システムの構築と標準化 FEM Model Construct from CT.
- 3) CAD/CAMによる歯科診療の高品質化 Quality Control of Dental Treatment with CAD/CAM.
- 4) アルミナ・ジルコニアセラミックスの生体材料における臨床評価 Clinical Evaluation of Fine Ceramics as Biomaterial.
- 5) CAD / CAM によって製作されたクラウンの接着強さ向上に関する研究 Evaluation of bonding strength of CAD / CAM crowns.
- 6) ファイバー補強レジン補綴装置の設計と臨床応用 Design of Fiber Reinforced Hybrid Composite for Prosthesis.
- 7) ファイバーポスト併用レジン支台築造のガイドラインの確立とそれらに付随する基礎的研究 Development of Clinical Guideline for FRC Post and Core and Basic Research of Post and Core Materials.
- 8) ナノフィラーハイブリッドレジンの開発と臨床応用に関する研究 Development of Nano-Hybrid Composite Materials.
- 9) CAD / CAM レジクラウンの大白歯適応拡大に関する臨床評価 Clinical evaluation of CAD / CAM resin crown for posterior.
- 10) オッセオインプラントのネジに対する力学的作用に関する研究 Mechanical behavior of implant screw within mastication for implant structures.
- 11) インプラント埋入方向が骨に及ぼす力学的影響 Mechanical behavior of implant direction.
- 12) 歯科補綴実習の到達目標に関する研究 Achievement Assessment of Prosthodontic Basic Clinical Training.
- 13) 金属代替材料による治療技術の開発 Development of the New Treatment Technique which Alternative Materials for Metals.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本歯科補綴学会東京支部総会・第19回学術大会, 優秀発表賞, 新妻瑛紀, 2015年11月29日, サンドブラスト処理の違いがCAD/CAM冠とコア用レジンの接着強さに及ぼす影響.
- 2) 第34回日本接着歯学会学術大会, 発表優秀賞(ポスター), 新谷明一, 2015年12月20日, コア用レジンの使用条件が根管象牙質との接着強さに及ぼす影響.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 4th Trilateral Dental Symposium on “Emerging Topics in Dentistry”, 香港, 2015年9月20日, 香港大学, 昭和大学, 日本歯科大学共同開催.

6. 国際交流状況

- 1) Prof. Jukka Matinlinna (香港大学, 理工学), 宮崎隆教授 (昭和大学) と今後のシンポジウムに関して協議を行い, 2016年度のシンポジウムは日本歯科大学にて行うことが決定された. また, ジルコニアインレーブリッジの応力解析と設計指針についての共同研究を林捷 (北京大学口腔医学院), Prof. Botelho MG (香港大学, 補綴科) との3校で今後の研究方針が協議された. 研究の一部は Odontology に原著論文が掲載された.
- 2) フィンランド・トゥルク大学, オランダ・ACTA, ベルギー・ゲント大学との共同研究を継続し, その一部が ScientificWorldJournal に原著論文として掲載された.
- 3) ブリティッシュコロンビア大学・ワシントン大学交換留学に新谷明一が引率教員として参加した.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究(C)(継続), 平成25~27年, グラスファイバーで補強した臼歯レジンプリッジの最適設計, 五味治徳(代表), 新谷明一, 黒田聡一(分担), 2,860,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 新谷明一(分担執筆): 8章 接着ブリッジ, 2 接着ブリッジの術式, 2) 間接法, 2 ジルコニアの応用, 3 グラスファイバーの応用, 77-78, 日本接着歯学会 編, 接着歯学第2版, 医歯薬出版, 東京, 2015, ISBN: 978-4-263-44459-7.

B. 原著

1. Lin J, Zheng Z, Shinya A, Matinlinna JP, Botelho MG, Shinya A. Structural stability of posterior retainer design for resin-bonded prostheses: a 3D finite element study, ©Odontology, 2015; 103(3): 333-338, doi: 10.1007/s10266-014-0173-2.

2. Keulemans F, Shinya A, Lassila LV, Vallittu PK, Kleverlaan CJ, Feilzer AJ, De Moor RJ. Three-dimensional finite element analysis of anterior two-unit cantilever resin-bonded fixed dental prostheses, ©ScientificWorldJournal, 2015 ; 2015 : 864389, doi : 10.1155/2015/864389.
3. 新妻瑛紀, 新谷明一, 黒田聡一, 新谷明喜 : MDP 含有プライマー処理した Ce-TZP/Al₂O₃ ナノ複合体に対するセルフアドヒーズブレジンセメントと接着性レジンセメントの接着強さ, ○日歯理工誌, 2015 ; 34 (4) : 281-288.
Niitsuma A, Shinya A, Kuroda S, Shinya A. Effect of MDP primer on bond strength to Ce-TZP/Al₂O₃ using self-adhesive and adhesive resin cement, ○JJ Dent Mater, 2015 ; 34 (4) : 281-288.
4. 清水沙久良, 新谷明一, 新谷明喜 : ワックス CAD / CAM テクニックによるワックスクラウンの加工精度に及ぼすセメント設計値の影響, ○日歯理工誌, 2016 ; 35 (1) : 41-48.
Shimizu S, Shinya A, Shinya A. Machining accuracy of wax crown to cement spaces with the wax CAD / CAM technique using milling machine, ○JJ Dent Mater, 2016 ; 35 (1) : 41-48.
5. Harada K, Shinya A, Gomi H, Hatano Y, Shinya A, A.J. Raigrodski. Effect of accelerated aging on the fracture toughness of zirconias, ©J Prosthet Dent, 2016 ; 115 (2) : 215-223, doi : 10.1016/j.prosdent.2015.08.020.

C. 総説・解説

1. 五味治徳, 宮下 渉, 宗村 治 : マウスガードを考える, 歯学, 102 巻 (春季特集号) : 74-77, 2015.
2. 五味治徳 : 学部教育におけるスポーツ歯学, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 41 (1) : 6-10, 2015.
3. 千葉栄一, 五味治徳 : コロンブスが出会った媚薬、万能薬へと変身したグアヤクウッド, *aromatopia*, 131 : 2-5, 2015.
4. 五味治徳 : 補綴装置の経年変化, 歯学, 103 巻 (秋季特集号) : 16-19, 2015.
5. 五味治徳 : 日本歯科大学歯学会第 2 回ウィンターミーティング開催, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 41 (3) : 72-73, 2016.
6. 新谷明一, 清水沙久良, 新谷明喜 : ワックス CAD / CAM テクニック, 日本歯科理工学会誌, 35 (1) : 14-17, 2016.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 近藤 圭, 新谷明一 : 信頼の接着力, 安心の重合, そして挑発的な操作性 : ビスココアフロ DC, クリニカル・M・レポート新聞, 48 : 1-3, 2015.
2. 原田光佑 : 自由選択型の米国留学, *the Quintessence*, 34 (6) : 88, 2015.
3. 新谷明一 : Digital dentistry におけるセルフアドヒーズブレジンセメントの有用性, 補綴臨床, 49 (1) : 78-82, 2016.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Shinya A, Keulemans F, Lassila L, Vallittu P. The effect of different materials on stress distribution for anterior cantilever adhesive bridge, 23rd European Dental Materials Conference (European Journal of Prosthodontics & Restorative Dentistry, Special issue) : 35, 2015.
2. Shinya A, Kuroda S, Gomi H. The effect of implant diameter and length on stress distribution for single implant treatment using 3D FEM analysis, 39th Annual Conference of the European Prosthodontic Association, Program Booklet : 71, 2015.
3. 清水沙久良, 新谷明一, 新妻瑛紀, 黒田聡一, 五味治徳, 新谷明喜 : cara TRIOS[®]による光学印象を用いて作製したクラウンの適合精度, 日歯理工誌, 34 (2) : 103, 2015.
4. 新妻瑛紀, 新谷明一, 黒田聡一, 五味治徳, 新谷明喜 : CAD/CAM レジンブロックに対するセルフアドヒーズセメントと接着性レジンセメントの接着強さ, 日歯理工誌, 34 (2) : 163, 2015.
5. 清水沙久良, 新谷明一, 森 麻智子, 黒田聡一, 五味治徳, 新谷明喜 : デジタルワークフローを用いて製作したジルコニアクラウンの一症例, 日本デジタル歯科学会誌, 5 (1) : 204, 2015.
6. 新妻瑛紀, 新谷明一, 黒田聡一, 五味治徳, 新谷明喜 : CAD/CAM レジンブロックとコア用レジンの自己接着性セメントにおける接着強さ, 日補綴会誌, 7 : 212, 2015.
7. 清水沙久良, 新谷明一, 新妻瑛紀, 黒田聡一, 五味治徳, 新谷明喜 : 口腔内スキャナーによるデジタルインプレッションの適合評価, 日補綴会誌, 7 : 282, 2015.
8. 五味治徳, 波多野泰夫 : 学生相互実習後のアンケート調査結果について—概形印象採得について過去 6 年間の調査結果—, 日本歯科医学教育学会 第 34 回学術大会プログラム・抄録集, 112, 2015.
9. 新妻瑛紀, 新谷明一, 黒田聡一, 波多野泰夫, 五味治徳 : 歯冠修復用金属とセルフアドヒーズレジンセメントの接着強さにプライマーが及ぼす効果, 平成 27 年度歯学会学内口頭発表会, 1, 2015.
10. Niitsuma A, Shinya A, Shimizu S, Kuroda S, Hatano Y, Gomi H. The effect of MDP-containing primer treatment on bond strength using self-adhesive resin cement to Ce-TZP/Al₂O₃, 32nd Year of the ICP & 16th Biennial Meeting of the Seoul Korea, 196, 2015.
11. 清水沙久良, 新谷明一, 黒田聡一, 五味治徳 : 2 種の CAD/CAM システムを用いて製作したレジンクラウンの適合精度, 日歯理工誌, 34 (5) : 331, 2015.
12. 新妻瑛紀, 新谷明一, 清水沙久良, 黒田聡一, 五味治徳 : チェアサイド用サンドブラスターの処理条件が CAD/CAM レジンブロックの接着強さに及ぼす影響, 日歯理工誌, 34 (5) : 341, 2015.
13. 黒田聡一, 新谷明一, 阿部裕也, 新 充弘, 五味治徳 : 各種熱可塑性樹脂の耐変色性について, 日歯理工誌, 34 (5) : 359, 2015.
14. Shinya A, Keulemans F, Lassila LV, Vallittu PK. The effect of different materials on stress distribution for anterior cantilever adhesive bridge, The 4th Trilateral HKU-NDU-SU Dental Symposium on “Emerging Topics in Dentistry”, Program Booklet : 22, 2015.
15. 新妻瑛紀, 新谷明一, 清水沙久良, 黒田聡一, 亘理 薫, 波多野泰夫, 五味治徳 : サンドブラスト処理の違いが CAD/CAM 冠とコア用レジンの接着強さに及ぼす影響, 平成 27 年度東京支部総会・第 19 回学術大会, 22, 2015.

16. 清水沙久良, 新谷明一, 黒田聡一, 波多野泰夫, 五味治徳: ミリング機と被削材の組み合わせがクラウンの適合精度に及ぼす影響, 平成 27 年度東京支部総会・第 19 回学術大会, 23, 2015.
17. Shimizu S, Shinya A, Kuroda S, Hatano Y, Gomi H. The influence of CAD/CAM system choice on the marginal and internal fit of virtual/fabricated CAD / CAM crowns, 平成 27 年度歯学会第 2 回ウィンターミーティング, 14, 2015.
18. 新妻瑛紀, 新谷明一, 清水沙久良, 黒田聡一, 波多野泰夫, 五味治徳: CAD/CAM 冠の接着強さに及ぼすサンドブラスト処理の影響, 平成 27 年度歯学会第 2 回ウィンターミーティング, 15, 2015.
19. 新妻瑛紀, 新谷明一, 五味治徳: CAD/CAM レジンブロックの表面処理の違いがセルフアドヒーシブレジンセメントの接着強さに及ぼす影響, 第 34 回日本接着歯学会学術大会, 33 (3) : 137, 2015.
20. 新谷明一, 新妻瑛紀, 亘理 薫, 五味治徳: コア用レジンの使用条件が根管象牙質との接着強さに及ぼす影響, 第 34 回日本接着歯学会学術大会, 33 (3) : 139, 2015.
21. Niitsuma A, Shinya A, Kuroda S, Hatano Y, Gomi H. Increasing Bond Strength in Zirconia Crown MDP- Containing Primer and Metal Primer`s Effect on Bonding Strength for Self-Adhesive Resin Cement and Zirconia, American Equilibration Society 61st Annual Meeting, 15, 2016.
22. Shimizu S, Shinya A, Kuroda S, Hatano Y, Gomi H. The accuracy of CAD/CAM crowns with an intraoral scanner and two different milling machines, American Equilibration Society 61st Annual Meeting, 24, 2016.
23. Shimizu S, Hatano Y, Gomi H. Accuracy of master model fabrication with 3D-Printer, American Academy of Fixed Prosthodontics 65th Annual Scientific Session, 18, 2016.
24. Niitsuma A, Hatano Y, Gomi H. MDP-containing primer`s effect on bonding strength for cement and Ce-TZP/Al₂O₃, American Academy of Fixed Prosthodontics 65th Annual Scientific Session, 19, 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Shimizu S. The accuracy of CAD/CAM crown with three different CAD/CAM systems, The 4th Trilateral HKU-NDU-SU Dental Symposium on “Emerging Topics in Dentistry” In Hong Kong, 2015 年 11 月 20 日.
2. Shinya A. Summary Session, The 4th Trilateral HKU-NDU-SU Dental Symposium on “Emerging Topics in Dentistry” In Hong Kong, 2015 年 11 月 20 日.
3. 新谷明一: 先進医療におけるファイバー補強レジンブリッジへの接着, 第 34 回日本接着歯学会学術大会, 東京, 2015 年 12 月 20 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 五味治徳: スポーツ歯学とマウスガード, 板橋区歯科医師会学術講演会, 東京, 2015 年 5 月 20 日.
2. 五味治徳: 歯科用金属による電磁波過敏症とその対応としての補綴治療, 日本歯科大学近畿地区講演会, 京都, 2015 年 10 月 3 日.

3. 五味治徳：グラスファイバー補強高強度コンポジットレジンブリッジ，メタルフリー学会，東京，2015年11月3日。
4. 新谷明一：CAD / CAM 補綴の今—レジン系材料による補綴装置を再考する—，Leading Dentists Association セミナー，東京，2015年11月25日。
5. 五味治徳：メタルフリー歯冠修復材料による補綴治療の現状，大森校友会学術講演会，東京，2015年12月12日。
6. 新谷明一：CAD / CAM との上手な付き合い方，米沢市歯科医師会学術講演会，米沢，2015年12月12日。

● 口腔外科学講座 Department of Oral and Maxillofacial Surgery

1. 所属構成員等

教授 又賀 泉
准教授 松野 智宣, 宮坂 孝弘
講師 北原 和樹
助教 浅野 一成, 宮澤 敦子
客員教授 伊藤 敦夫, 大野 忠夫, 田畑 泰彦, 武川 寛樹, 森 良之
吉岡 亨, 吉本 世一
客員准教授 井出 勝久
非常勤講師 秋山 眞一, 井川 淳一, 五十嵐史征, 井出 公一, 伊藤 真
大村 真基, 小俣 和彦, 貴美島 香, 斉藤 俊夫, 早乙女雅彦
高松 和広, 玉澤 学, 谷内 俊一, 富田 滋, 藤原 博
宮井 崇宏, 山内 由隆, 山口 昌彦, 山田 隆久
大学院生 中村 浩樹, 矢島麻衣子, 横田 憲昌, 真室 仁美, 三木 貴仁

2. 研究テーマ

- 1) 複合骨再生材料を用いた歯槽骨再生の臨床研究 Clinical research on alveolar bone regeneration using composite bone biomaterials.
- 2) 骨・歯周組織・唾液腺のための再生医工学 The regenerative medical engineering for bone, periodontal tissue and salivary gland.
- 3) 口腔疾患に対する抗酸化療法 Antioxidative therapy for oral diseases.
- 4) チタンの表面改質が骨生体活性に及ぼす影響 Effects of bone bioactivity by surface modification.
- 5) 唾液腺の加齢性組織変化と遺伝子発現変化に関する研究 Study on age-related histological changes of salivary gland with gene expression changes.
- 6) 骨補填材料の比較研究 Comparative study of bone substitutes.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 平成 27 年度日本歯科大学学術研究奨励賞受賞, 浅野一成, 2015 年 6 月 6 日, Preparation of thermoplastic poly (l-lactic Acid) membranes for guided bone regeneration.
- 2) 5th National CAMLOG Congress Poster Award 1st Prize, 浅野一成, 2015 年 11 月 22 日, 骨再生能を有する各種骨補填材の *in vivo* による比較検討.
- 3) 第 19 回日本顎顔面インプラント学会 学会理事長賞, 三木貴仁, 2015 年 11 月 29 日, 電解還元性イオン水によるチタン表面のバイオロジカルエイジングの制御と生体機能化.

4. 学位取得者

- 1) 中村浩樹, 実験的インプラント周囲炎におけるハイドロキシアパタイトコーティングと陽極酸化表面処理の比較検討: 肉眼的およびエックス線学的評価, 2016 年 1 月 12 日, 日本歯科大学.
- 2) 矢島麻衣子, ヒト唾液腺由来細胞への H₂O₂ 誘導による酸化ストレスに対するアスタキサ

ンチンの抗酸化・抗炎症作用, 2016年3月9日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

- 1) 日本口腔看護研究会 第3回東京地区セミナー, 日本歯科大学生命歯学部, 東京都, 2015年5月9日, 又賀 泉.
- 2) 平成27年度東京都歯科医師会卒後研修会, 日本歯科大学生命歯学部, 東京都, 2015年6月25日, 又賀 泉.

6. 国際交流状況

- 1) 姉妹校香港大学と第4回香港大学・日本歯科大学・昭和大学三校合同シンポジウム (4th Trilateral HKU-NDU-SU Dentistry Symposium) に参加・学術交流を行った. 2015年11月20日, 香港, 又賀 泉.
- 2) 姉妹校中山医学大学において5年生を対象に講義を行った. 2016年3月7日, 台中, 台湾, 又賀 泉.
- 3) 第2回国際口腔外科専門医試験 (2nd International Board for the Certification of Specialists in Oral and Maxillofacial Surgery : IBCOMS)の試験委員として活動した. 2016年3月13日~3月19日, 大阪市, 又賀 泉.

7. 外部・学内研究費

- 1) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (新規), 2015年4月~2017年(2年), 電解還元性イオン水によるチタン表面のバイオロジカルエイジングの制御と生体機能化, 松野智宣 (代表), 浅野一成 (分担), 4,810,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 松野智宣 (分担執筆): 第1章 歯科専用薬剤 6 歯科用診断薬, 103-111, 歯科日本歯科薬物療法学会 編, 新版日本歯科用医薬品集, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1280-8.
2. 又賀 泉 (分担執筆): 第6章 腎障害患者への投薬, 334-335, 日本歯科薬物療法学会 編, 新版日本歯科用医薬品集, 永末書店, 2015, ISBN : 978-4-8160-1280-8.
3. 1) 又賀 泉 (分担執筆): 第2章 損傷, 43-62, 栗田賢一, 覚道健治 (編集主幹), 第4版 SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1305-8.
2) 又賀 泉 (分担執筆): 付章3 手術各論2 歯の移植および再植術、人工歯根埋入術, 421-428, 栗田賢一, 覚道健治 (編集主幹), 第4版 SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1305-8.
4. 又賀 泉 (分担執筆): 付章3 手術各論3 歯槽堤の手術, 429-434, 栗田賢一, 覚道健治 (編集主幹), 第4版 SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1305-8.
5. 又賀 泉 (分担執筆): 付章3 手術各論11 再建手術, 486-502, 栗田賢一, 覚道健治 (編集主幹), 第4版 SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療, 永末書店, 京都, 2015, ISBN :

978-4-8160-1305-8.

6. 宮坂孝弘 (分担執筆) : 付章 3 手術各論 3 歯槽堤の手術, 429-434, 栗田賢一, 覚道健治 (編集主幹), 第 4 版 SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1305-8.
7. 松野智宣 (分担執筆) : 第 4 章 全身疾患と口腔内科 1. 歯科と関連する全身疾患 8-2 脳梗塞, 8-3 脳出血, 291-295, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 口腔内科学, 永末書店, 京都, 2015, ISBN : 978-4-8160-1304-1.
8. 又賀 泉 (分担執筆) : 第 12 章 腫瘍および腫瘍類似疾患, 245-254, 標準口腔外科学 第 4 版 第 1 刷, 野間弘康, 瀬戸暁一 (監修), 内山健志, 近藤壽郎, 久保田英朗 (編集), 医学書院, 東京, 2015, ISBN : 978-4-2601-3728-7.
9. 松野智宣 (分担執筆) : 4 章 口腔カンジダ属が関連する疾患 1 舌痛とカンジダ 2 味覚とカンジダ 3 口内炎とカンジダ, 33-41, 日本歯科薬物療法学会 口腔カンジダ症薬物療法ガイドライン制定委員会編, 口腔カンジダ症薬物療法の指針—治療とケアに役立つ基礎と臨床—, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-42220-5.
10. 又賀 泉 (分担執筆) : Q49. 透析患者の口腔内に特徴的な所見がみられますか?, 170-172, 続 5 疾病の口腔ケア プロフェッショナルな実践のための Q&A 55, 藤本篤士, 武井典子, 東森秀年, 糸田昌隆, 大野友久, 永田俊彦 (編著), 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-42218-2.
11. 又賀 泉 (分担執筆) : Chapter1 炎症/顎放線菌症薬, 78-79, 薬'17/'18 歯科 疾患名から治療薬と処方例がすぐわかる本, 朝波惣一郎, 王 宝禮, 矢郷 香 (編集), クインテッセンス株式会社, 東京, 2016, ISBN : 978-4-7812-0261-7.

B. 原著

1. * Nakamura H, Matsuno T, Hashimoto Y, Nakamura T, Mataga I. Comparison of a Hydroxyapatite-Coated and an Anodic Oxidized Titanium Implant for Experimentally Induced Peri-Implantitis: Macroscopic and Novel Radiographic Evaluations in a Canine Model, ☆J. Hard Tissue Biology, 2015 ; 24 (4) : 347-356. (学位論文)
2. * Yajima M, Matsuno T, Asano K, Mataga I. Anti-oxidative and anti-inflammatory effects of astaxanthin on H₂O₂-induced oxidative stress in human submandibular gland cells, Oral Therap. Pharmacol, 2015 ; 34 (3) : 106-116. (学位論文)
3. * Akadomari K, Tanaka A, Mataga I. Regenerative capacity of atrophic submandibular gland by duct ligation in mice, Journal of Hard Tissue Biology, 2016 ; 25 (2) : 121-130. (学位論文)
4. Ikeda R, Miyasaka T, Aiba C, Suda M, Urano Y. Study of the Educational of Team Based Learning (TBL) Introduced into Dental Education for Dental Hygiene and Dental Technician Students in the Graduate Programs of Nippon Dental University, College at Tokyo, 2015 ; 5 (1) : 97-10.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 又賀 泉 : 腎機能障害/透析患者, 月刊デンタルダイヤモンド, 12, 2015.

2. 松野智宣:いま聴きたい Specialist のはなし インプラント臨床における再生医療の近未来 概論 成功している再生医療の現状, Quintessence DENTAL Implantology, 22 (4) : 79-88, 2015.
3. 松野智宣:Q&A 舌痛症と BMS の違い, DENTAL DIAMOND, 41 (1) : 122-124, 2015.
4. 大久保力廣, 室伏広治, 住友雅人, 安井利一, 上野俊明, 松野智宣:座談会 歯科とスポーツの関わり!スポーツに対する歯科医学の貢献と発展, 日歯医学会誌, 35 : 7-32, 2016.
5. 松野智宣:トピックス 味覚障害と薬剤, 日歯医学会誌, 35 : 55, 2016.
6. 松野智宣:トピックス ソケットプリザベーションのエビデンス, 日歯医学会誌, 35 : 76, 2016.
7. 北原和樹:ここが知りたい! Question 抜歯後, いつも予防的に抗菌薬を出していますが, 本当に必要ですか?また, 今, 何を処方すればいいのでしょうか?, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 41 (2), 17, 2015.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 松野智宣, 浅野一成, 北原和樹, 宮坂 平, 又賀 泉:電解還元性アルカリマイナスイオン水によるチタンのバイオロジカルエイジングの制御, 第 69 回日本口腔科学会学術集会プログラム・予稿集, 199, 2015.
2. 矢島麻衣子, 松野智宣, 中村浩樹, 又賀 泉:QOL 維持のための認知機能と唾液分泌機能低下を予防するアスタキサンチンの先制効果, 第 15 回日本抗加齢医学会プログラム, 255, 2015.
3. 宮坂孝弘, 北原和樹, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 山城三喜子, 沼部幸博, 羽村 章:生命歯学部学生, 第 2 学年におけるチーム基盤型学習法 (TBL) 導入の試み, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 95, 2015.
4. 秋山仁志, 新田俊彦, 石田鉄光, 三代冬彦, 宇塚 聡, 原 節宏, 宮下 渉, 岡田智雄, 川村浩樹, 山瀬 勝, 山崎孝子, 梅津糸由子, 北原和樹, 羽村 章:日本歯科大学生命歯学部平成 26 年度第 4 学年を対象に実施したシムロイド実習の概要, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 110, 2015.
5. 鈴木 恵, 横山和良, 浦野瑤子, 小倉千幸, 池田亜紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川喜盛, 岡田智雄, 大津光寛, 大澤銀子, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久:本学 1 年生に実施した「コミュニケーション学」について一改訂後のアンケート調査とその解析結果一, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 147, 2015.
6. 宮坂孝弘, 合場千佳子, 浦野瑤子, 野村正子, 関口洋子, 須田真理, 池田利恵:歯科衛生士教育におけるチーム基盤型学習法 (TBL) 導入の試み 第 2 報, 第 6 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 日衛教育誌, 188, 2015.
7. 中村浩樹, 松野智宣, 中村達雄, 北原和樹, 浅野一成, 矢島麻衣子, 三木貴仁, 又賀 泉:AZM 投与による実験的インプラント周囲炎への治療効果に表面性状に及ぼす影響, 日口外誌, 61 (Supplement) : 163, 2015.

8. 矢島麻衣子, 松野智宣, 宮坂孝弘, 浅野一成, 中村浩樹, 真室仁美, 又賀 泉: 自然加齢マウスの唾液分泌と認知機能の低下に対するアスタキサンチンの効果, 日口外誌, 61 (Supplement) : 347, 2015.
9. 三木貴仁, 松野智宣, 浅野一成, 宮坂 平, 又賀 泉: 電解還元イオン水によるチタン表面のバイオロジカルエイジングの制御と生体機能化, 顎顔面インプラント誌, 14:186, 2015.
10. 松野智宣, 田畑泰彦, 浅野一成, 又賀 泉: 歯槽骨再生を促進させる FGF-2 含浸ゼラチンハイドロゲル/ β -TCP 顆粒複合体の臨床研究, 第 37 回日本バイオマテリアル学会予稿集, 237, 2015.
11. 横田憲昌, 松野智宣, 又賀 泉, 田畑泰彦: ハイドロキシアパタイト顆粒とゼラチンハイドロゲル粒子からなる複合体の骨誘導能評価, 第 37 回日本バイオマテリアル学会予稿集, 302, 2015.
12. 村山和義, 岡本祐一, 武田幸彦, 天内隆昌, 永沼佳納, 佐藤英明, 二宮一智, 田中 彰, 又賀 泉: 小児の口腔顎顔面外傷症例の臨床的検討, 日口外傷誌, 49, 2015.
13. 高橋正志, 後藤真一, 森 和久, 又賀 泉: ヒトの永久歯の象牙質の組織発生にみられた進化過程の痕跡, 第 43 回歯科衛生研究会, 5, 2015.
14. 武田幸彦, 岡本祐一, 村山和義, 永沼佳納, 佐藤英明, 二宮一智, 藤内 祝, 田中 彰, 又賀 泉: 口腔癌に対する超選択的動注化学放射線療法による治療経験, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 215, 2016.
15. 武田幸彦, 岡本祐一, 村山和義, 永沼佳納, 上田 潤, 佐藤英明, 二宮一智, 藤内 祝, 田中 彰, 又賀 泉: 進行舌癌に対して超選択的動注化学放射線療法を施行した症例についての検討—カテーテルを 3 本留置した症例について—, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 217, 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 宮坂孝弘: シンポジウム 3 ドライマウスと環境因子, 第 24 回日本臨床環境医学会 学術集会, 東京, 2015 年 6 月 7 日.
2. 松野智宣: ワークショップ 舌痛の原因と対処 総論～舌痛症と Burning Mouth Syndrome を up to date する～, 第 35 回日本歯科薬物療法学会, 横浜, 2015 年 6 月 20 日.
3. 又賀 泉: ワークショップ 腓骨皮弁とインプラントによる機能的再建; 16 年以上経過症例, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 横浜, 2016 年 1 月 21 日.
4. 浅野一成: ワークショップ 舌白色症を経過観察としますか, あるいは積極的に切除しますか?—当院の舌白板症切除症例における臨床病理学的検討から考えられること—, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 横浜, 2016 年 1 月 21 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. Matsuno T, Niwa K, Asano K, Mataga I. Guided bone regeneration using a novel superporous hydroxyapatite promote to naturally bone remodeling for supporting the implant, 37th Asia Pacific Dental Congress, Singapore, Apr. 5, 2015.
2. Nakamura H, Matsuno T, Hashimoto Y, Nakamura T, Mataga I. Ti implants have superior resistance to peri-implantitis than HA-coated implants- An experimental study in canine peri-

implantitis model-, 37th Asia Pacific Dental Congress, Singapore, Apr. 5, 2015.

3. 又賀 泉：インプラントの適応拡大，埼玉インプラント研究会 100 時間コース，大宮，2015 年 4 月 5 日．
4. 宮坂孝弘：口腔外科小手術のトラブルを避けるには一高齢者リスク患者の歯科治療への対応について一，船橋歯科医師会 学術講演会，船橋，2015 年 5 月 28 日．
5. 又賀 泉：顎骨再建と歯科用インプラントによる咬合再建，第 7 回手稲歯科口腔外科カンファレンス，札幌，2015 年 5 月 29 日．
6. 松野智宣：インプラント治療における骨増生の現状，京都大学再生医科学研究所セミナー，京都，2015 年 6 月 4 日．
7. 松野智宣：口腔機能と認知症～認知症の基礎と口腔の役割～，秋田県日本歯科大学校友会学術講演会，秋田，2015 年 6 月 13 日．
8. 又賀 泉：マスター口腔粘膜疾患～口腔粘膜疾患診断のツボ～，平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修会，東京，2015 年 6 月 25 日．
9. 松野智宣：舌の病変～診えるもの、みえないもの～，平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修会，東京，2015 年 6 月 25 日．
10. 宮坂孝弘：前癌病変とは 口腔がんとの鑑別のツボ，平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修，東京，2015 年 6 月 25 日．
11. 北原和樹：全身疾患と口腔粘膜病変，平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修，東京，2015 年 6 月 25 日．
12. 又賀 泉：インプラント治療の適応と限界，日本歯科大学校友会多摩連合会主催学術講演会，東京，2015 年 7 月 4 日．
13. 又賀 泉：顎骨再建とインプラント，平成 27 年度横浜市立大学医学部口腔外科同門会総会，横浜，2015 年 7 月 5 日．
14. 又賀 泉：顎骨再建とインプラント，島根大学医学部 20 年感覚器コース，出雲，2015 年 7 月 22 日．
15. 松野智宣：エイジングスピードのコントロール～日々戦う看護師のために～，第 46 回日本看護学会・看護教育・学術集会ランチョンセミナー，奈良，2015 年 8 月 6 日．
16. 松野智宣：総論 骨増生と骨移植材，第 8 回口腔機能再建インプラント研究会，東京，2015 年 8 月 28 日．
17. 松野智宣：骨移植材料の基礎的比較研究とその臨床応用，第 48 回国際医療ネットワーク，東京，2015 年 9 月 26 日．
18. 又賀 泉：最近の話題から 系統的骨疾患，日本歯科大学徳島県校友会学術講演，徳島，2015 年 10 月 4 日．
19. 又賀 泉：薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の現状と対策，福井県歯科医師会主催福井県歯科医学大会，福井，2015 年 11 月 3 日．
20. 松野智宣：骨補填材の Now and Then，香川デンタルスタディクラブミッドナイトトーキング 2015，高松，2015 年 11 月 7 日．
21. 宮坂孝弘：トラブルを避けるための口腔外小手術のポイント！一有病者ならびに高齢者リスク患者の歯科診療への対応について一，平成 27 年度日本歯科大学東京都校友会 第 2 回 学術講演会，東京，2015 年 11 月 12 日．
22. 松野智宣：Bone Substitutes Now and Then，5th National CAMLOG Congress，東京，2015 年

11月22日.

23. 浅野一成, 松野智宣, 又賀 泉:骨再生能を有する各種骨補填材の *in vivo* による比較検討, 5th National CAMLOG Congress, 東京, 2015年11月22日.
24. 松野智宣:超高齢社会を生き生きと～口腔の健康は認知症を先制する, 点滴療法研究会ラ
ンチョン, 東京, 2015年11月23日.
25. 宮坂孝弘, 合場千佳子, 浦野瑤子, 野村正子, 関口洋子, 須田真理, 池田利恵: 歯科衛生
士教育におけるチーム基盤型学習法 (TBL) 導入の試み 第2報, 第6回日本歯科衛生教
育学会学術大会, 横須賀, 2015年11月28日.
26. 松野智宣:インプラント治療と薬物療法, 第15回バイオインテグレーション学会教育研
修講演会, 箱根, 2015年12月12日.
27. 松野智宣: 歯科から認知症予防を考える～認知症にならないために～, 第48回国際医療
ネットワーク, 東京, 2016年1月30日.
28. 松野智宣: Bone biology からの骨補填材の検証と今後の展望, OJ Midwinter Meeting 2016 教
育講演, 東京, 2016年2月11日.
29. 松野智宣: 骨補填材の Evidence を考える, 日本口腔インプラント学会東海支部学術講演
会, 名古屋, 2016年2月21日.
30. 松野智宣: 骨補填材の新基準, 京セラ New Year Meeting 2016, 東京, 2016年2月28日.
31. 又賀 泉: Reconstruction of the mandible following oral cancer abration, 中山医学大学歯学部
5年生講義, 台湾, 2016年3月7日.
32. 宮坂孝弘: 成人期からの口腔がんの知識と効果的な口腔ケアの実践「成人期の口腔がんに
ついての豆知識を!」口腔がん検診について, 館林邑楽歯科医師会 介護在宅研修会, 館
林, 2016年3月12日.
33. 又賀 泉: 口腔がん; 診断と治療の現状, 口腔がんフォーラム, 東京都歯科医師会, 東京,
2016年3月27日.
34. 松野智宣: 骨補填材を併用した骨再生治療, 第15回日本先進インプラント医療学会横浜
支部学術講演会, 横浜, 2016年3月27日.

● 歯科麻酔学講座 Department of Dental Anesthesiology

1. 所属構成員等

教 授 砂田 勝久
講 師 篠原健一郎, 筒井友花子
助 教 安田 麻子
客 員 教 授 中村 達雄, 勝山 直彦, 新崎 裕一
非 常 勤 講 師 山城三喜子, 天野 高志, 三浦 誠, 重枝 昭広, 吉江 誠
花俣 直利, 高木 元英, 山下 香絵, 吉野 秋男, 三浦 明子
工藤 勝, 岡本 豊
大 学 院 生 新崎 巴月, 酒井 有沙, 辻本源一郎, 大藤 理恵, 佐藤 奈々
石井 彩里, 安田 佑理, 村田奈保子, 藤森 翔子
臨 床 研 究 生 笹内 杏子, 森本 恵子, 町田 詩織

2. 研究テーマ

- 1) 塩酸デクスメデトミジンが局所麻酔薬の効果に及ぼす影響 Study of Dexmedetomidine for effect of local anesthesia.
- 2) 局所麻酔薬の組織浸透性に関する研究 Study of tissue permeability of local anesthetics.
- 3) 局所麻酔薬に添加された血管収縮薬が SHR の循環動態に与える影響について The effect of vasoconstrictors added in local anesthetics on hemodynamic responses of SHR.
- 4) 交感神経ブロックが末梢神経再生に与える影響について Effect of sympathetic block for peripheral nerve regeneration.
- 5) 静脈内鎮静法の安全性向上に関する研究 Study of safety measures for intravenous sedation.
- 6) 局所麻酔薬の局所および全身動態 Pharmacokinetics of local anesthetics.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 酒井有沙, クロルプロマジン投与ラットへのアドレナリンの循環動態と心機能に与える影響について, 平成 28 年 2 月 25 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies (FADAS) 理事, 砂田勝久.
- 2) FADAS official meeting of the board member, Taipei, September 20, 2015, 砂田勝久.
- 3) Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine Editor of Japanese Division, 砂田勝久.

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤（C）（継続），平成 25～27 年度，DEX が抗精神病薬ラットの循環動態に与える影響，砂田勝久（代表），筒井友花子（分担），4,680,000 円。
- 2) 日本歯科医学会プロジェクト研究（継続），平成 26～27 年度，薬剤服用患者に対する安全・安心な歯科医療を提供するための研究，砂田勝久（代表），1,780,000 円。
- 3) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金・若手研究（B）（継続），平成 26～27 年度，高血圧症疾患モデルに対するデクスメデトミジン添加リドカインの効果，筒井友花子（代表），1,950,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. *Shinzaki H, Sunada K. Advantage of anterior inferior alveolar nerve block with felypresine - propitocaine over conventional epinephrine – lidocaine: an efficacy and safety study, ○◇J Dent Anesth Pain Med , 2015 ; 15 (2) : 63-8 , <http://jdapm.org/Synapse/Data/PDFData/0223JDAPM/jdapm-15-63.pdf>. (参照 2015-06-26). (学位論文)
2. *酒井有沙, 砂田勝久：アドレナリンがクロルプロマジン投与ラットの循環動態と心機能に与える影響について，○日歯麻誌，2015；43（5）：638-44. (学位論文)
*Sakai A, Sunada K. Effects of Local Injection of Adrenaline on Hemodynamics in Rats Trated with Chlorpromazine, ○J. Jpn. Dent. Soc. Anesthesiol., 2015；43（5）：638-44. (学位論文)

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 砂田勝久：甲状腺機能低下症・亢進症，デンタルダイヤモンド，40：170-1，2015.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. K Sunada . Effects of dexmedetomidine on circulatory dynamics and cardiac function in chlorpromazine-administered rats, Berline, 2015 年 10 月 10 日, <http://www.ifdas-dgmkkg-bdo-2015.com/index.php/en/program/international-program-saturday-october-10-2015>. (参照 2016 年 4 月 6 日).
2. N Murata, K Shinohara, K Sunada. Tracheal tube blockage and ventilation difficulty due to a blood clot caused by epistaxis: A case report, The 8th annual meeting of the Federation of Asian Dental

Anesthesiology Societies Program book, 49, 2015.

3. 佐藤奈々, 五木田旬子, 佐伯周子, 今井敏夫, 砂田勝久: デクスメデトミジンによる新生仔ラットの呼吸循環抑制作用にエファロキサシンが与える効果, 日歯麻誌, 43 (4): 522, 2015.
4. 安田佑理, 橋本修一, 辻本源太郎, 砂田勝久: 体性感覚誘発電位によるデクスメデトミジン添加メピバカイン塩酸塩の局所麻酔効果の評価, 日歯麻誌, 43 (4): 530, 2015.
5. 村田奈保子, 中村仁也, 今井智明, 三井陽介, 篠原健一郎, 砂田勝久: 三回目の全身麻酔後に発作が出現したてんかん患者の麻酔経験, 日歯麻誌, 43 (4): 534, 2015.
6. 石井彩里, 篠原健一郎, 中村仁也, 砂田勝久: 過換気発作後に無呼吸と意識消失を呈した1症例, 日歯麻誌, 43 (4): 553, 2015.
7. 岡本 豊, 添田和真, 砂田勝久: Bluetooth を用いたワイヤレス聴診器の開発—携帯端末アプリケーションを用いたブレスコ^B呼吸音のディスプレイ表示—, 日歯麻誌, 43 (4): 567, 2015.
8. 西口はづき, 柳瀬菜木子, 麻見千登世, 細田久子, 重井亜紀, 中村仁也, 阿部恵一, 砂田勝久: 日本歯科大学付属病院歯科麻酔全身管理科における歯科衛生士の業務—外来症例の場合—, 日歯麻誌, 43 (4): 579, 2015.
9. 柳瀬菜木子, 小林邦江, 中村仁也, 阿部恵一, 砂田勝久, 福田恵里, 渡部裕子, 西口はづき: 日本歯科大学付属病院歯科麻酔全身管理科における歯科衛生士の業務—入院症例の場合—, 日歯麻誌, 43 (4): 580, 2015.
10. 小林邦江, 野杵明美, 熊田直子, 安藤真紀, 阿部恵一, 中村仁也, 砂田勝久: 日本歯科大学付属病院歯科衛生士を対象にした緊急対応に関するアンケート調査, 日歯麻誌, 43 (4): 580, 2015.
11. 大藤理恵, 砂田勝久: アドレナリンがハロペリドール投与ラットの循環動態に与える影響について, 日歯麻誌, 43 (4): 584, 2015.
12. 酒井有沙, 砂田勝久: クロルプロマジン投与ラットの舌にデクスメデトミジンを注射した場合の循環動態と心機能について, 日歯麻誌, 43 (4): 596, 2015.
13. 濱 陽子, 三浦 誠, 西村三美, 武居まゆみ, 大藤理恵, 篠原健一郎, 山城三喜子, 砂田勝久, 關田俊介, 池田正一, 六角譲治, 天野秀二, 杉山紀子: de Lange 症候群患者の歯科治療経験の一例, 障害者歯科, 36 (3): 249, 2015.
14. 濱 陽子, 西村三美, 三浦 誠, 篠原健一郎, 山口秀紀, 砂田勝久: 大脳皮質基底核症候群患者の歯科治療経験の一例, 第 25 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, プログラム・抄録集, 115, 2016.
15. 石井彩里, 篠原健一郎, 村田奈保子, 藤森翔子, 中村仁也, 砂田勝久: 過換気発作後に無呼吸と意識消失を呈した1症例, 第 32 回関東臨床歯科麻酔懇話会, 抄録集: 19, 2015.
16. 石井彩里, 酒井有沙, 篠原健一郎, 砂田勝久: 甲状腺機能低下症を伴った精神発達遅滞患者に対するデスフルランとレミフェンタニルによる日帰り全身麻酔経験, 第 25 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, プログラム・抄録集, 62, 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Sunada K. Dental phobia and implant patients under intravenous sedation, The 8th Annual Meeting

of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies, Taipei, October, 16, 2015.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 砂田勝久：聞くとよく効く麻酔の話，東京都保険医協会，東京（2015年6月18日），栃木県校友会，宇都宮市（6月28日），DENTSPLAY社講演，福岡市（7月26日），広島市（8月2日），松山市（8月9日），大阪市（9月27日），札幌市（10月4日），東京（11月8日），横浜市（2016年2月11日）。
2. 砂田勝久：こんな患者が来院したら，中部インプラント学会，名古屋市（7月11日），横浜インプラント研究会，横浜市（2015年9月10日），比企郡歯科医師会，比企郡（9月6日）。
3. 砂田勝久：鎮静法ってなんだろう，コサカ学術研修会，東京，2015年9月17日。

● 歯科矯正学講座 Department of Orthodontics

1. 所属構成員等

教 授 新井 一仁
講 師 織田 育世
助 教 鈴木 章弘, 太田佳菜子, 栃木 啓佑
臨床研究生 秦 響子
客員教授 大野 肅英, 近藤 悦子
客員准教授 中村 俊弘
客員講師 白賀のり子
非常勤講師 隅田 能英, 堂 信夫, 菊池 薫, 藤城 康二, 上保 基
大坪 邦彦, 織田聡一郎, 新谷まきは, 大野由希肅, 渡辺 和也
星野 亨
大学院生 秋山宗太郎, 佐是奈織美, 塩谷 翔太, 生駒 美沙, 幸田 隆史
川嶋 優花, 佐藤 絢香, 松村 嘉子
聴講生 矢沢 貴, 木本 晶子, 藤田 綾

2. 研究テーマ

- 1) 歯列弓形態の三次元的分析 Three-dimensional morphometric analysis of dental arch form.
- 2) プリアジャステッド・アプライアンスのメカニクスに関する臨床的研究 Clinical study in treatment mechanics of preadjusted appliances.
- 3) 矯正歯科治療における咀嚼運動の三次元 6 自由度分析 Chewing movement and orthodontic treatment in three-dimensional and six-degree of freedom.
- 4) 不正咬合の人類学的研究 Anthropological study of malocclusion.
- 5) 歯の異常の遺伝的背景 Genetic origin of dental anomalies.
- 6) 矯正力の三次元バイオメカニクス Three-dimensional biomechanics of orthodontic force.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 佐是奈織美: 「下顎用の細いラウンド・ニッケルチタンアーチワイヤーの形態的評価」, 平成 28 年 2 月 25 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 新井一仁, 織田聡一郎: Prof. Leslie A. Will and Dr. Matt R. Miner (米国, Department of Orthodontics, Boston University) との共同研究, 「歯列弓・歯槽基底弓形態の三次元的分析」, 2001 年～継続中.

- 2) 新井一仁 : Prof. Sheldon Peck (米国, University of North Carolina) との共同研究, 「Japanese Angle Students from 1907 to 1926」, 「Ethnic difference in orthodontics」, 2006年～継続中.
- 3) 新井一仁 : Dr. Pornrachanee Sawaengkit (タイ, Mahidol University, School of Dentistry, Department of Orthodontics) との共同研究, 「日本人とタイ人の歯科矯正学における形態計測学的研究」, 2010年～継続中.
- 4) Arai K. Ambassador of the American Association of Orthodontists (AAO) (2014-2016).
- 5) Arai K. Academic Credentials Committee Chair, Edward Hartley Angle Society of Orthodontists, Eastern Component, 2015-2016.
- 6) Arai K. Session Chair, World Village Day, the Japanese Orthodontic Society, Current trends and future perspectives of orthodontics in Japan, the 8th International Orthodontic Congress, London, September 27-30, 2015.
- 7) Arai K, Hata K. Research collaboration with Dr. Joseph Bouserhal and Professor Nayla Bassil-Nassif, Saint Joseph University, Beirut, Lebanon, Joint institution Perception in facial esthetics in orthodontics. (March 2016-)

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 27 年度研究プロジェクト (新規), 平成 27 年度, 高齢者の顎顔面構造機能解析のスタンダードデータの確立, 佐藤 巖 (代表), 代居 敬, 新井一仁, 志賀 博, 原 節宏, 春原正隆, 河合泰輔, 三輪容子, 織田育世, 550 万円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 1) 新井一仁 (分担執筆) : 3. 歯科矯正 (1) 不正咬合と矯正歯科医療, 40-41, 歯科衛生士のための歯科臨床概論, 松井恭平, 森崎市治郎, 白鳥たかみ, 船奥律子 編, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-42217-5.
- 2) 新井一仁 (分担執筆) : 3. 歯科矯正 (2) 矯正歯科治療の概要, 42-43, 歯科衛生士のための歯科臨床概論, 松井恭平, 森崎市治郎, 白鳥たかみ, 船奥律子 編, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-42217-5.
2. 大野肅英, 羽坂勇司, 高橋紀樹 (共著) : 見て楽しい歯的博物館 (Delightful Displays in the Dental Museum), わかば出版, 東京, 2015, ISBN : 978-4-89824-076-2.

B. 原 著

1. *Hata K, Arai K. Dimensional analyses of frontal posed smile attractiveness in Japanese female patients, ☆◎Angle Orthodontists, 2016 ; 86 (1) : 127-134, doi : 10.2319/091814-670.1. (学位論文)
2. *Kure K, Arai K. Mesiodistal inclination of the unerupted second premolar in the mandible of Japanese orthodontic patients with incisor agenesis, ☆◎Angle Orthodontists 2015 ; 85 (6) : 949-954, doi : 10.2319/081914-583.1. (学位論文)
3. *Ota K, Arai K. Prevalence and patterns of tooth agenesis in Angle Class II division 2 malocclusion in Japan, ☆◎American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, 2015 ; 148 (1) : 123-129, doi:10.1016/j.ajodo.2015.02.023. (学位論文)

4. *Tochigi K, Oda S, Arai K. Influences of archwire size and ligation method on the force magnitude delivered by nickel-titanium alloy archwires in a simulation of mandibular right lateral incisor linguoversion, ©Dental Materials Journal, 2015 ; 34 (3) : 388-93, doi : 10.4012/dmj.2014-270.
(学位論文)
5. 鈴木陽子, 海老原康宏, 小笠原法子, 大坪邦彦, 藤田浩嗣, 今井なほこ, 櫻井誠人 : 各種矯正用 β -チタン合金ワイヤーの機械的特性とその臨床的位置づけ, ○日本歯科理工学会誌, 2015; 34 (3) : 219-226.
Suzuki Y, Ebihara Y, Ogasawara N, Otsubo K, Fujita K, Imai N, Sakurai M. Mechanical properties of orthodontic beta titanium alloy wires and its role in clinical practice, ○J J Dent Mater, 2015 ; 34 (3) : 219-226.

C. 総説・解説

1. 新井一仁 : 指導者講習会 基本・臨床研修施設の新規申請と実態報告, および実地調査について, 第74回日本矯正歯科学会大会, プログラム・抄録集, 127, 2015.
2. 大野肅英 : 江戸時代の歯科事情—歯みがき、歯痛、抜歯、入れ歯—, 歯学, 103 (秋季特集号) : 46-50, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 新井一仁 : 日本の Angle II 級 2 類不正咬合者における永久歯先天性欠如の発現頻度と欠如様式, Prevalence and pattern of tooth agenesis in Angle Class II Division 2 malocclusion in Japan, 英文誌掲載論文紹介, 東京矯正歯科学会雑誌, 25 : 199, 2015.
2. 新井一仁 : 委員会だより, 卒後教育研修委員会・研修機関検討委員会, JOS Information Letter, 公益社団法人日本矯正歯科学会会報, 2015-No.1 : 9, 2015 年 7 月.
3. 新井一仁 : 委員会だより, 卒後教育研修委員会・研修機関検討委員会, JOS Information Letter, 公益社団法人日本矯正歯科学会会報, 2016-No.1 : 12-13, 2016 年 1 月.
4. 新井一仁 : 歯の矯正 じっくり相談, 7 歳前後に検診「早い＝効果」疑問, 日本経済新聞・夕刊, (9) くらし, 2016 年 3 月 8 日.
5. 太田佳菜子, 新井一仁 : 非対称な上顎犬歯低位唇側転位を伴う Angle II 級症例, ○東京矯正歯科学会雑誌, 25 (1) : 29-33, 2015.
6. 太田佳菜子 : 下顎前歯先天性欠如を伴う日本人矯正患者における未萌出下顎第二小臼歯の近遠心傾斜角, Mesiodistal inclination of the unerupted second premolar in the mandible of Japanese orthodontic patients with incisor agenesis, 英文誌掲載論文紹介, 東京矯正歯科学会雑誌, 25 (1) : 67, 2015.
7. 藤田 綾, 杉山晶二 : デンタルインプラントによる歯冠補綴を併用した上顎中切歯の逆生理埋伏を伴う成人の Angle I 級前歯部反対咬合症例, ○東京矯正歯科学会雑誌, 25 (2) : 125-129, 2015.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Saze N, Oda S, Arai K, Tochigi K, Miyasaka T. Do tapered and square arch forms deliver different orthodontic forces? - Light round NiTi preformed archwires -, 115th Annual Session of American Association of Orthodontists, San Francisco, United States of America, 2015.
2. 小林さくら子, 鈴木章弘, 大塚絵里佳, 伊藤美結, 安藤文人, 小森 成, 荘司洋文, 藤城建樹: 外科的矯正治療を選択した Angle I 級上下顎前突の 1 症例, 第 25 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 日本顎変形症学会雑誌, 25 (2) : 175, 2015.
3. 秦 響子, 新井一仁: 矯正歯科治療における正貌スマイルの客観的評価, 第 74 回東京矯正歯科学会学術大会, 東京, 第 74 回東京矯正歯科学会学術大会 抄録集, 30 頁, 演題 2-8, 東京矯正歯科学会雑誌, 25 (2) : 169, 2015.
4. 土持 宇, 小林さくら子, 吉屋慶章, 植木健次郎, 安藤文人, 宮下佳子, 岡本美結, 井出美穂, 鈴木晴香, 小泉響子, 小森 成, 幸田隆史, 川嶋優花, 新井一仁: 日本歯科大学附属病院矯正歯科における過去 6 年間の臨床統計, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 236, 2015.
5. 塩谷翔太, 松村嘉子, 川嶋優花, 太田佳菜子, 秋山宗太郎, 新井一仁: 過蓋咬合を伴う Angle II 級不正咬合の前歯および大臼歯の垂直的位置, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 281, 2015.
6. 生駒美沙, 佐藤絢香, 幸田隆史, 鈴木章弘, 新井一仁: 上顎犬歯低位唇側転位における歯冠と歯列・歯槽基底弓の形態計測学的分析, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 281, 2015.
7. 小笠原法子, 海老原康宏, 櫻井誠人, 藤田浩嗣, 今井なほこ, 黒田由紀子, 鈴木陽子, 大坪邦彦: 各種丸型 β -チタン合金ワイヤーの機械的特性とその臨床的位置づけにおける一考察, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 220, 2015.
8. 黒田由紀子, 小笠原法子, 藤田浩嗣, 今井なほこ, 海老原康宏, 櫻井誠人, 大坪邦彦: 成人の前歯部反対咬合と正被蓋を有する I 級不正咬合症例の残存歯数、欠損歯数と根管処置歯数の比較, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 266, 2015.
9. Tochigi K, Oda S, Arai K, Miyasaka T, Otsubo K, Saze N. Orthodontic force magnitude delivered by archwire size and ligation method, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 326, AE-005, 2015.
10. Oda I, Oda S, Arai K. Dental and basal arch forms and mesiodistal tooth diameters of Class I crowded malocclusion compared with normal occlusion in a Japanese population, 91st Congress of the European Orthodontic Society program On-site program, 383, 2015.
11. Oda S, Leslie A. Will, Matt R. Miner, Oda I, Arai K. Changes in dental arch form after extraction and non-extraction treatment, 91st Congress of the European Orthodontic Society program On-site program, 384, 2015.
12. 大坪邦彦: 矯正用 Ni-Ti 合金ワイヤーの口腔内における本当の矯正力は?, 2015 年日本臨床矯正医学会例会・抄録集, 23-24, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 大坪邦彦: 「成人矯正治療における超弾性ワイヤーの有効性」, 地域社会における矯正歯科

治療の役割—成人矯正のポイント—, 第9回 東北矯正歯科学会秋期セミナー, 東北大学大学院歯学研究科臨床棟大会義室, 2015年11月1日.

2. 隅田能英: The innovated technique using functional and limited lingual appliances for growing children, 第19回 台湾口腔矯正歯学会, 台北アンバサダーホテル, 2015年8月22日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 新井一仁: Application of biomedical engineering and computer-assisted techniques to refine the art of orthodontics and dentofacial orthopedics, 大学院セミナー, 日本歯科大学生命歯学部本館第二会議室, 2015年5月27日.
2. 新井一仁: Edward H. Angle をめぐる冒険, 日本大学松戸歯学部歯科矯正学講座講演会, 日本大学松戸歯学部, 2015年4月25日.
3. 新井一仁: 臨床セミナー2 矯正歯科医療からみた非症候性部分性無歯症患者における歯の欠如パターン, 第43回公益社団法人日本臨床矯正歯科医会大会, 長野県長野市, 2016年2月25日.
4. 大坪邦彦: 矯正歯科治療における超弾性合金の応用とその問題点, 一般社団法人形状記憶合金協会, 形状記憶合金に関する講習会, 東京, 2015年7月10日.
5. 渡辺和也: クリアアライナーによる矯正治療の実際と勘所, 和田精密歯研講演会, TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前, 札幌 (2015年4月19日), 安保ホール 501, 名古屋 (6月21日), ANNEX 多目的ホール, 仙台 (7月26日).
6. 渡辺和也: クリアアライナーアドバンスセミナー, 和田精密歯研講演会, 和田精密歯研株式会社広島事業所研修室, 広島 (2015年9月6日), 札幌市産業振興センター, 札幌 (10月18日), 新大阪丸ビル別館 3-5, 大阪 (12月6日).
7. 渡辺和也: ストレートワイヤーエッジワイズシステムの臨床, 松風矯正セミナー, 株式会社松風東京支社 B1 ホール, 東京 (2015年10月29日), 慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学講座セミナー, 東京 (2016年3月16日).
8. 渡辺和也: 2015TDC アカデミア臨床セミナー アライナーによる矯正治療の基礎と応用, 東京歯科大学同窓会, 東京歯科大学水道橋校舎新館 8F, 東京, 2015年11月8日.
9. 古賀正忠, 渡辺和也: 私達が行っているインダイレクトボンディング法について, 東京歯科大学矯正学教室 総合研究会, 東京歯科大学千葉校舎管理棟 2階 第1会議室, 千葉, 2016年2月17日.
10. 織田育世: 最近の大学の現状, 日本矯正臨床歯科医会東京支部, 東京, 2015年12月17日.

● 小児歯科学講座 Department of Pediatric Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 荻部 洋行
准 教 授 河上 智美
講 師 名生 幸恵, 島津 貴咲 (4月～12月)
助 教 加藤 雄一
客員教授等 小口 春久
非常勤講師 坂井 正彦, 萩原 洋子, 石井 伸明, 米山 博己, 宮島 圭介
小方 清和, 酒寄 浩章, 岡本亜祐子, 萩原 栄和, 中 暁子
中村 侑子, 山田 裕之, 島津 貴咲 (1月～)
大学院生 小口 莉代, 鎌田 弘明

2. 研究テーマ

- 1) 若年期のTMDに関する研究 Temporomandibular disorders in children and adolescents.
- 2) 小児の歯科治療における情動変化に関する研究 Mechanism of emotional change in children during dental treatment.
- 3) 全身疾患を有する小児の歯・顎顔面頭蓋の成長に関する研究 Dent-maxillo-craniofacial growth in children with systematic disease.
- 4) 小児期における口腔疾患の発症機序の解明とその予防に関する研究 Prevention of dental disease for children.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 平成27年度東京都歯科医師会卒後研修, 東京・日本歯科大学生命歯学部, 2015年8月6日, 荻部洋行.

6. 国際交流状況

- 1) 共同研究: 荻部洋行, Dr. Greg Goddard, Prof. Charles McNeill (アメリカ, カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部) との共同研究, 2006年10月1日～継続中.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会研究費, 基盤研究(C) (継続), 平成25～28年度, 非侵襲的脳機能画像法を用いた歯科恐怖症に対する効果的な認知行動技法の定量的評価, 荻部洋行 (代表), 5,070,000円.
- 2) 日本学術振興会研究費, 基盤研究(C) (継続), 平成26～28年度, 抗腫瘍薬による歯の形

成障害に対する有効な齲蝕予防法の開発, 河上智美 (代表), 荏部洋行 (分担), 4,940,000 円.

- 3) 文部科学省科学研究費, 若手研究 (B) (継続), 平成 24~28 年度, 健全エナメル質フッ素化度測定による新たなカリエスリスク判定基準の開発, 名生幸恵 (代表), 4,420,000 円.
- 4) 文部科学省科学研究費, 若手研究 (B) (継続), 平成 26~28 年度, 全身疾患の発症に関与する齲蝕病原菌を早期にコントロールする新規シーラント材の開発, 島津貴咲 (代表), 3,900,000 円.
- 5) 文部科学省科学研究費, 若手研究 (B) (新規), 平成 27~29 年度, 2次元マトリックス化による歯科心身症の診断法の確立と治療体系の構築, 加藤雄一 (代表), 3,900,000 円.
- 6) 日本学術振興会研究費, 基盤研究 (B) (継続), 平成 24~27 年度, 子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築, 藤原 卓 (代表), 荏部洋行 (分担), 16,900,000 円.
- 7) 日本学術振興会研究費, 基盤研究 (C) (継続), 平成 26~28 年度, 歯科医学教育の効率化に向けた視覚認知パターンの解析, 田中聖至 (代表), 荏部洋行 (分担), 4,810,000 円.
- 8) 株式会社 松風 委託研究費, S-PRG フィラーの口腔微生物に対する抗菌効果, 荏部洋行 (代表), 300,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 荏部洋行 (編著): 27 小児歯科・口腔外科疾患, 咬合誘導, 911-912, 今日の小児治療指針 第 16 版, 水口 雅, 市橋 光, 崎山 弘 総編集, 医学書院, 東京, 2015, ISBN: 978-4-260-02084-8.
2. 河上智美 (分担執筆): 27 小児歯科・口腔外科疾患, 貯留嚢胞, 917, 今日の小児治療指針 第 16 版, 水口 雅, 市橋 光, 崎山 弘 総編集, 医学書院, 東京, 2015, ISBN: 978-4-260-02084-8.
3. 1) 河上智美 (分担執筆): 第 4 章 支持療法 3. 歯科・口腔ケア, 229-231, 小児血液・腫瘍学, 日本小児血液・がん学会 編集, 診断と治療社, 東京, 2015, ISBN: 978-4-7878-2098-3.
2) 河上智美 (分担執筆): 第 5 章 晩期合併症 2. 各論 h. 口腔, 277-278, 小児血液・腫瘍学, 日本小児血液・がん学会 編集, 診断と治療社, 東京, 2015, ISBN: 978-4-7878-2098-3.
4. 小方清和 (分担執筆): Mini Case 3 3 歳 8 か月男児 放置された多数歯齲蝕がサイン, 118-119, 帰してはいけない小児外来患者, 崎山 弘, 本田雅敬 編, 医学書院, 東京, 2015, ISBN: 978-4-260-02138-8.
5. 小方清和 (分担執筆): 子どもの歯牙損傷と歯性感染症 ER でどう対応するか, 改訂 ER 的小児救急, 井上信明 編, 株式会社シービーアール, 東京, 2015, 116-125, ISBN: 978-4-908083-06-8.
6. 小方清和 (分担執筆): 27 小児歯科・口腔外科疾患, 口唇裂、口蓋裂, 920-921, 今日の小児治療指針 第 16 版, 水口 雅, 市橋 光, 崎山 弘 総編集, 医学書院, 東京, 2015, ISBN: 978-4-260-02084-8.

B. 原著

1. Kawakami T, Nakamura Y, Karibe H. Cyclophosphamide-Induced Morphological Changes in Dental Root Development of ICR Mice, ☆PLoS ONE, 2015 ; 10 (7) : e0133256, doi : 10.1371/journal.pone.0133256.
2. Koeda M, Watanabe A, Tsuda K, Matsumoto M, Ikeda Y, Kim W, Naing BT, Karibe H, Shimada T, Suzuki H, Matsuura M, Okubo Y. Interaction effect between handedness and CNTNAP2 polymorphism (rs7794745 genotype) on voice-specific frontotemporal activity in healthy individuals: an fMRI Study, ☆Front. Behav. Neurosci, 2015 ; 9 : 87, doi : 10.3389/fnbeh.2015.00087.
3. 名生幸恵, 山田裕之, 苅部洋行, Francisco Ramos-Gomez : 乳幼児のう蝕リスク評価と管理—日本版 CAMBRA の提案—, ○日歯医療管理誌, 2015 ; 50 (2) : 139-145.
Naoi S, Yamada H, Karibe H, Ramos-Gomez F.. Dental caries management in infants and preschool children by risk assessment—A proposal for CAMBRA Japanese version—, ○Jpn J Dent Prac Admin, 2015 ; 50 (2) : 139-145.
4. 加藤雄一, 石井隆資, 岡田智雄, 苅部洋行 : フルボキサミンとミルナシプランの併用によって奏功した口臭症, Burning Mouth Syndrome の併発症例, ○日本心身歯科医学雑誌, 2014 ; 29 (2) : 79-81. (2015年8月に発行)
Kato Y, Ishii T, Okada T, Karibe H. A case of halitophobia and burning mouth syndrome successfully treated with the use of fluvoxamine and milnacipran, J Psychosom Oral Med, 2014 ; 29 (2) : 79-81.
5. 雲野泰史, 深澤紗紀, 小口春久 : エピテーゼとプロテーゼに関する意識調査—プロテーゼの認知度, エピテーゼ・プロテーゼの製作者および関係するスタッフの認知度について—, ○日本歯科大学東京短期大学雑誌, 2015;5(1):81-89.
Kumono Y, Fukasawa S, Oguchi H. Research on maxillofacial epitheses and prostheses – Awareness of prostheses, and a survey on awareness about technicians and related health care workers who make epitheses and prostheses—, ○Journal of The Nippon Dental University College at Tokyo, 2015;5(1):81-89.
6. 會川晃平, 雲野泰史, 佐藤 勉, 小口春久 : 医療系学生のコミュニケーション・スキルとチーム医療の意識に関する研究, ○日歯医療管理誌, 2015;50(2):125-132.
Aikawa K, Kumono Y, Sato T, Oguchi H. A Study on Communication Skills of Medical Treatment System Student and Perception of Team Medical Care, ○Jpn J Dent Prac Admin, 2015; 50(2):125-132.

C. 総説・解説

1. 島津貴咲 : 歯の生えるタイミングとケア, HUMAN+副読本 Baby+ お医者さんがつくった妊娠・出産の本: 106, 2015.

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 苅部洋行 : 対応に困る患者さんたち 落ち着けない自分に困る子どもたち, 日本歯科評論, 75 (11) : 152-153, 2015.
2. 中村佐和子, 名生幸恵 : 小児歯科臨床における CT 応用の有効性—子どもの将来を支える

大切なツール，デンタルダイヤモンド，41（4）：129-141，2016.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Kawakami T, Hagiwara Y, Yoneyama H, Maeda M, Ito Y, Karibe H. Dental findings in the diagnosis of ectodermal dysplasia with immunodeficiency : a case report, *Int J Paediatr Dent*, 25 (Suppl. 1) : 102, 2015.
2. Karibe H, Shimazu K, Kato Y. Gender differences in Japanese adolescents' confidence in dentists, *J Dent Res*, 95 (Special Issue A) : 532, 2016.
3. Yoh H, Uchikawa Y, Karibe H. Evaluation of a required-program on pediatric dentistry for dental students, *J Dent Res*, 95 (Special Issue A) : 678, 2016.
4. 島津貴咲, 小口莉代, 高橋幸裕, 古西清司, 苅部洋行: マルチイオン徐放性フィラーが口腔バイオフィルム形成に与える影響, *小児歯誌*, 53 (2) : 259, 2015.
5. 加藤雄一, 石井隆資, 岡田智雄, 苅部洋行: 咬合異常感を伴う非定型歯痛にプレガバリンが奏効した1例, 第30回日本歯科心身医学会設立30周年記念総会・学術大会抄録集, 65, 2015.
6. 柴垣皓一, 伊崎安莉奈, 大野可珠馬, 竹川貴裕, 宮坂直樹, 山内優美, 加藤雄一, 島津貴咲, 苅部洋行: 口腔内への刺激で生じる嘔吐感の緩和に関する研究, *小児歯誌*, 54 (1) : 81, 2016.
7. 小口莉代, 高橋幸裕, 島津貴咲, 田代有美子, 河原井武人, 苅部洋行, 古西清司: バイオフィルム形成における *Streptococcus gordonii* Hsa アドヘジンの役割, 第29回日本バイオフィルム学会学術集会プログラム・抄録集, 35, 2015.
8. 小口莉代, 高橋幸裕, 島津貴咲, 田代有美子, 河原井武人, 苅部洋行, 古西清司: ポリスチレン表面へのバイオフィルム形成における *Streptococcus gordonii* の Hsa アドヘジンの役割, 平成27年度日本歯科大学歯学会大会・総会 プログラム・抄録集, 20, 2015.
9. 田代有美子, 高橋幸裕, 小口莉代, 古西清司: *Streptococcus gordonii* Hsa とシアロ糖タンパク質との結合には2つのアルギニン残基が関与する, 平成27年度日本歯科大学歯学会大会・総会 プログラム・抄録集, 19, 2015.
10. 田中聖至, 松田貴絵, 加藤雄一, 小野幸絵, 鴨田剛司, 小松崎明, 苅部洋行, 関本恒夫: パノラマエックス線写真観察時の視知覚認知—歯科医師と歯学部学生の認知活動の違い—, 平成27年度日本歯科大学歯学会大会・総会 プログラム・抄録集, 39, 2015.
11. 田中聖至, 松田貴絵, 加藤雄一, 小野幸絵, 鴨田剛司, 小松崎明, 苅部洋行, 関本恒夫: 新しい眼球運動測定装置 Talk Eye Lite の導入, 第34回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 83, 2015.
12. 西田佳世, 近藤好夫, 西俣はるか, 今村圭吾, 佐藤恭子, 日高 聖, 釜崎陽子, 西口美由季, 星野倫範, 藤原 卓, 齋藤 幹, 山崎要一, 朝田芳信, 八若保孝, 苅部洋行, 新谷誠康, 早崎治明: 子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築の試み, *小児歯誌*, 54 (1) : 155, 2016.
13. 山田裕之, 小方清和, 鈴木厚子, 佐藤潤子: 上顎に発生した石灰化嚢胞性歯原性腫瘍を摘

- 出した一例, 小児歯誌, 53 (2) : 278, 2015.
14. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之: 下顎乳臼歯部の萌出障害を誘発した歯原性腫瘍の一例, 小児歯誌, 54 (1) : 85, 2016.
 15. 雲野泰史, 會川晃平, 佐藤 勉, 小口春久: 医療系学生のコミュニケーション・スキルとチーム医療の意識に関する研究, 第 56 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会, 33, 2015.
 16. 市川 基, 尾崎順男, 小泉順一, 茂原宏美, 大島克郎, 小口春久: 本学におけるスポーツ歯科医学教育への取り組み, 日本歯科技工学会第 37 回学術大会プログラム講演抄録, 36 (特別号) : 109, 2015.
 17. 佐藤文裕, 茂原宏美, 竹井利香, 小口春久: ハイブリッド型硬質レジンの追加築盛による表面硬さの影響について, 日本歯科技工学会第 37 回学術大会プログラム講演抄録, 36 (特別号) : 54, 2015.
 18. 鈴木 恵, 横山和良, 浦野瑤子, 小倉千幸, 池田亜紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川喜盛, 岡田智雄, 大津光寛, 大澤銀子, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久: 本学 1 年生に実施した「コミュニケーション学」について—改定後のアンケート調査とその解析結果—, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 147, 2015.
 19. 浦野瑤子, 合場千佳子, 小倉千幸, 関口洋子, 野村正子, 市川順子, 須田真理, 池田利恵, 小口春久: 歯科衛生学専攻生の実習に口腔内写真を活用した時の満足度と臨床現場での応用に関する検討, 日本歯科衛生学会雑誌, 10 (1) : 145, 2015.
 20. 小倉千幸, 佐藤 勉, 浦野瑤子, 須田真理, 鈴木 恵, 池田亜紀子, 合場千佳子, 池田利恵, 小口春久: 企業における歯科衛生士業務に対する認知度調査と歯科講話の取り組み, 日本歯科衛生学会雑誌, 10 (1) : 156, 2015.
 21. 小池麻里, 小口春久: 口腔内にある修復物の成分元素を分析する方法の紹介, 第 3 回貴金属シンポジウム, 貴金属の製錬・リサイクル技術の最前線講演資料集, 2, 2016.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 加藤雄一: それは本当に歯の痛みですか?—非歯原性歯痛に関連する知識・スキルを身につけよう—, 東京都歯科医師会 平成 27 年度卒後研修, 東京, 2015 年 8 月 6 日.
2. 小方清和: 歯ブラシだけじゃない歯と口の健康法—子どもの生活習慣から見直そう!!—, 小金井市市民公開講座 (小金井市歯科医師会), 東京, 2015 年 11 月 18 日.
3. 小口春久: 新しい歯科技工士教育と客観試験問題の作成法, 平成 27 年度全国歯科技工士教育協議会専任教員講習会 I, 新東京歯科技工士学校, 2015 年 8 月 20, 21 日.

● 歯科放射線学講座
Department of Oral and Maxillofacial Radiology

1. 所属構成員等

教 授 代居 敬
准 教 授 佐藤 健児, 河合 泰輔
講 師 浅海 利恵子
助 教 浅井 (鈴木) まどか
非 常 勤 講 師 橋本 光二, 有地 淑子, 飯久保正弘, 香川 豊宏, 生駒 文俊,
山形 勇夫, 前野 雅一, 近藤 亘由, 玉澤 賢, 五十嵐祐二
大 学 院 生 神垣友希乃

2. 研究テーマ

- 1) 画像診断学 image diagnosis.
- 2) 放射線防護 radiation protection.
- 3) 骨 (含インプラント) bone (including implantology) .
- 4) 放射線計測 radiation dosimetry.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) NPO 法人日本歯科放射線学会 第 21 回コンピュータ応用・画像情報研究会, 仙台市戦災復興記念館 (仙台), 2015 年 6 月 5 日, 主催者: 佐藤健児.
- 2) 日本歯科放射線学会第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 会合同地方会, 日本歯科大学 (東京), 平成 27 年 7 月 18 日, 主催者: 代居 敬.
- 3) 全国公私立歯科大学 (歯学部) 歯科放射線担当者研修会, 穂高ビューホテル (長野県), 平成 27 年 8 月 21 日・22 日, 主催者: 代居 敬, 金田 隆.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 25~27 年度, 上顎結節部へのインプラント治療は本当に安全か?—解剖学的・バイオメカニクスの検討—, 代居 敬 (代表), 河合泰輔, 浅海利恵子 (分担), 494 万円.
- 2) 平成 27 年度生命歯学部公募研究 (種目: 科研費) (新規), 平成 27 年度, 成長期の矯正用アンカーインプラントをより安全に! ~画像解剖学・生体力学的解析~, 浅海利恵子, 水

谷太尊, 小倉 晋, 172 万円.

- 3) 学術研究助成基金助成金 (研究活動スタート支援) (新規), 平成 27~28 年度, 上顎犬歯周囲への傾斜埋入へのピットフォールは?—安全性向上への指針作成—, 浅井まどか (代表), 200 万円.

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 佐藤健児, 原田康雄, 西川慶一, 井澤真希, 奥村泰彦: 最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベルの設定 口内法 X線撮影, 医療被ばく研究情報ネットワーク (J-RIME), <http://www.radher.jp/J-RIME/report/DRLhoukokusho.pdf#search='JRIME'> . (参照 2015 年 6 月)

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Kawai T, Kumazawa Y, Asaumi R, Mizutani M. Morphological characteristics of anterior loop of jaw deformity patients with MDCT images, Int J CARS, 10 (Suppl 1) : S138, 2015.
2. Asaumi R, Kumazawa Y, Kawai T, M. Mizutani, Yamaguchi A, Sato I, Yosue T. Morphological observation of the anterior mandible by using three-dimensional CT images, Int J CARS, 10 (Suppl 1) : S296, 2015.
3. 佐藤健児, 原田康雄, 西川慶一, 境野利江, 奥村泰彦, 佐野 司: 大学歯学部・歯科大学附属病院における歯科用コーンビーム CT の診断参考レベル, NPO 法人日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会プログラム・抄録集, p61, 2015.
4. 境野利恵, 原田康雄, 佐藤健児, 井澤真希, 芝 規良, 岸田尚樹, 小林郁夫, 佐野 司, 奥村泰彦: 広い視野を有する歯科用コーンビーム CT 装置の線量測定, NPO 法人日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会プログラム・抄録集, p61, 2015.
5. 中村 伸, 吉野教夫, 鈴木まどか, 坂本潤一郎, 倉林 亨: 舌扁平上皮癌患者における舌リンパ節転移に関する検討, NPO 法人日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会プログラム・抄録集, p76, 2015.
6. 奥村泰彦, 井澤真希, 岩井一男, 大林尚人, 後藤賢一, 佐藤健児, 杉原義人, 西川慶一, 野津雅和, 原田康雄, 丸橋一夫, 三島 章: 歯科口内法 X 線撮影における診断参考レベルを設定するための線量調査, NPO 法人日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会プログ

ラム・抄録集, p87, 2015.

7. 佐藤健児, 原田康雄, 西川慶一, 境野利江, 奥村泰彦, 佐野 司: 大学歯学部・歯科大学
付属病院における歯科用コーンビーム CT の診断参考レベル—異なる FOV における線量
評価, NPO 法人日本歯科放射線学会第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 回
合同地方会抄録集, p6, 2015.
8. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 相馬弘子, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子:
コンポジットレジンのフィラーが近赤外線透視法に及ぼす影響, 日歯理工誌, 34 (2) : 161,
2015.
9. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: CT 画像と
3D プリンタを用いて作製した下顎骨模型の 3D スキャンによる寸法精度に関する研究, 日
本歯科理工学会第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 回合同地方会講演抄
録, p3, 2015.
10. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: コンポジ
ットレジンの色調が近赤外線透視法に及ぼす影響, 日歯理工誌, 34 (5) : 353, 2015.
11. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: コンポジ
ットレジンの色調が近赤外線透視法に及ぼす影響, 平成 27 度日本歯科大学歯学会第 2 回
ウィンターミーティングプログラム・抄録集, p12, 2015.
12. 熊澤康雄, 浅海利恵子, 水谷太尊, 中川 綾, 山口 晃: 顎変形症患者におけるオトガイ
部形態の CT 画像による検討, 日本顎変形症学会雑誌, 25 (2) : 148, 2015.
13. 熊澤康雄, 浅海利恵子, 中川 綾, 水谷太尊, 河合泰輔, 山口 晃: 下顎枝垂直骨切り線
と antilingual prominence の CBCT 画像からの検討, 日本口腔外科学会雑誌, 61
(Supplement) : 313, 2015.
14. 熊澤康雄, 河合泰輔, 山口 晃, 代居 敬: 顎変形症患者のアンテリアループの形態に関
する検討 術前 CT による評価, 日本口腔科学会雑誌, 64 (2) : 222, 2015.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 佐藤健児: 「歯科領域の医療放射線とは? 6. 歯科エックス線防護の取り組みと展望」, 医
療放射線の安全利用フォーラム, 医療放射線防護連絡協議会主催, 首都大学荒川キャンパ
ス大視聴覚教室 (東京), 2016 年 2 月 25 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 河合泰輔: 歯科用コーンビーム CT のメリットとは?, 北海道歯科産業株式会社講習会,
札幌, 2015 年 4 月 1 日.
2. 河合泰輔: 歯科用コーンビーム CT の利用で何が変わる?, タカラベルモント株式会社講
習会, 東京, 2015 年 4 月 10 日.
3. 代居 敬: 「インプラントの画像診断」, 日本歯科先端技術研究所講習会, 東京 (港区),
2015 年 4 月 12 日.
4. 代居 敬: 「画像診断」, 新潟再生歯学研究会講習会, 新潟 (日本歯科大学新潟生命歯学部),
2015 年 4 月 19 日.
5. 代居 敬: 「インプラントの画像診断」, 埼玉インプラント研究会講習会, 埼玉県 (さいた

ま市), 2015年7月5日.

6. 河合泰輔: レントゲンの見方や撮影方法を学ぶ, 公益社団法人東京都歯科衛生士会 第2回再就業支援研修会講演, 東京, 2015年8月6日.
7. 河合泰輔: 歯科用コーンビーム CT の知っておくべき特徴, 長田電機工業株式会社講習会, 東京, 2015年9月3日.
8. 佐藤健児: 線量測定実習手順, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 第2回「企業向け顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会」, 坂戸グランドホテル WIN (埼玉), 2015年9月19日.
9. 佐藤健児: 歯科用 X 線撮影装置の性能試験, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 第2回「企業向け顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会」, 明海大学 (埼玉), 2015年9月20日.
10. 佐藤健児: 線量測定の基本—線量と線質—, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 第3回「顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会」, 坂戸グランドホテル WIN (埼玉), 2016年1月9日.
11. 佐藤健児: 歯科用コーンビーム CT 装置の出力特性, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 第3回「顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会」, 明海大学 (埼玉), 2016年1月10日.
12. 代居 敬: 「パノラマ撮影法の価値を高めるために」, 群馬県日本歯科大学校友会学術講演会, ホテルラシーネ新前橋 (群馬), 2016年1月24日.
13. 佐藤健児: 「放射線の影響, 防護および法的規制」, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 優良医ステップアップ講習会, 日本大学歯学部第2号館 (東京), 2016年3月20日.
14. 代居 敬: 「画像形成, 画像処理 (現像含む), パノラマエックス線検査」, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 優良医ステップアップ講習会, 日本大学歯学部第2号館 (東京), 2016年3月20日.

● 生命歯学部 高齢者歯科学
School of Life Dentistry, Department of Geriatric Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 羽村 章
助 教 有友たかね (生命歯学部)

2. 研究テーマ

- 1) 高齢者の歯科治療 Study of Clinical Gerodontology.
- 2) 歯科教育システムの開発 Development of Dental Education System.
- 3) 心療歯科患者の臨床統計 Statistics in Psychosomatic dentistry.
- 4) 病院機能研究 Study of Quality Health Care.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本歯科大学, (株)モリタ製作所:羽村 章, 秋山仁志, 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉, 2011年7月14日, 特願 2011-155504, 医療用実習システム. 【2015/12/15 特許査定】
- 2) 日本歯科大学, (株)モリタ製作所, (株)ココロ:羽村 章, 秋山仁志, 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉, 2011年7月14日, 特願 2011-155668, 疑似患者, 医療用診療台装置, 及び医療用実習装置. 【2015/08/25 特許査定】

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 第26回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜市・パシフィコ横浜, 2015年6月13日・14日, 羽村 章 (大会長).
- 2) 第29回老年学会総会合同大会, 横浜市・パシフィコ横浜, 2015年6月12-14日, 羽村 章 (合同会長).

6. 国際交流状況

- 1) 米国の歯科臨床教育事情の調査のために, 米国財団法人野口医学研究所 (Noguchi Medical Research Institute) を通じて, New York に在る St.Luke's-Roosevelt Hospital Center Division of Oral and Maxillofacial Surgery の歯科医師 (顎顔面外科専門医) との交流を行っている.

7. 外部・学内研究費

- 1) 株式会社モリタ製作所委託研究費 (新規), 平成27年度, SIMROID を用いたシミュレーション教育に関する研究, 羽村 章 (代表), 三代冬彦, 秋山仁志, 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉 (分担), 1,000,000 円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 羽村 章（編著）：老年歯科医学，一般社団法人日本老年歯科医学会（編集協力），医歯薬出版，東京，2015年10月5日。

B. 原著

1. 秋山仁志，宇塚 聡，宮下 渉，原 節宏，三代冬彦，羽村 章：ヒト型ロボットシミュレーションシステム（SIMROID）における高齢者モデルの開発，日歯教誌，31（3）：129-136，2015.
2. 秋山仁志，三代冬彦，羽村 章，横澤 茂，小川智久：日本歯科大学附属病院協力型臨床研修施設における研修歯科医の診療実績に関する調査，○日本歯科医療管理学会雑誌，2015；50（3）：162-169.

C. 総説・解説

1. 羽村 章：健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム 日本歯科大学生命歯学部が進めるより良い歯科医師を養成するための地域連携ケアコース，日本歯科医師会雑誌，68（10）：960-961，2016.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 菊谷 武，有友たかね：「食べる」を支えるための口腔ケア～菌回収を意識した口腔ケアの実際・コツ～，～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア，歯界展望，126（3）：449-457，2015.
2. 前原朝子，荻田みさと，稲田久美子，丸本桜子，村田 碧，有友たかね，川本博也：自閉症児に対する視覚支援の1例―歯磨き行動の獲得を目指して―，障歯誌，36（4）：637-642，2015.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Akiyama H, Uzuka S, Miyashita W, Hara S, Hamura A. Development of new patient simulation systems (SIMROID) for clinical training of restorative, Journal of Dental Research 90th Program book, 123 (#0938), 2015.
2. 秋山仁志，新田俊彦，石田鉄光，三代冬彦，宇塚 聡，原 節宏，宮下 渉，岡田智雄，川村浩樹，山瀬 勝，山崎孝子，後藤尚昭，梅津糸由子，北原和樹，羽村 章：日本歯科大学生命歯学部平成26年度第4学年学生を対象に実施したシムロイド実習の概要，第34回日本歯科医学教育学会大会（鹿児島）プログラム・抄録集，110，2015.
3. 秋山仁志，宇塚 聡，宮下 渉，原 節宏，三代冬彦，羽村 章：ヒト型患者ロボットシミュレーションシステムにおける老人仕様シミュレーターの検証，日本老年歯科学会第26回学術大会（横浜）プログラム・抄録集，227，2015.
4. 秋山仁志，新田俊彦，石田鉄光，三代冬彦，宇塚 聡，原 節宏，宮下 渉，岡田智雄，

川村浩樹, 山瀬 勝, 山崎孝子, 梅津糸由子, 北原和樹, 羽村 章: 日本歯科大学生命歯学部平成 26 年度第 4 学年学生を対象に実施したシムロイド実習の概要, 第 34 回日本歯科医学教育学会大会 (鹿児島) プログラム・抄録集, 28, 2015.

5. 筒井健夫, 小川智久, 菊池憲一郎, 小林さくら子, 波多野泰夫, 羽村 章: 禁煙支援委員会活動への生命歯学部生の意見—生命歯学部長主催意見交換会のための記述式アンケートより, 第 34 回日本歯科医学教育学会および学術大会 (鹿児島) プログラム・抄録集, 158, 2015.
6. 宮坂孝弘, 北原和樹, 柴田 潔, 佐藤 勉, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 山城三喜子, 羽村 章: 生命歯学部学生, 第 2 学年におけるチーム基盤型学習法 (TBL) 導入の試み, 第 34 回日本歯科医学教育学会および学術大会 (鹿児島), プログラム・抄録集, 158, 2015.
7. 大津光寛, 藤田結子, 軍司さおり, 若槻聡子, 羽村 章, 一條智康: 摂食障害患者のう蝕経験とその発症要因, 第 19 回日本摂食障害学会学術集会 (福岡), 2015 年 10 月 24・25 日.
8. 田中祐子, 有友たかね, 矢島悠里, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武: 病院との連携によって行う摂食嚥下障害者に対する支援, 老年歯学, 30 (2): 175-176, 2015.
9. 前原朝子, 村田 碧, 丸本桜子, 荻田みさと, 有友たかね, 川本博也: 歯科通院回数減少を目指した知的障害者施設職員の口腔清掃に関する取り組み, 障歯誌, 36 (3): 508, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Hamura A. The training of restorative treatment using a robot simulator SIMROID®, International Dental Collaboration of the Mekong River Region, Mahidol University Faculty of Dentistry, Bangkok Thailand, June 7-9, 2015. (特別講演)
2. Hamura A. Outlook of Dentistry, The Future Dentistry in Japan, The 57th Annual Meeting of Japanese Association for Oral Biology, TOKI MESSE, Niigata Japan, September 13, 2015. (シンポジウム)
3. 羽村 章: 『ヒト型患者ロボット「シムロイド®」高齢者タイプの開発と応用』, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, ランチョンセミナー, 鹿児島, 2015 年 7 月 11 日.
4. 羽村 章: 歯科と認知症, 日本歯科大学主催緊急公開フォーラム, パネルディスカッション, 東京, 2015 年 9 月 6 日.
5. 羽村 章: 歯は一生持つようにできている～丈夫な歯で元気な一生～, 日本歯科保存学会市民公開講座, シンポジウム, 東京, 2015 年 11 月 1 日.
6. 羽村 章: 健康長寿に必要な全人的歯科医療を担う課題解決能力を備えた歯科医師になるために必要な教育を考える, 課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム」第 2 回シンポジウム, パネルディスカッション, 仙台, 2016 年 1 月 26 日.
7. 有友たかね: 歯科衛生士シンポジウム「とびだそう! 在宅へ; 在宅療養を支える歯科衛生士のあり方を考える」, 第 26 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, シンポジウム, 横浜, 2015 年 6 月 14 日.
8. 有友たかね: 地域包括ケアシステムにおける歯科衛生士の役割—多摩地区における活動を通じて—, 第 32 回日本障害者歯科学会総会及び学術大会, 教育講座, 名古屋, 2015 年

11月8日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 有友たかね：口腔から健康アップ，平成 27 年度小金井市介護予防リーダー研修会，東京都小金井市，2015 年 5 月 26 日.
2. 有友たかね：口腔ケアの実技・研修，口腔保健支援事業 第 1 回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市，2015 年 11 月 12 日.
3. 有友たかね：口腔リハビリテーションの実際，平成 27 年度小平市家族介護教室，東京都小平市，2015 年 11 月 19 日.
4. 有友たかね：いつもまでも美味しく食べるために，こきん倶楽部，東京都小金井市，2015 年 11 月 30 日.
5. 有友たかね：第 1 回「口腔衛生管理」～専門科の視点・技術を導入して～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市，2015 年 11 月 30 日.
6. 有友たかね：介護支援専門員必須 見逃してはいけないお口のサイン，ケアマネ交流会，東京都三鷹市，2015 年 12 月 24 日.
7. 有友たかね：口腔ケアを多職種連携の合言葉に，在宅歯科医療推進事業研修会，熊本県熊本市，2016 年 1 月 23 日.
8. 有友たかね：口腔ケア性誤嚥性肺炎といわれないためのテクニック，在宅歯科医療推進事業研修会，熊本県熊本市，2016 年 1 月 24 日.
9. 有友たかね：口腔ケアの実技・研修，口腔保健支援事業 第 2 回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市，2016 年 1 月 28 日.
10. 有友たかね：第 2 回「口腔衛生管理」～専門科の視点・技術を導入して～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市，2016 年 3 月 3 日.

● 共同利用研究センター Research Center for Odontology

1. 所属構成員等

教 授 古西 清司 (併任) (4月～8月)
准 教 授 那須 優則, 鈴木さつき
講 師 戸円 智幸
助 教 三橋扶佐子, 堀江 哲郎, 深田 哲也
技 術 職 員 片柳 亮太
客 員 准 教 授 橋本 尚詞
客 員 講 師 立花 利公

2. 研究テーマ

- 1) 骨型アルカリ性ホスファターゼ (ALP) の分子構造に課す 2 価金属イオンの役割 Role of divalent metal ions on molecular structure of bone type alkaline phosphatase (ALP).
- 2) ラット炎症惹起歯髄内におけるプロスタグランジン類生成酵素の活性発現とこれら酵素に対する歯科用薬剤・ユージノールの作用について Effect of eugenol as a dental medicine on appearances of prostaglandin synthetase activities in inflamed pulps of rat mandibular incisors.
- 3) C. albicans の病原性におけるオートファジーの研究 Study of the autophagy in the virulence of C.albicans infection.
- 4) 唾液腺に対する放射線防護 Radioprotection on salivary gland.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 堀江哲郎:公益社団法人日本顕微鏡学会認定電子顕微鏡技術 2 級技士(認定登録番号 1596).
- 2) 那須優則:一般社団法人日本再生医療学会認定臨床培養士(認定登録番号 C1-2016-00005), (認定期間:2016年1月1日～2018年12月31日).

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 研究力増進プログラム (17)「適正な動物実験の実施」—国際的な動向—, 日本歯科大学, 平成 27 年 7 月 10 日, 共同利用研究センター.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)(新規), 平成 27～29 年度, bFGF と脂肪細胞培養法による上皮組織再生機構の解明, 菊池憲一郎(代表), 池田理恵, 那須優則, 高田清美, 堀江哲郎(分担), 2,080,000 円.
- 2) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)(新規), 平成 27～29 年度,

放射線歯根形成障害メカニズム解明の基盤研究—新たな知見を創設可能な実験システム—, 井出吉昭 (代表), 中原 貴, 石川 博, 那須優則, 豊村順子, 大山晃弘 (分担), 1,820,000 円.

- 3) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) (新規), 平成 27~29 年度, 口臭物質による歯槽骨吸収を制御するメカニカルストレスの生理学的役割, 今井敏夫 (代表), 那須優則 (分担), 2,990,000 円.
- 4) 平成 27 年度科学研究費申請研究, ラジカルスカベンジャーedaravone による唾液腺の放射線障害の軽減, 那須優則 (代表), 堀江哲郎, 三橋扶佐子, 井出吉昭 (分担), 1,330,000 円.
- 5) 株式会社中華高橋水産委託研究, CAS 急速冷凍によるサメ肉の品質向上の電子顕微鏡観察による検証試験, 那須優則 (代表), 三橋扶佐子 (分担), 90,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. Ikeda K, Fujioka K, Tachibana T, Kim SU, Tojo K, Manome Y. Secretion of urocortin I by human glioblastoma cell lines, possibly via the constrictive pathway, ©☆Peptides, 2015 ; 63 : 63-70, doi : 10.1016/j.peptides.2014.09.007.
2. Ohyama A, Nikaido T, Tachibana T, Tominaga N, Toyomura J, Kimura E (9 authors). Establishment and characterization of a cell line designated Nur-1 derived from human endometrioid adenocarcinoma of uterine corpus, ©☆Hum Cell, 2015 ; 28 : 100-107, doi : 10.1007/s13577-014-0108-9.
3. Saijo H, Tatsumi N, Arihiro S, Kato T, Okabe M, Tajiri H, Hashimoto H. Microangiopathy triggers, and inducible nitric oxide synthase exacerbates dextran sulfate sodium-induced colitis, ©☆Laboratory Investigation, 2015 ; 95 : 728-748, doi : 10.1038/labinvest.2015.60.
4. Kumagai K, Suzuki S, Kanri Y, Matsubara R, Fujii K, Wake M (8 authors). Spontaneously developed osteoarthritis in the temporomandibular joint in STR/ort mice, ©☆Biomed Rep, 2015 ; 3 : 453-456, doi : 10.3892/b.r2015.467.
5. Miyata Y, Kumagai K, Nagaoka T, Kitaura K, Kaneda G, Kanazawa H, Suzuki S (7th) (9 authors). Clinicopathological significance and prognostic value of Wilms' tumor gene expression in colorectal cancer, ©☆Cancer Biomar, 2015 ; 15 (6) : 789-797, doi : 10.3233/CBM-150521.
6. Kumagai K, Horikawa T, Shigematsu H, Matsubara R, Kitaura K, Eguchi T, Suzuki S (11th) (13 authors). Possible immune regulation of natural killer T cells in a murine model of metal ion-induced allergic contact dermatitis, ©☆Int J Mol Sci, 2016 ; 17 : 87, doi : 10.3390/ijms17010087.
7. Nagaoka T, Kitaura K, Miyata Y, Kumagai K, Kaneda G, Kanazawa H, Suzuki S (7th) (9 authors). Downregulation of epidermal growth factor receptor family receptors and ligands in a mutant K-ras group of patients with colorectal cancer, ©☆Mol Med Rep, 2016 ; 13 : 3514-3520, doi : 10.3892/mmr.2016.4951.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 那須優則, 鈴木さつき, 三橋扶佐子: 研究力増進プログラム (17) 「適正な動物実験の実施」—国際的な動向—, テキストと実習報告, 日本歯科大学生命歯学部共同利用研究センター, 2015.
2. 片柳亮太: 平成 25 年度公私動協技術研修会「実験用ブタの取扱いと実験手技」感想記, 公私立大学実験動物施設協議会年報, No.23 : 85, 2015.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 堤 ちはる, 三橋扶佐子, 山本恒雄: 地域小規模児童養護施設入所児の生活環境の現状と課題について, 小児保健研究, 74 : 146, 2015.
2. Ide Y, Nakahara T, Nasu M, Ishikawa H. Malformation of the apical region on molars in mice irradiated to the head, JAOB, 57 : 177, 2015.
3. Nasu M, Horie T, Ide Y, Mitsuhashi F, Nakahara T. Effects of radical scavengers on radiation injury to fetal salivary glands, JAOB, 57 : 464, 2015.
4. Fukada T, Toen T, Hashimoto S, Sunada K. Mechanisms of dexmedetomidine hydrochloride effects to rat paw edemas induced with carrageenan and histamine, JAOB, 57 : 466, 2015.
5. 堤ちはる, 三橋扶佐子, 山本恒雄: 地域小規模児童養護施設職員の食事業務と栄養士の関わりについて, 栄養学雑誌, 73 : 326, 2015.
6. 星野 優, 橋本尚詞, 有廣誠二, 田尻久雄, 日下部守昭: DSS 腸炎モデルマウスに対する間葉系幹細胞 (MSCs) 投与による炎症抑制効果はテネイシン-C を介する, 日本再生医療学会雑誌, 14 : 44, 2015.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. Hoshino A, Hashimoto H, Arihiro S, Ozaki H, Hori M, Tajiri H, Kusakabe M. Tenascin-C mediates the suppressive effects on inflammation by the mesenchymal stem cell in dextran sulfate sodium induced colitis, Digestive Disease Week 2015, Washington, D. C., 2015-5-17.
2. 堀江哲郎: カンジダ属真菌におけるオートファジーの機能解析の試み, 酵母マルチオミクス研究会, 京都, 2016 年 1 月 27 日.

● 内科学講座 Department of Medicine

1. 所属構成員等

教 授 三ツ林裕巳, 佐々木裕芳
准 教 授 渡辺 昌司
講 師 矢島 愛治
臨 床 教 授 古畑 升, 池松 武直, 渡辺 尚彦, 小松 一俊
臨 床 講 師 権 寧博
事 務 職 員 北田加代美 (書記補)

2. 研究テーマ

- 1) 高血圧症の成因 Pathogenesis of hypertension.
- 2) 中枢神経の血圧制御 Central control of blood pressure.
- 3) 血圧変動の解析 Analysis of blood pressure variation.
- 4) 睡眠時無呼吸症候群の成因 Pathogenesis of sleep apnea disorder.
- 5) 呼吸器疾患の病態生理・疾患バイオマーカーの研究 Pathophysiology of respiratory diseases: study for biomarker.
- 6) IT 技術を活用した呼吸器診療ツールの開発 Development of IT tools for clinical use on respiratory diseases.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 27 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) (新規), 平成 27~29 年度, 15K09196, 気道分泌型エクソソームの情報に基づく喘息・COPD の病態解明とバイオマーカー探索, 権 寧博 (代表), 4,680,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 渡辺尚彦 (分担執筆): A. 心・循環系 - 8 運動負荷試験, 165-170, 日本自律神経学会 編, 自律神経機能検査 第 5 版, 文光堂, 東京, 2015, ISBN : 978-4-8306-1543-6.

2. 久保 豊, 渡辺尚彦, 大塚邦明 (分担執筆) : A. 心・循環系 - 11 自由行動下血圧計, 178-182, 日本自律神経学会 編, 自律神経機能検査 第5版, 文光堂, 東京, 2015, ISBN : 978-4-8306-1543-6.
3. Cornelissen G, Otsuka K, Watanabe Y, Gierke C.L, Beaty L, Havelkova A, Dusek J, Siegelova J. Why 7-day/24-hour ambulatory blood pressure monitoring ? day-to-day variability in blood pressure and the novelty effect, 9-18, In : Kenner T., Cornelissen G., Siegelova J., Dobsak P. (Eds.), NONINVASIVE METHODS IN CARDIOLOGY 2015, Masrkyk University, Brno, Czech Republic, 2015, ISBN : 978-80-210-8031-7.
4. Cornelissen G, Otsuka K, Watanabe Y, Halberg F, Halberg J, Beaty L, Dusek J, Havelkova A, Siegelova J. Applications of chronobiologically-interpreted 7-day/24-hour ambulatory blood pressure monitoring: from health maintenance and primary prevention to chronotherapy, 19-35, In : Kenner T., Cornelissen G., Siegelova J., Dobsak P. (Eds.), NONINVASIVE METHODS IN CARDIOLOGY 2015, Masrkyk University, Brno, Czech Republic, 2015, ISBN : 978-80-210-8031-7.
5. Gierke C.L, Watanabe Y, Siegelova J, Dusek J, Otsuka K, Cornelissen G. Demonstratio of cosinor-based analyses using the chronomica analysis toolkit in R, 37-48, In : Kenner T., Cornelissen G., Siegelova J., Dobsak P. (Eds.), NONINVASIVE METHODS IN CARDIOLOGY 2015, Masrkyk University, Brno, Czech Republic, 2015, ISBN : 978-80-210-8031-7.
6. 渡辺尚彦 (単著) : 血圧を測るだけ!!で長生きする 38 の理由 見る間に下がる魔法の習慣, 毎日新聞出版, 東京, 2015, ISBN : 978-4-629-32305-3.

B. 原 著

1. Kawamura H, Ozawa Y, Izumi Y, Kasamaki Y, Nakayama T, Mitsubayashi H, Ohta M, Ichimaru Y. Non-dipping blood pressure variations in adult Kazakhs are derived from decreased daytime sympathetic activity and increased nighttime sympathetic activity, ◇Clin Exp Hypertens, 2016 ; 38 (2) : 194-202, doi : 10.3109 / 10641963.2015.1081216.
2. Takayama T, Yoda S, Yajima Y, Kasamaki Y, Kanai T, Hirayama A. Improvements in Augmentation Index and Urinary Albumin Excretion With Benidipine in Hypertensive Patients With Chronic Kidney Disease, ○Int Heart J, 2016 ; 57 (1) : 53-60, doi:10.1536/ihj.15-208.
3. 宇塚 聡, 坂梨公亮, 鈴木みすず, 渡辺尚子, 小池みづき, 片岡彩乃, 原 節宏, 矢島愛治, 宮下 渉, 小森 成, 三ツ林裕巳 : 閉塞性睡眠時無呼吸症患者における下顎の劣成長と気道形態および疾病の重症度との関連, 日健康医療誌, 2015 ; 3 (2) : 16-20.
Uzuka S, Sakanashi K, Suzuki M, Watanabe N, Koike M, Kataoka A, Hara S, Yajima Y, Miyashita W, Komori A, Mitsubayashi H. The relation between mandibular retrusion and airway morphology and severity of obstructive sleep apnea, JJMHS Dec, 2015 ; 3 (2) : 16-20.
4. Kozu Y, Gon Y, Maruoka S, Kazumichi K, Sekiyama A, Kishi H, Nomura Y, Ikeda M, Hashimoto S. Protocadherin-1 is a glucocorticoid-responsive critical regulator of airway epithelial barrier function, ☆BMC Pulmonary Medicine, 2015 ; 15 : 80, doi : 10.1186/s12890-015-0078-z.
5. Koyama D, Maruoka S, Gon Y, Shintani Y, Sekiyama T, Hiranuma H, Shikano S, Kuroda K, Takeshita I, Tsuboi E, Soda K, Hashimoto S. Myeloid differentiation-2 is a potential biomarker

- for the amplification process of allergic airway sensitization in mice, ☆Allergology International, 2015 ; 64 (Suppl.) : S37-45, doi : 10.1016/j.alit.2015.05.011.
6. Shintani Y, Maruoka S, Gon Y, Koyama D, Yoshida A, Kozu Y, Kuroda K, Takeshita I, Tsuboi E, Soda K, Hashimoto S. Nuclear factor erythroid 2-related factor 2 (Nrf2) regulates airway epithelial barrier integrity, ☆Allergology International, 2015 ; 64 (Suppl.) : S54-63, doi : 10.1016/j.alit.2015.06.004.
 7. Yoshizawa T, Okada K, Furuichi S, Ishiguro T, Yoshizawa A, Akahoshi T, Gon Y, Akashiba T, Hosokawa Y, Hashimoto S. Prevalence of chronic kidney diseases in patients with chronic obstructive pulmonary disease: assessment based on glomerular filtration rate estimated from creatinine and cystatin C levels, ☆Int J Chron Obstruct Pulmon Dis, 2015 ; 10 : 1283-1289, doi : 10.2147/COPD.S80673.
 8. Gon Y, Ito R, Hattori T, Hiranuma H, Kumasawa F, Kozu Y, Endo D, Koyama D, Shintani Y, Eriko T, Soda K, Maruoka S, Hashimoto S. Serum eosinophil-derived neurotoxin: Correlation with persistent airflow limitation in adults with house-dust mite allergic asthma, ☆Allergy and Asthma Proceedings, 2015 ; 36 (6) : pp.e113-e120, doi : 10.2500/aap.2015.36.3884.
 9. Yanai M, Gon Y, Suzuki K, Hayashi Y, Hasumi S, Otsuka H, Soma M. Clinical usefulness of serum 2'-5'-oligoadenylate synthetase for early diagnosis of viral infections among febrile adult patients, ☆Infectious Diseases, 2016 ; 48 (5) : 338-342, doi : 10.3109/23744235.2015.1118531.
 10. 古川典子, 伊藤玲子, 権 寧博, 丸岡秀一郎, 橋本 修 : iPad を用いた吸入指導の効果—ウェブアプリ「吸入レッスン」—, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (Suppl. I) : 17-19.
Kogawa N, Ito R, Gon Y, Maruoka S, Hashimoto S. Utility of a web application using iPad for patients education on inhalation therapy, ○Jpn J Cancer Chemother, 2015 ; 42 (Suppl. I) : 17-19.

C. 総説・解説

1. 三林裕巳 : 睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病, 日本成人矯正歯科学会雑誌, 第 22 卷 (別冊) : 13-18, 2014.
2. 権 寧博, 伊藤玲子, 古川典子, 丸岡秀一郎, 橋本 修 : 喘息・COPD の吸入療法における患者教育の動向, 日本内科学会雑誌, 104 (10) : 2220-2227, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 権 寧博 : 吸入ステロイド使用中止と COPD 増悪, 日本胸部臨床, 74 (1) : 106, 2015.
2. 権 寧博, 丸岡秀一郎, 橋本 修 : エクソソームの呼吸器疾患への応用, 呼吸と循環, 63 (2) : 149-153, 2015.
3. 権 寧博, 橋本 修 : 増悪が COPD に与える影響, Progress in Medicine, 35 (2) : 213-217, 2015.
4. 権 寧博, 橋本 修 : 喘息のテーラーメイド治療の現状と将来, 呼吸器内科, 27 (3) : 223-227, 2015.
5. 権 寧博, 丸岡秀一郎, 黒田和道, 山岸賢司, 橋本 修 : 細胞外顆粒内 RNA 情報の臨床応用, 呼吸と循環, 63 (6) : 541-546, 2015.
6. 権 寧博, 伊藤玲子, 古川典子, 丸岡秀一郎, 戸田 健, 橋本 修 : 気管支喘息の治療管

- 理における患者教育の重要性と最近の動向, アレルギーの臨床, 35 (7) : 691-696, 2015.
7. 丸岡秀一郎, 権 寧博, 橋本 修: ストレスとエピジェネティクス, *Respiratory Medical Research*, 3 (3) : 181-184, 2015.
 8. 権 寧博, 橋本 修: 抗ケモカイン療法, *臨床免疫・アレルギー科*, 64 (2) : 164-168, 2015.
 9. 権 寧博, 丸岡秀一郎, 黒田和道, 深野義人, 山岸賢司, 橋本 修: 気道分泌型エクソソーム, *臨床免疫・アレルギー科*, 64 (5) : 495-500, 2015.
 10. 権 寧博, 橋本 修: 肥満とアレルギー, *アレルギーの臨床*, 35 (14) : 1331-1335, 2015.
 11. 権 寧博, 伊藤玲子, 古川典子, 丸岡秀一郎, 戸田 健, 橋本 修: 気管支喘息の治療管理における患者教育の重要性と最近の動向, *アレルギーの臨床*, 36 (1) : 60-65, 2016.
 12. Shintani Y, Endo D, Kumasawa F, Koyama D, Shikano S, Ishiwatari Y, Igei K, Okamoto N, Uematsu A, Morisawa T, Gon Y, Hashimoto S. Idiopathic Pulmonary Fibrosis Well-Controlled in Progress Good Control for a Long Interval with Pirfenidone: a Case Report, *J.Nihon Univ.Med.Ass.*, 2015 ; 74 (2) : 69-72, doi : org/10.4264/numa.74.69.
 13. Kumasawa F, Miura T, Takahashi T, Endo D, Ohki T, Nakagawara H, Maruoka S, Tsujino I, Masahiro O, Gon Y, Takahashi N, Moriyama M, Hashimoto S. A case of miriplatin-induced lung injury, *Journal of Infection and Chemotherapy*, 2016 ; S1341-321X (16) 00023-4, doi : 10.1016/j.jiac.2016.01.003.
 14. 権 寧博: 喘息患者さんのアドヒアランスを考えよう, GSK live seminar. スタジオクト, 恵比寿, 2015.9.14.
 15. 権 寧博: 二宮清純のゼンソク人間学, シリーズ 2. VoL.10, 喘息の総合情報サイト, http://zensoku.jp/athlete/taidan/taidan_020_01.html (参照 2016.6.6).

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Yajima Y, Komatsu K, Mitsubayashi H, Hirayama A. Renal Tissue Blood Flow Regulation system in Acute Blood Pressure Modulation is Maintained in Elderly Wistar-Kyoto Rats, *FASEB J*, vol. 29 (1) (Suppl.) : 808, 24. (ボストン, アメリカ, 2015年3月30日)
2. 矢島愛治, 小松一俊, 渡辺尚彦, 三ツ林裕己, 平山篤志: 加齢 Wistar-Kyoto ラットにおける血圧変動に対する腎血流変化の検討, 第 38 回日本高血圧学会総会プログラム・抄録集, 424, 2015. (松山, 2015年10月9~11日)
3. 渡辺尚彦, 菊池朋子, 三橋哲也, 大塚邦明, 佐倉 宏, 矢島愛治, 三ツ林裕己, 河村 博: アムロジピン / アトルバスタチン配合薬の時間療法の再現性について, 第 38 回日本高血圧学会総会プログラム・抄録集, 440, 2015. (松山, 2015年10月9~11日)
4. 渡辺尚彦, 菊池朋子, 三橋哲也, 大塚邦明, 佐倉 宏, 矢島愛治, 三ツ林裕己, 河村 博: アムロジピン / アトロバスタチン配合薬 (CCB / スタチン配合薬) の時間療法の再現性を検討し得た 12 例, 第 17 回時間循環血圧研究会抄録集, 6, 2015. (東京, 2015年7月14日)

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 権 寧博, 丸岡秀一郎, 橋本 修: エクソソームの疾患バイオマーカーとしての可能性, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, シンポジウム, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 17 日.
2. 伊藤玲子, 権 寧博, 丸岡秀一郎, 服部知洋, 橋本 修: フリーIgE 測定と抗 IgE 抗体療法, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, ミニシンポジウム, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 17 日.
3. 権 寧博: 喘息治療の現状と課題解決への取り組み, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, 教育セミナー, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 17 日.
4. 権 寧博, 丸岡秀一郎, 井上寿男, 曾田香織, 神津 悠, 鹿野壮太郎, 橋本 修: アレルギー性気道炎症における気道分泌型 exosome の役割, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, ミニシンポジウム, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 17 日.
5. 権 寧博, 伊藤玲子, 丸岡秀一郎, 服部知洋, 平沼久人, 熊澤文雄, 神津 悠, 橋本 修: 血清 EDN レベルは omalizumab 治療における気流閉塞改善の指標となる, 第 64 回日本アレルギー学会学術大会, ミニシンポジウム, グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール, 東京都, 港区, 2015 年 5 月 26 日.
6. 権 寧博, 丸岡秀一郎, 黒田和道, 山岸賢司, 鹿野壮太郎, 曾田香織, 坪井絵莉子, 竹下郁子, 橋本 修: マウス喘息モデルを用いた気道分泌型 exosome の解析, 第 64 回日本アレルギー学会学術大会, ミニシンポジウム, グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール, 東京都, 港区, 2015 年 5 月 27 日.
7. 古川典子, 伊藤玲子, 権 寧博, 小山大輔, 丸岡秀一郎, 服部知洋, 橋本 修: iPad による吸入指導～手技習得と持続性の検討～, 第 64 回日本アレルギー学会学術大会, ミニシンポジウム, グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール, 東京都, 港区, 2015 年 5 月 27 日.
8. 中川喜子, 高橋典明, 林健太郎, 飯田由子, 小山大輔, 佐藤良博, 関山忠孝, 清水哲男, 権 寧博, 橋本 修: びまん性肺疾患に対する気管支肺胞洗浄 (BAL) の合併症について, 第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, ミニシンポジウム, 京王プラザホテル, 東京都, 新宿区, 2015 年 6 月 12 日.
9. 権 寧博: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における呼吸ケアの基本, 第 26 回日本在宅医療学会学術集会, 教育セミナー, ホテルメトロポリタン, 東京都, 豊島区, 2015 年 7 月 19 日.
10. 権 寧博: COPD 研究の最前線 Overview, 第 59 回日本薬理学会 関東支部大会, シンポジウム 3, 千葉, 2015 年 9 月 12 日.
11. Gon Y. Epithelial biology in the pathogenesis of airway inflammation, 20th Congress of the Asia Pacific Society of Respiriology, symposium, Kuala Lumpur (Malaysia), 2015.12.5.
12. Watanabe Y. Earthquake and ambulatory blood pressure monitoring, The 3rd Institute of Advanced Active Aging Reserch Symposium ～Paradigm in a super-aged society～, International Symposium, Nishitokyo, Japan, 2015.10.31. (The 3rd Institute of Advanced Active Aging Reserch Symposium ～Paradigm in a super-aged society～, Abstract : P12, 2015)

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 伊藤玲子, 権 寧博, 古川典子, 小山大輔, 丸岡秀一郎, 服部知洋, 橋本 修 : ipad を用いた吸入指導, 第 112 回日本内科学会講演会, みやこメッセ, 京都府, 京都市, 2015 年 4 月 11 日.
2. 井上寿男, 権 寧博, 丸岡秀一郎, 鹿野壮太郎, 黒田和道, 山岸賢司, 曾田香織, 橋本 修 : マウス LPS 誘導性肺障害における BALF 中エクソソームの RNA 発現解析, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 17 日.
3. 権 寧博, 伊藤玲子, 丸岡秀一郎, 服部知洋, 平沼久人, 熊澤文雄, 遠藤大輔, 神津 悠, 橋本 修 : 血清 EDN レベルの omalizumab 治療評価におけるバイオマーカーとしての有用性, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 18 日.
4. 伊藤玲子, 権 寧博, 古川典子, 小山大輔, 丸岡秀一郎, 服部知洋, 橋本 修 : タブレット端末を用いた吸入指導ツール「吸入レッスン」の有用性, 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会, 東京国際フォーラム, 東京都, 千代田区, 2015 年 4 月 19 日.
5. 橋田洋史, 柴崎佳奈, 吉澤孝之, 石黒俊彦, 権 寧博, 赤星俊樹, 赤柴恒人, 橋本 修 : PSG 検査時における周期性四肢運動の検討, 日本睡眠学会 第 40 回定期学術集会, 栃木県総合文化センター, 栃木県, 宇都宮市, 2015 年 7 月 2 日.
6. 船山欣弘, 橋田洋史, 柴崎佳奈, 吉澤孝之, 石黒俊彦, 権 寧博, 赤星俊樹, 赤柴恒人, 橋本 修 : CPAP 治療継続に関わる因子の検討, 日本睡眠学会 第 40 回定期学術集会, 栃木県総合文化センター, 栃木県, 宇都宮市, 2015 年 7 月 3 日.
7. 古川典子, 伊藤玲子, 権 寧博, 橋本 修 : iPad を用いた吸入指導の効果～ウェブアプリ「吸入レッスン」～, 第 26 回日本在宅医療学会学術集会, ホテルメトロポリタン, 東京都, 豊島区, 2015 年 7 月 19 日.
8. 名倉市太郎, 吉田賢史, 松村 湧, 福山澄香, 舟山雄太, 戸田 健, 古川典子, 伊藤玲子, 丸岡秀一郎, 権 寧博 : 吸入指導病薬連携電子化システム「吸入指導病薬連携クラウド」の試作, 平成 27 年電気学会 電子・情報・システム部門大会, 長崎大学 文教キャンパス, 長崎県, 長崎市, 2015 年 8 月 28 日.
9. 野澤昂祐, 舟山雄太, 山下知子, 戸田 健, 古川典子, 伊藤玲子, 丸岡秀一郎, 権 寧博 : 電子端末利用による新しい呼吸困難スクーリングシステムの基礎検討, 平成 27 年電気学会 電子・情報・システム部門大会, 長崎大学 文教キャンパス, 長崎県, 長崎市, 2015 年 8 月 28 日.
10. 橋田洋史, 柴崎佳奈, 吉澤孝之, 石黒俊彦, 権 寧博, 赤星俊樹, 赤柴恒人, 橋本 修 : PSG 検査時における周期性四肢運動の検討, 第 25 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート, 千葉県, 浦安市, 2015 年 10 月 16 日.
11. 酒井厚子, 瀬出井美紀, 梶原恵理子, 上村朋子, 吉澤孝之, 古市祥子, 吉澤明孝, 権 寧博, 橋本 修 : 禁煙外来患者における健康関連 QOL の検討, 第 25 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート, 千葉県, 浦安市, 2015 年 10 月 16 日.
12. 瀬出井美紀, 酒井厚子, 梶原恵理子, 上村朋子, 吉澤孝之, 権 寧博, 橋本 修 : 禁煙成功に関わる因子と禁煙継続についての検討, 第 25 回日本呼吸ケア・リハビリテーション

- 学会学術集会，東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート，千葉県，浦安市，2015年10月16日。
13. 神津 悠，岸 博介，権 寧博，竹下郁子，野村泰之，水村賢司，丸岡秀一郎，大島猛史，橋本 修：ウイルス感染による気道上皮バリア障害におけるmir-155の役割，アレルギー，好酸球研究会2015，学術総合センター，東京都，2015年10月20日。
 14. 権 寧博，井上寿男，深野義人，山岸賢司，黒田和道，鹿野壮太郎，曾田香織，水村賢司，丸岡秀一郎，橋本 修：マウス喘息モデルにおける気道分泌型細胞外小胞 RNA の網羅的発現解析，アレルギー，好酸球研究会 2015，学術総合センター，東京都，2015年10月20日。
 15. 丸岡秀一郎，権 寧博，津谷恒太，岡本真一，水村賢司，井上寿男，神津 悠，新谷榮崇，鹿野壮太郎，坪井絵莉子，曾田香織，竹下郁子，橋本 修：喘息の病態形成に關与する気道上皮バリア脆弱化メカニズムの検討，平成 27 年度私立大学戦略的研究基盤支援事業報告会，日本大学医学部臨床 2 番講堂，東京都，板橋区，2016年2月27日。
 16. Shikano S, Inoue T, Maruoka S, Gon Y, Kuroda K, Yamagishi K, Soda K, Tsuboi E, Takeshita I, Hashimoto S. Exosomal messenger RNAs in the airway are potential biomarkers for acute lung injury in mice, European Respiratory Society Annual Congress, Amsterdam, Netherland, 2015.9.27.
 17. Maruoka S, Gon Y, Shikano S, Shintani Y, Koyama D, Sekiyama A, Hiranuma H, Inoue T, Takeshita I, Tsuboi E, Soda K, Hashimoto S. Exosomal MicroRNAs In The Serum Are Potential Real-Time Biomarkers For Allergic Inflammation In The Airway Of Mice, European Respiratory Society Annual Congress, Amsterdam, Netherland, 2015.9.27.
 18. 権 寧博：特発性肺線維症の病態を反映する疾患特異的自己抗体の同定，第9回日本大学先端バイオフィォラム，日本大学会館 大講堂，東京都，千代田区，2016年1月27日。
 19. 権 寧博：ACOSの治療～当院における吸入指導の取り組みも含めて～，埼玉，春日部，2015年4月8日。
 20. 権 寧博：これからの喘息治療，スピリーバ喘息適応追加記念講演会，2015年4月23日。
 21. 権 寧博：喘息治療における当院の吸入指導の取り組み，東京，渋谷，2015年6月12日。
 22. 権 寧博：ACOSの病態と治療，第6回，川口喘息研究会，埼玉，川口，2015年6月5日。
 23. 権 寧博：喘息治療における当院の吸入指導の取り組み，呼吸器治療ステップアップセミナー，セルリアンタワー東急ホテル，東京，2015年6月12日。
 24. 権 寧博：高齢者と呼吸器疾患～ACOSの治療と当院の吸入指導の取り組み～，呼吸器疾患 in Tokorozawa，所沢市民文化センターMUSE，埼玉，2015年6月22日。
 25. 権 寧博：喘息診療の現在と未来，第22回山陰喘息研究会，鳥取，2015年6月27日。
 26. 権 寧博：気管支喘息の診断と治療～当院の吸入指導の取り組み～，加賀市医師会学術講演会，石川，加賀，2015年7月24日。
 27. 権 寧博：気管支喘息の病態と治療，千葉気道疾患懇話会，2015年11月16日。
 28. 権 寧博：COPDからみたACOS，文京区，椿山荘，SEM in Tokyo，2015年9月17日。
 29. 権 寧博：抗IgE抗体療法とフリーIgE測定，重症喘息治療勉強会，東京，板橋，2015年12月14日。
 30. 権 寧博：COPD（慢性閉塞性肺疾患）治療の新しい話題，Respiratory Meeting－The latest topics of Asthma&COPD treatment－神奈川，町田，2016年1月29日。
 31. 権 寧博：吸入デバイスの特徴と指導のポイント，城北吸入療法研究会，東京，池袋，

2016年2月17日.

32. 権 寧博：気管支喘息治療の最近の知見，気管支喘息治療のupdate 2016，東京，池袋，2016年2月18日.

● 外科学講座 Department of Surgery

1. 所属構成員等

教 授 富田 涼一
講 師 竹川 本夫
非 常 勤 講 師 小豆畑丈夫, 藤崎 滋

2. 研究テーマ

- 1) 消化器疾患の手術前・後における病態生理学的検討 Pathophysiological studies in patients before and after operation for digestive diseases.
- 2) 小腸移植と免疫機能 Assessments on immunological function for small bowel transplantation.
- 3) 侵襲時の生体反応とくに humoral mediator の動態 Kinetics of humoral mediators in critically ill patients.
- 4) 臨床腫瘍学 Clinical oncology.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) The XXth International Conference on Colorectal Cancer and Anorectal Function, Keidanren Kaikan, Tokyo, August 8, 2015.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

1. 富田涼一：総合外科学講義ノート，日本歯科大学，東京，2015年。

B. 原 著

1. Tomita R. Surgical techniques to prevent reflux esophagitis in proximal gastrectomy reconstructed by esophagogastrectomy with preservation of the lower esophageal sphincter, pyloric, and celiac branches of the vagal nerve, and reconstruction of the new angle for early proximal gastric cancer, ©Surgery Today, 2015 ; 46 : 827-834, doi : 10.1007/s00595-015-1269-1.
2. Tomita R, Fujisaki S, Sakurai K, Park E. Function of the enteric nervous system in patients with

- diverticular colon, ○Japanese Journal of Clinical Physiology, 2016 ; 46 (1) : 1-5.
3. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 増尾有紀, 富田涼一, 権田慶士, 榎本克久, 天野定雄, 松尾定憲, 梅田 直 : Aromatase inhibitor 耐性の乳癌再発症例における Fulvestrant の治療効果と Indoleamine 2, 3-Dioxygenase の発現について, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (10) : 1225-1227.
Sakurai K, Fujisaki S, Suzuki S, Adachi K, Nagashima S, Masuo Y, Tomita R, Gonda K, Enomoto K, Amano S, Matsuo S, Umeda N. Indoleamine 2, 3-Deoxygenase activity during fulvestrant therapy for aromatase inhibitor-resistant metastatic breast cancer, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2015 ; 42 (10) : 1225-1227.
 4. 長島沙樹, 藤崎 滋, 高階 幹, 櫻井健一, 富田涼一, 高山忠利 : 胃結腸間膜の形成異常を伴った網嚢ヘルニア, ○日本消化器外科学会雑誌, 2015 ; 48 (10) : 869-876.
Nagashima S, Fujisaki S, Takashina M, Sakurai K, Tomita R, Takayama T. A rare hernia bursae omentalis accompanied by dysplasia of the gastrocolic ligament, ○Journal of Gastroenterological Surgery, 2015 ; 48 (10) : 869-876.
 5. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 増尾有紀, 長島沙樹, 原 由起子, 富田涼一, 権田憲士, 平野智寛, 榎本克久 : 甲状腺癌術後多発性肺転移症例における ¹³¹I 内照射後の Indoleamine 2, 3-Dioxygenase の発現について, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (10) : 1259-1261.
Sakurai K, Fujisaki S, Adachi K, Suzuki S, Masuo Y, Nagashima S, Hara Y, Tomita R, Gonda K, Hirano T, Enomoto K. Indoleamine 2, 3-dioxygenase activity during I¹³¹-radioisotope therapy for metastatic thyroid cancer, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2015 ; 42 (10) : 1259-1261.
 6. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利 : 肝胆膵癌の肝転移に対する肝切除例の検討, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (12) : 1451-1453.
Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T. Four cases of hepatectomy for liver metastases of intractable hepatobiliary pancreatic cancers, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2015 ; 42 (12) : 1451-1453.
 7. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 増尾有紀, 長島沙樹, 原 由紀子, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士, 平野智寛, 天野定男 : 遠隔転移を伴う超高齢者乳癌に対する局所療法の意義について, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (12) : 1503-1505.
 8. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利 : 原発性肝癌切除後肝内再発と重複癌の治療, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (12) : 1674-1676.
Fujisaki S, Takashuna M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T. Treatments of other cancers and liver metastases after hepatectomy for liver cancers, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2015 ; 42 (12) : 1674-1676.
 9. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 増尾有紀, 長島沙樹, 原 由紀子, 富田涼一, 権田憲士, 平野智寛, 榎本克久, 天野定男 : Neuroendocrine carcinoma 様の分化を伴った中間期乳癌の1例, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (12) : 1770-1772.
Sakurai K, Fujisaki S, Adachi K, Suzuki S, Masuo Y, Hara Y, Nagashima S, Hara Y, Tomita R, Gonda K, Hirano T, Enomoto K, Amano S. Interval breast cancer with neuroendocrine differentiation, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2015 ; 42 (12) : 1770-1772.
 10. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智 : 左側大腸癌イレウスにおける経肛門的腸管減

圧チューブ法について, ○癌と化学療法, 2015 ; 42 (12) : 2233-2235.

Tomita R, Fujisaki S, Sakurai K, Park E. Usefulness of transanal decompression tubes in patients with left-sided obstructive colorectal cancer, ○Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy, 2015 ; 42 (12) : 2233-2235.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 富田涼一, 藤崎 滋, 朴 英智, 櫻井健一: 下部食道 24 時間 pH モニタリング測定法からみた胃全摘兼空腸 R-Y 再建術での下部食道括約筋温存の有用性, 日本外学会総会雑誌, 116 (臨時増刊号-1) : 164, 2015.
2. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 単孔式腹腔鏡手術における advantage 整容性の他に何を求めるのか?—術式の工夫を中心に—, 日本外科学会雑誌, 116 (臨時増刊号-1) : 204, 2015.
3. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 権田憲士, 富田涼一, 鈴木周平, 天野定男, 前田哲代, 平野智宏, 榎本克久: 超音波検査を付加した乳癌検査の有用性について, 第 88 回日本超音波医学会学術集会プログラム・抄録集, 5, 2015.
4. 櫻井健一, 藤崎 滋, 原由紀子, 権田憲士, 富田涼一, 安達慶太, 藤原麻子, 前田哲代, 榎本克久, 平野智宏: 切除範囲の同定に苦慮した non-invasive apocrine carcinoma 症例, 第 88 回日本超音波医学会学術集会プログラム・抄録集, 5, 2015.
5. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 富田涼一, 権田憲士, 安達慶太, 前田哲代, 平野智宏, 榎本克久, 天野定男: 広範な乳管内進展を認めた乳腺管状癌の 1 例, 第 88 回日本超音波医学会学術集会プログラム・抄録集, 5, 2015.
6. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 富田涼一, 権田憲士, 原由紀子, 天野定男, 榎本克久: 乳頭血性異常分泌症に対する画像診断について, 第 88 回日本超音波医学会学術集会プログラム・抄録集, 5, 2015.
7. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 藤原麻子, 増尾有紀, 鈴木由佳理, 長島沙樹, 原 由紀子, 富田涼一, 権田憲士, 榎本克久, 天野定男, 松尾定憲: 甲状腺癌術後多発性肺転移症例における I^{131} 内照射後 Indoleamine 2, 3-dioxygenase の発現について, 第 36 回癌免疫外科研究会プログラム・抄録集, 5, 2015.
8. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 藤原麻子, 長島沙樹, 富田涼一, 権田憲士, 原 由紀子, 若賀瑛子, 鈴木周平, 前田哲代, 平野智宏, 榎本克久, 天野定男: 吸引式針生検後のマイクロマークがずれてしまった非浸潤性乳管癌の 1 例, 第 27 回日本内分泌外科学会総会プログラム・抄録集, 5, 2015.

9. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 藤原麻子, 長島沙樹, 富田涼一, 権田憲士, 原 由紀子, 若賀瑛子, 鈴木周平, 前田哲代, 平野智宏, 榎本克久, 天野定男: 術前に DCI と診断された非浸潤性乳管癌の 1 例, 第 27 回日本内分泌外科学会総会プログラム・抄録集, 5, 2015.
10. Fujisaki S, Takashina M, Tomita R, Sakurai K, Takayama T. The relationship between pancreatic cancer patients treated with pancreatectomy and diabetes mellitus, The 27th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 228, 2015.
11. Tomita R, Fujisaki S, Sakurai K, Park E. Clinical studies on juxtapapillary duodenal diverticulum with or without entry of the common bile and pancreatic ducts into duodenal diverticulum, The 27th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 260, 2015.
12. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智: S 状結腸過長症における non-adrenergic non-cholinergic inhibitory nerve 調節について, 日本外科系連合学会誌, 40 (3) : 596, 2015.
13. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 藤原麻子, 長島沙樹, 富田涼一, 権田憲士, 原 由紀子, 鈴木周平, 増尾有紀, 平野智間, 前田哲代, 榎本克久, 天野定男, 松尾定憲: 切除範囲同定に難渋した吸引式針生検後非浸潤性乳管癌の 1 例, 日本外科系連合学会誌, 40 (3) : 604, 2015.
14. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 藤原麻子, 長島沙樹, 富田涼一, 権田憲士, 原 由紀子, 増尾有紀, 鈴木周平, 平野智間, 松尾定憲, 前田哲代, 榎本克久, 天野定男: 長期 Lapatinib 単独療法が奏功し cCR を得た乳癌多発肝転移症例, 日本外科系連合学会誌, 40 (3) : 605, 2015.
15. Sakurai K, Fujisaki S, Nagashima S, Masuo Y, Adachi K, Tomita R, Suzuki S, Gonda K, Hara Y, Maeda T, Hirano T, Enomoto K, Amano S. Usefulness of reduction surgery for elderly advanced breast cancer with bone metastasis: Report of a case, The 61th Annual Congress of International College of Surgeons, Japan Section, June 20, 2015.
16. Sakurai K, Fujisaki S, Nagashima S, Masuo Y, Adachi K, Tomita R, Suzuki S, Gonda K, Hara Y, Maeda T, Hirano T, Enomoto S, Amano S. Indoleamine 2, 3-dioxygenase activity between local recurrence and distant metastasis in patients with breast cancer, The 61th Annual Congress of International College of Surgeons, Japan Section, June 20, 2015.
17. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士, 平野智間, 天野定男: 局所進行 (T4b) 乳癌の治療戦略について, 第 24 回日本癌病態治療研究会プログラム・抄録集, 6, 2015.
18. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士, 平野智間, 天野定男: 手術が有効であった高齢者局所進行乳癌の 1 例, 第 24 回日本癌病態治療研究会プログラム・抄録集, 6, 2015.
19. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 増尾有紀, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士, 原 由紀子, 平野智寛, 小野容子, 天野定男: 遠隔転移を伴う超高齢者乳癌に対する局所療法の意義について, (主題 III-2 遠隔転移を伴う症例に対する局所療法の意義), 第 37 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 78, 2015.
20. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 当院における肝胆膵難治癌の肝転移肝切除例の検討, (主題 I-1-2 再発癌の治療), 第 37 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 15, 2015.
21. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 原発性肝癌切除後における重複癌

- 加療と肝癌肝内転移加療の留意点, (主題 III-2-5 遠隔転移と加療), 第 37 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 24, 2015.
22. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 増尾有紀, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士, 原 由紀子, 平野智寛, 小野容子, 天野定男: Neuroendocrine carcinoma 様の分化を伴った中間期乳癌の 1 例, 第 37 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 116, 2015.
 23. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智: 左側大腸癌イレウスにおける経肛門的腸管減圧法について, 第 37 回日本癌局所療法研究会プログラム・抄録集, 158, 2015.
 24. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 藤原麻子, 増尾有紀, 鈴木由佳理, 長島沙樹, 原 由紀子, 富田涼一, 権田憲士, 松尾定憲, 平野智寛, 榎本克久, 前田哲代, 天野定雄, 谷 眞弓: 乳癌術後皮膚再発病変に対する治療法および予後の検討, 第 23 回日本乳癌学会学術総会プログラム・抄録集, 7, 2015.
 25. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智: 大腸憩室症における non-adrenergic non-cholinergic inhibitory nerve 調節について, 第 70 回日本消化器外科学会総会プログラム, 191, 2015.
 26. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 性差からみた高齢者消化器癌手術症例の治療成績の検討, 第 70 回日本消化器外科学会総会プログラム・抄録集, 210, 2015.
 27. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 長島沙樹, 原 由紀子, 藤原麻子, 富田涼一, 平野智寛, 榎本克久, 権田憲士: 1 次検診の種類による非浸潤性乳管癌の発見頻度について, 日本癌治療学会誌, 50 (1): 113, 2015.
 28. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 富田涼一, 権田憲士, 増尾有紀, 原 由紀子, 平野智寛, 榎本克久, 天野定雄: 人間ドックで発見されて乳房腫瘍性病変について, 日本癌治療学会誌, 50 (1): 114, 2015.
 29. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 鈴木周平, 長島沙樹, 原 由紀子, 富田涼一, 権田憲士, 榎本克久, 天野定雄: 乳癌における皮膚再発病変の検討, 日本癌治療学会誌, 50 (1): 114, 2015.
 30. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智: 若年者胃癌切除症例での低分化腺癌の予後について, 日本癌治療学会誌, 50 (1): 202, 2015.
 31. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 肝癌切除後の重複癌の加療と肝癌肝内再発の病勢コントロールについて, 日本癌治療学会誌, 50 (1): 279, 2015.
 32. 櫻井健一, 藤崎 滋, 前田哲代, 富田涼一, 権田憲士, 長島沙樹, 鈴木周平, 原 由紀子, 安達慶太, 増尾有紀, 飯塚美沙都, 平野智寛, 榎本克久: 経過観察中に早期乳癌が発見された腺腫様甲状腺腫の 1 例, 第 48 回日本甲状腺外科学会学術集会プログラム・抄録集, 10, 2015.
 33. 富田涼一, 櫻井健一, 藤崎 滋, 小豆畑節夫: S 状結腸捻転に併発した S 状結腸過長症の non-adrenergic non-cholinergic nervous system について, 日本大腸肛門病学会雑誌, 68 (9): 801, 2015.
 34. 藤崎 滋, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 腹膜播種を伴った虫垂 Goblet cell carcinoid の臨床経過, 日本大腸肛門病学会雑誌, 68 (9): 843, 2015.
 35. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 肝胆膵難治癌の肝転移に対する肝切除の適応基準までのプロセスと治療成績, 日本臨床外科学会誌, 76: 719, 2015.
 36. 櫻井健一, 藤崎 滋, 安達慶太, 藤原麻子, 長島沙樹, 飯塚美沙都, 富田涼一, 権田憲二,

- 増尾有紀, 鈴木由佳里, 渡邊美帆, 後藤洋伯, 原 由紀子, 榎本克久: 甲状腺癌転移症例における内照射後の Indoleamine 2, 3-dioxygenase の変化, 日本臨床外科学会雑誌, 76:773, 2015.
37. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 長島沙樹, 富田涼一, 権田憲二, 安達慶太, 原 由紀子, 飯塚美沙都, 平野智寛, 増尾有紀, 鈴木由佳里, 渡邊美帆, 後藤洋伯, 榎本克久, 和賀映子, 藤原麻子: 術前診断が非浸潤性乳管癌であった浸潤性管状癌の 1 例, 日本臨床外科学会雑誌, 76:900, 2015.
 38. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 富田涼一, 長島沙樹, 安達慶太, 増尾有紀, 原 由紀子, 飯塚美沙都, 榎本克久, 平野智寛, 天野定雄: 切除範囲の同定に苦慮した非浸潤性アポクリン癌の 1 例, 日本臨床外科学会雑誌, 76:901, 2015.
 39. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 藤原麻子, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士, 平野智寛: マンモグラフィと日本超音波を併用した検診期間中に発生した中間期乳癌の 1 例, 日本超音波医学会第 27 回関東甲信越地方会学術集会プログラム・抄録集, 11, 2015.
 40. 櫻井健一, 藤崎 滋, 権田憲士, 長島沙樹, 安達慶太, 富田涼一, 鈴木周平, 平野智寛: 発見と経過観察に超音波検査が有用であった小児甲状腺濾胞腺腫の 1 例, 日本超音波医学会第 27 回関東甲信越地方会学術集会プログラム・抄録集, 11, 2015.
 41. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 原 由紀子, 増田しのぶ, 平野智寛, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲士: Fulvestrant が長期に奏功している若年性嚢胞内癌術後多発転移の 1 例, 第 12 回日本乳癌学会関東地方会プログラム・抄録集, 93, 2015.
 42. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一: 左側大腸癌による腸閉塞症例の経肛門的減圧法, 日本腹部救急医学会雑誌, 36 (2): 460, 2016.
 43. 藤崎 滋, 高階 幹, 原 由紀子, 櫻井健一, 富田涼一, 高山忠利: 閉塞性大腸癌における pitfall と諸問題, 日本腹部救急医学会雑誌, 36 (2): 260, 2016.
 44. 原 由紀子, 藤崎 滋, 高階 幹, 櫻井健一, 富田涼一, 高山忠利: 盲腸が嵌頓した右鼠径ヘルニアの 1 例, 日本腹部救急医学会雑誌, 36 (2): 498, 2016.
 45. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一: 高齢者胃癌切除後合併症について, 第 88 回日本胃癌学会総会記事, 207, 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 増尾有紀, 富田涼一, 権田憲士, 榎本克久, 天野定男, 松尾定憲: Aromataseinhibitor 耐性の乳癌再発症例における Fulvestrant の治療効果と Indoleamine 2, 3-dioxygenase の発現について, シンポジウム 1; 「癌の進展に関わる宿主因子 (全身・局所) と治療」, 第 36 回癌免疫外科研究会, 奄美大島, 2015 年 5 月 14 日.
2. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 増尾有紀, 富田涼一, 権田憲二, 平野智寛, 榎本克久: 炎症性乳癌型再発例における indoleamine 2, 3-dioxygenase の発現について, シンポジウム 1; 癌と炎症病態の解明と治療, 第 28 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 川越, 2015 年 12 月 3 日.
3. Shibata M, Gonda K, Tomita R, Takenoshita S. Immune suppression appearing in patients with

cancer . Its molecular basis and alteration by cancer chemotherapy , Symposium Cancer chemotherapy, The XXth Conference on Colorectal Cancer and Anorectal Function, Keidanren Kaikan, August 8, 2015.

4. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 高山忠利: 超高齢者の消化器悪性腫瘍手術の取り組みにあたって, ワークショップ 1-2; 高齢者悪性腫瘍手術: 下部, 第 40 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2015 年 6 月 18 日.
5. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 長島沙樹, 前田哲代, 富田涼一, 権田憲二, 原由起子, 藤原麻子, 安達慶太, 増尾有紀, 平野智寛, 榎本克久, 天野定雄: 超高齢者乳癌の治療戦略について, ワークショップ 1-3; 高齢者悪性腫瘍手術: 中部, 第 40 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2015 年 6 月 18 日.
6. 富田涼一, 藤崎 滋, 櫻井健一, 朴 英智: 緩和治療を目的とした大腸癌小腸浸潤性イレウスに対する手術療法と経口摂取の関連, ワークショップ 5; 外科系診療における早期緩和医療), 第 40 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2015 年 6 月 18 日.
7. 藤崎 滋, 高階 幹, 富田涼一, 櫻井健一, 高山忠利: 腹腔鏡下虫垂切除術の工夫—虫垂炎高度炎症例に対する工夫と単孔式手術の応用—, ワークショップ 11; 虫垂炎の診断治療—温故知新—, 第 40 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2015 年 6 月 19 日.
8. 櫻井健一, 藤崎 滋, 鈴木周平, 安達慶太, 長島沙樹, 榎本克久, 富田涼一, 権田憲二, 平野智寛, 天野定雄: 乳癌原発巣における CYP34A4 の発現と Docetaxel の効果予測について, ワークショップ 1; 進行乳癌の治療戦略, 第 24 回日本癌病態治療研究会, 日光, 2015 年 6 月 25 日.
9. 富田涼一, 櫻井健一, 藤崎 滋, 朴 英智: 胃全摘術食道空腸 Roux-en Y 吻合術後逆流性食道炎の予防のための下部食道括約筋温存について, ワークショップ 23; 胃切除後症候群の治療方針, 第 77 回日本臨床外科学会総会, 博多, 2015 年 11 月 27 日.
10. 藤崎 滋, 高階 幹, 櫻井健一, 富田涼一, 高山忠利: 虫垂炎治療法多様化の中で—当科における高度炎症虫垂炎に対する低侵襲かつ早期治癒をめざした腹腔鏡切除の工夫—, ワークショップビデオ; 腹部救急疾患に対する内視鏡下手術: ヘルニア, アッペ, その他, 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2016 年 3 月 3 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 富田涼一: 胃切除後の障害について, 平成 27 年度解剖学会関東支部会懇話会; 消化の話—口腔・咽頭・上部消化器系における基礎と臨床の接点—, 日本歯科大学, 2015 年 6 月 13 日.
2. Tomita R. Special Lecture on Anorectal Function, The XXth Conference on Colorectal Cancer and Anorectal Function, Keidanren Kaikan, August 8, 2015.